



インテリア・シミュレーター 操作マニュアル

オープンリソース株式会社
第1.4版（V1.1.0対応）
2020年10月

はじめに

第1章 基本の使い方

第2章 プラン作成の基本操作

第3章 便利な使い方

第4章 機能を使いこなすには

インテリア・シミュレーターを使用するためには、以下の動作環境が必要です。

[動作環境]

- 1) Windows版またはMacintosh版のChromeブラウザ上でWebGL 2.0が動作する環境
- 2) インターネットへの常時接続環境

また動作させるシステムは、以下の要件を満たしている必要があります。

[システム要件]

- 1) OS: Windows 10 64bitまたはmacOS Mojave以上
- 2) CPU : Broadwell (第5世代) 以降のインテル Core i シリーズまたはCore Mシリーズ
* DirectX 11.1以上をサポートするグラフィックスコントローラーが必須
- 3) メモリー : 4GB以上 (8GB以上を推奨)
- 4) ディスプレイ解像度 : HD (1920x1080) 以上を推奨

インテリア・シミュレーター 操作マニュアル ～ 第1章 基本の使い方 ～

1-1) プラン作成の基本STEP

1-2) 操作画面について

- シミュレーター画面の説明
- プラン設定でできること
- 間取設定でできること①～⑤
- アイテム配置でできること①～②
- シミュレーションビューの表示モード
- [DRAW]モードの操作画面
- [3D]モードの操作画面

1-3) 基本操作の説明

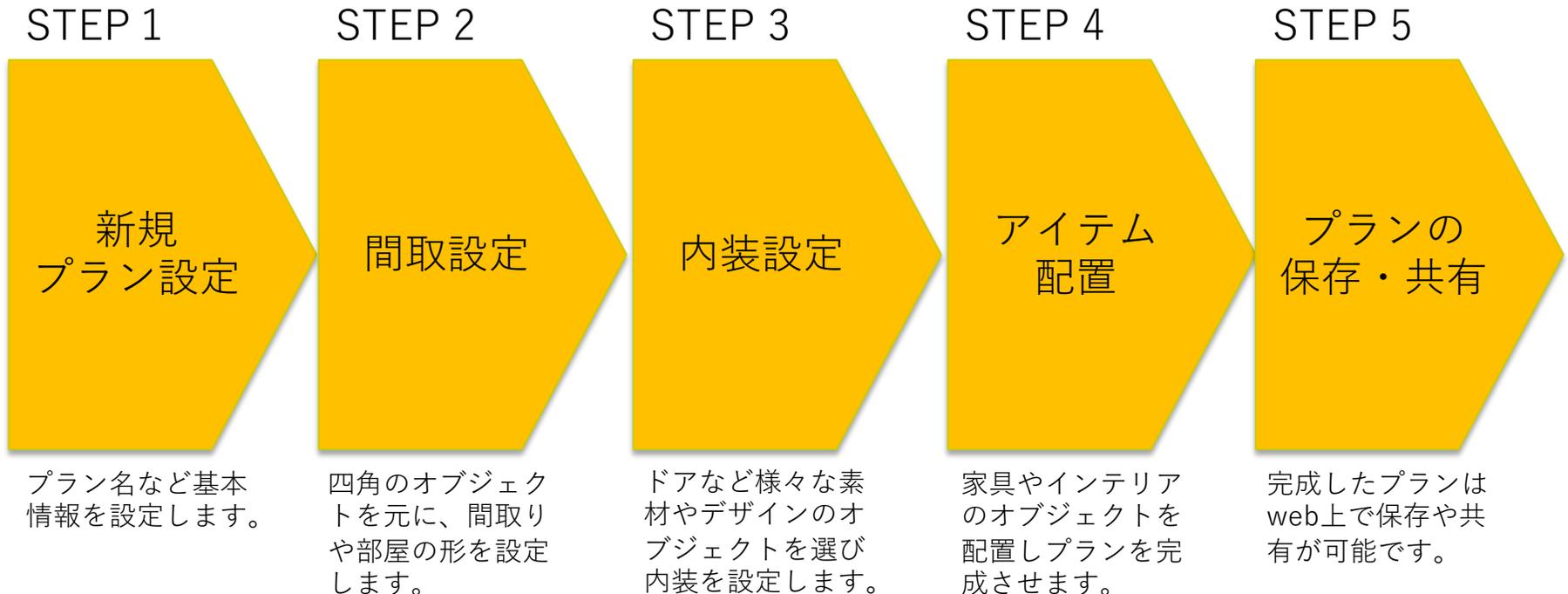
- ログイン
- ログアウト
- プランの新規作成
- プランの保存
- 保存したプランを開く

- プランの複製・削除
- オブジェクトの配置
- オブジェクトの選択・複数選択
- オブジェクトの移動
- オブジェクトの回転
- オブジェクトの重ね置き
- オブジェクトのサイズ変更
- オブジェクトの複製
- オブジェクトの削除
- オブジェクトのグループ化
- シミュレーションビューの拡大・縮小表示
- 操作を元に戻す・やり直す
- 作成した部屋を3Dで確認する
- Sky Viewで部屋を確認する
- Walk Viewで部屋を確認する

1-4) ユーザー設定

- ログインIDとパスワードの確認・変更

インテリア・シミュレーターで行う作業は、大きく5つに分類されます。
基本的には以下の流れに沿いながら、必要に応じてSTEP間を移動しつつプランを作成します。



The screenshot shows the LivingStyle simulator interface. The top bar includes the logo (A), a navigation menu (B), user information (C), and utility links (D). Below the top bar is a secondary menu with '間取設定' (A) and 'NewPlan' (B). A toolbar (E) contains various icons for navigation and editing. The main workspace (H) is a large grid area for simulation. On the left, there is a 'ナビゲーションバー' (Navigation Bar) (F) with settings like 'グリッド・図面読み込み' and '部屋タイプの設定/変更'. A 'ナビゲーションパネル' (Navigation Panel) (G) is located between the navigation bar and the main workspace, containing drawing tools like 'DRAW', '全体表示', '縮小 拡大', '天井付アイテム', '図面表示', '元に戻す やり直す', '壁芯', '計測モード', '計測結果', '表示順', 'グループ化', '矩形選択', '複製', and '削除'. Red arrows point from the labels 'ナビゲーションバー', 'ナビゲーションパネル', and 'シミュレーションビュー' to their respective areas.

[A] ナビゲーションバーのタブ

間取りの作成や内装、家具などの設定、変更時に切り替えるタブです。各タブを開くと、間取り作成の詳細設定やアイテム選択のナビゲーションバーが表示されます。

[B] プラン名とプラン設定

作業中のプランのプラン名が表示されます。プラン名を押すと、プランの設定確認や設定変更を行うウィンドウが開きます。

[C] ユーザー情報とログアウト

ログイン中のユーザーIDとユーザー名が表示され、ユーザー名をクリックするとユーザー設定とログアウトができます。

[D] プランの作成と管理

プランの新規作成や保存、作業中のプランの詳細確認、保存したプランの管理などができます。

[E] プランの提案用ボタン

作成したプランの全画面表示や印刷、スクリーンショットが作成できます。

[F] ナビゲーションバー

各設定タブごとに作成、変更できる詳細項目が表示されます。必要なアイテムを選択しプランの作成を行います。

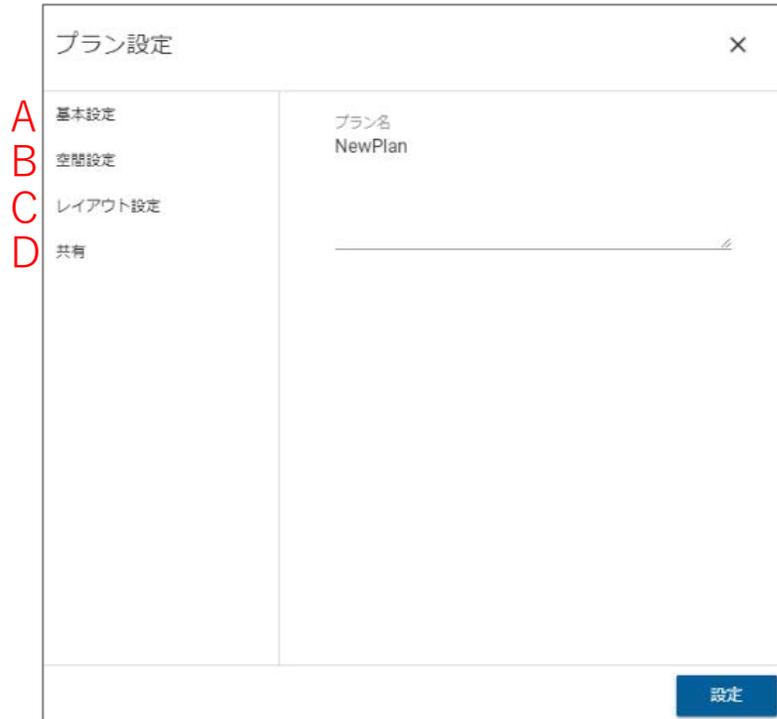
[G] ナビゲーションパネル

シミュレーションの操作ボタンです。「DRAW」モードと「3Dモード」で操作できるボタンが切り替わります。

[H] シミュレーションビュー

作業中のシミュレーションプランが表示されます。「DRAW」モードと「3Dモード」で見え方が変わります。

プラン設定では作成するプランの基本設定や保存したプランの共有設定を行えます。



[A] 基本設定

プラン名を設定、変更できます。

[B] 空間設定

天井高さ、階高、壁厚を設定できます。

新規プラン作成時に設定できます。後から変更できません。

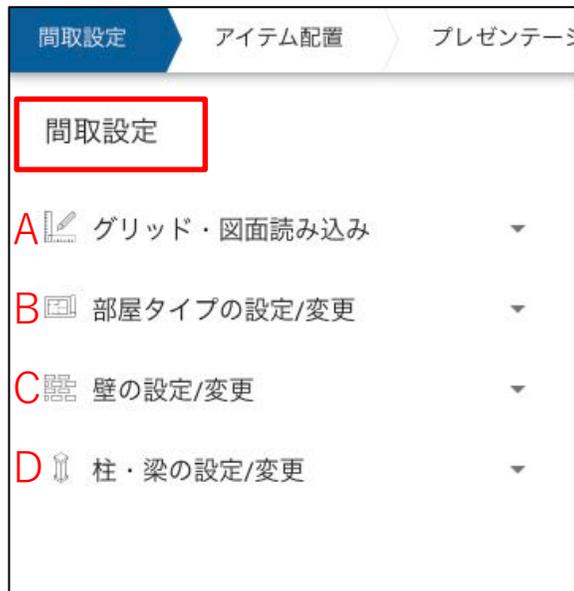
[C] レイアウト設定

柱や家具など回転するオブジェクトの回転角度を設定できます。

[D] 共有

作成したプランの共有URLを確認できます。

間取り設定ではプランのベースとなる部屋の形、壁、柱や梁を作成します。
また、効率よく作業するためのグリッド設定や図面読み込みの設定もできます。



[A] グリッド・図面読み込み

シミュレーションビューのグリッド設定、シミュレーションビューへの図面の読み込みができます。

[B] 部屋タイプの設定/変更

部屋タイプから部屋を選択し間取りが作成できます。

[C] 壁の設定/変更

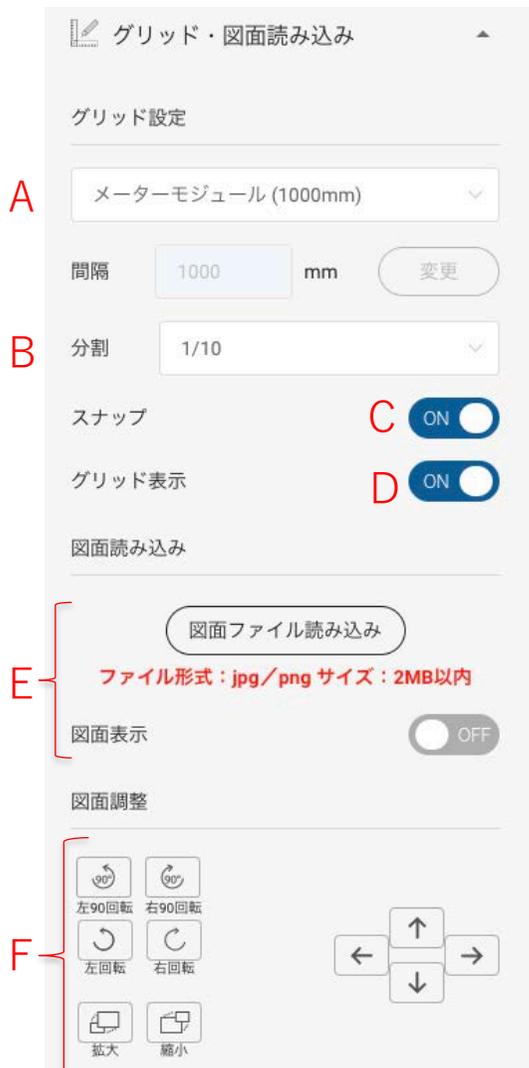
壁の作成、作成した壁に開口部や腰壁を作成できます。

[D] 柱・梁の設定/変更

柱や梁の作成ができます。

**各タブの▼をクリックすると詳細設定の画面が開きます。
次のページから各設定の説明をいたします。**

グリッド・図面読み込みの操作画面



[A] グリッドのメーターモジュール設定

グリッドのモジュールを設定できます。規定値または任意の値で設定できます。

[B] グリッドの分割設定

グリッドの間隔を10分の1まで分割して表示できます。

[C] スナップのON・OFF

間取り作成時のサイズ調整をグリッドサイズに合わせたスナップ操作ができます。スナップをOFFにするとグリッドに関係なくサイズ調整できます。

[D] グリッド表示のON・OFF

シミュレーションビューのグリッドの表示・非表示を設定できます。

[E] 図面ファイル読み込み、図面表示のON・OFF

図面や間取り図を取り込み、シミュレーションビュー上に表示できます。OFFにすると取り込んだ図面を非表示にできます。

[F] 読み込んだ図面の調整

読み込んだ図面の回転、縮尺の調整、移動ができます。

部屋タイプの設定/変更の操作画面

[A] 部屋タイプの一覧

作成する部屋タイプを選択すると、シミュレーションビュー上に四角型の部屋を作成できます。



壁の設定/変更の操作画面



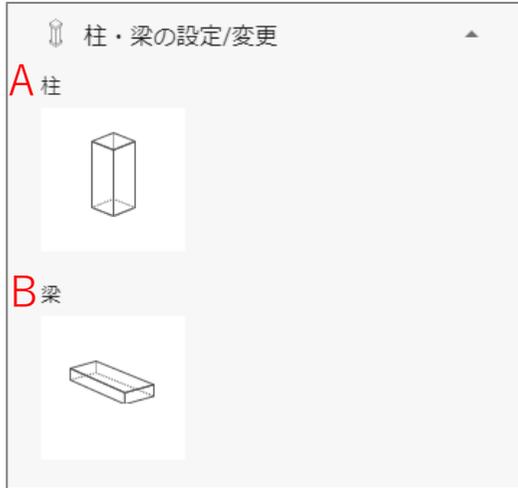
[A] 壁作成

シミュレーションビュー上に壁を作成できます。

[B] 開口部作成

作成した部屋の壁を開口部のある壁(3タイプ)に設定できます。

柱・梁の設定/変更の操作画面



[A] 柱作成

シミュレーションビュー上に、柱を作成できます。

[B] 梁作成

シミュレーションビュー上に、部屋のサイズに合った梁を作成できます。

アイテム配置では、内装の設定、住宅設備の設置、家具の配置などを行います。
カテゴリやブランドなどの複数の条件によりアイテムを検索することができます。



[A] カテゴリ検索

アイテム選択画面 ([F]) に表示されるアイテムをカテゴリにより絞り込みます。

[B] ブランド検索

アイテム選択画面 ([F]) に表示されるアイテムをブランドにより絞り込みます。

[C] キーワード検索

アイテム選択画面 ([F]) に表示されるアイテムをキーワードにより絞り込みます。

[D] お気に入り検索

アイテム選択画面 ([F]) にお気に入りに登録されたアイテムのみが表示されます。

[E] リスト・サムネイル表示切替

アイテム選択画面 ([F]) の表示をリスト形式またはサムネイル形式に切り替えます。

[F] アイテム選択画面

[A]～[D] で設定された条件に合致したアイテムが表示されます。

表示されたアイテムをクリックすると、そのアイテムが選択された状態になります。
シミュレーションビューにカーソルを移動させ、配置したい箇所でクリックすると、そこに選択されたアイテムが配置されます。

お気に入りを押すと、そのアイテムがお気に入りに登録されます。

[A] カテゴリ検索

- ✓ すべてのカテゴリ
- ソファ >
- チェア >
- テーブル >
- ベッド >
- デスク・ワークチェア >
- 収納 >
- キッズ >
- ミラー >
- テラス >
- 照明 >
- ラグ・クッション >
- 雑貨 >
- 植物 >
- 家電 >
- カーテン >
- 壁紙/床材/天井材 >
- 階段/ドア/窓 >
- 柱/梁 >
- 住宅設備 >
- 幅木/廻り縁/腰板 >
- サンプル >

商品カテゴリ

販売取扱いのあるアイテムを絞りに際を選択します。
*表示されるカテゴリが異なる場合があります

内装関連カテゴリ

内装設定のためのアイテムを絞りに際を選択します。
サンプルアイテムを絞りに際を選択します。

[B] ブランド検索

販売取扱いのあるアイテムをブランドから絞り込むことができます。
「サンプル」を選ぶと、サンプルアイテムのみに絞り込めます。

[C] キーワード検索

入力されたキーワードをその名称に含むアイテムを検索できます。
スペースを空けて複数のキーワードを入力した場合は、入力されたすべてのキーワードをその名称に含むアイテムが検索されます。

※アイテム検索方法は、AND検索になります。

[A] カテゴリ検索、[B] ブランド検索、[C] キーワード検索、[D] お気に入り検索で設定された条件をすべて満たすアイテムが、アイテム選択画面 ([F]) に表示されます。

例)

キーワード「カーテン」で検索した場合、名称に「カーテン」が含まれる販売取扱いのあるアイテムと、サンプルとして登録されているカーテンやカーテンレールなどが、アイテム選択画面 ([F]) に表示されます。

シミュレーションビューの表示は[DRAW]モード、[3D]モードと切り替えができます。起動時は[DRAW]モードになっており、ナビゲーションパネルから切り替えができます。シミュレーション操作はモードによって違うため各モードごとに説明します。

[DRAW]モード

[3D]モード



[DRAW]モードは2D表示で操作できるモードです。

A **[A] モード切替ボタン**
[DRAW]モードと[3D]モードを切替えます

B **[B] シミュレーションビューの表示サイズ設定**
シミュレーションビューに表示されたプランを拡大、縮小します。プラン全体の表示に切り替えもできます。

C **[C] 表示設定**
天井に付いているオブジェクトをOFFで非表示にできます。また、図面の表示のON/OFFを切り替えられます。

D **[D] 操作を元に戻す・やり直す**
作業中の操作を元に戻す、または戻した操作をやり直せます。

E **[E] 寸法表示の切り替え**
間取りの寸法表示を壁芯/内寸/外寸/非表示から選べます。

F **[F] 計測ボタン**
計測モードをONにすると、任意の2点間の距離を計測できます。また、計測結果のON/OFFを切り替えられます。

G **[G] 配置の表示順設定**
通常、選択順に重なって表示されるオブジェクトを任意の表示順に設定できます。

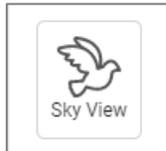
H **[H] グループ化**
複数のオブジェクトをグルーピングできます。

I **[I] 矩形選択**
四角で囲んだオブジェクトを選択できます。

J **[J] 複製・削除**
オブジェクトの複製・削除ができます。

3Dモードでは視点の向きや位置を自由に変えて様々な角度からプランを確認できます。「Sky View」と「Walk View」の2つの表示モードがあります。

[Sky View]



「Sky View」表示では、鳥瞰図のように上からプラン全体を確認できます。見る角度によって自動で壁や天井が消え、部屋の中が確認できるようになっています。壁や天井を表示したい時は、ナビゲーションパネルの「壁表示」をONにします。

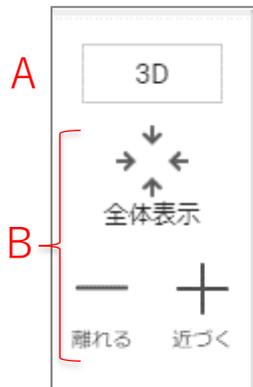
[Walk View]



「Walk View」表示では、作成した部屋の中から見まわすようにプランを確認できます。視点の高さは1cm単位で調整できます。

「Sky View」と「Walk View」ではナビゲーションパネルの操作画面が異なります。

◇共通操作ボタン



[A] モード切替ボタン

[DRAW]モードと[3D]モードを切替えます。

[B] シミュレーションビューの表示サイズ設定

シミュレーションビューに表示されたプランを拡大、縮小します。Sky Viewでは、全体表示を押すとプラン全体を真上から俯瞰する表示になります。



[C] 操作を元に戻す・やり直す

作業中の操作を元に戻す、または戻した操作をやり直せます。



[D] グループ化

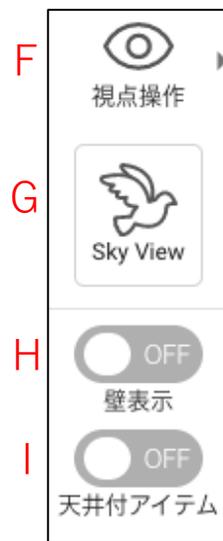
複数のオブジェクトをグルーピングできます。



[E] 複製・削除

オブジェクトの複製・削除ができます。

◇Sky View表示のみの操作ボタン



[F] 視点操作

視点の位置を5パターンから変更できます。

[G] Sky View/Walk View切替ボタン

Sky View/Walk View表示を切替えます。

[H] 壁表示の切り替え

通常、視点に応じて手前にある壁や天井が消えますが、ONにすると常に表示されます。

[I] 壁表示の切り替え

通常、視点に応じて天井についているアイテムが消えますが、ONにすると常に表示されます。

◇Walk View表示のみの操作ボタン



[J] Sky View/Walk View切替ボタン

Sky View/Walk View表示を切替えます。

[K] 視点の高さ設定

視点の高さを任意の高さに設定できます。デフォルトは、140cmになります。

インテリア・シミュレーターにアクセスするとログイン画面が表示されます。
登録しているログインIDとパスワードを入力してログインを行ってください。

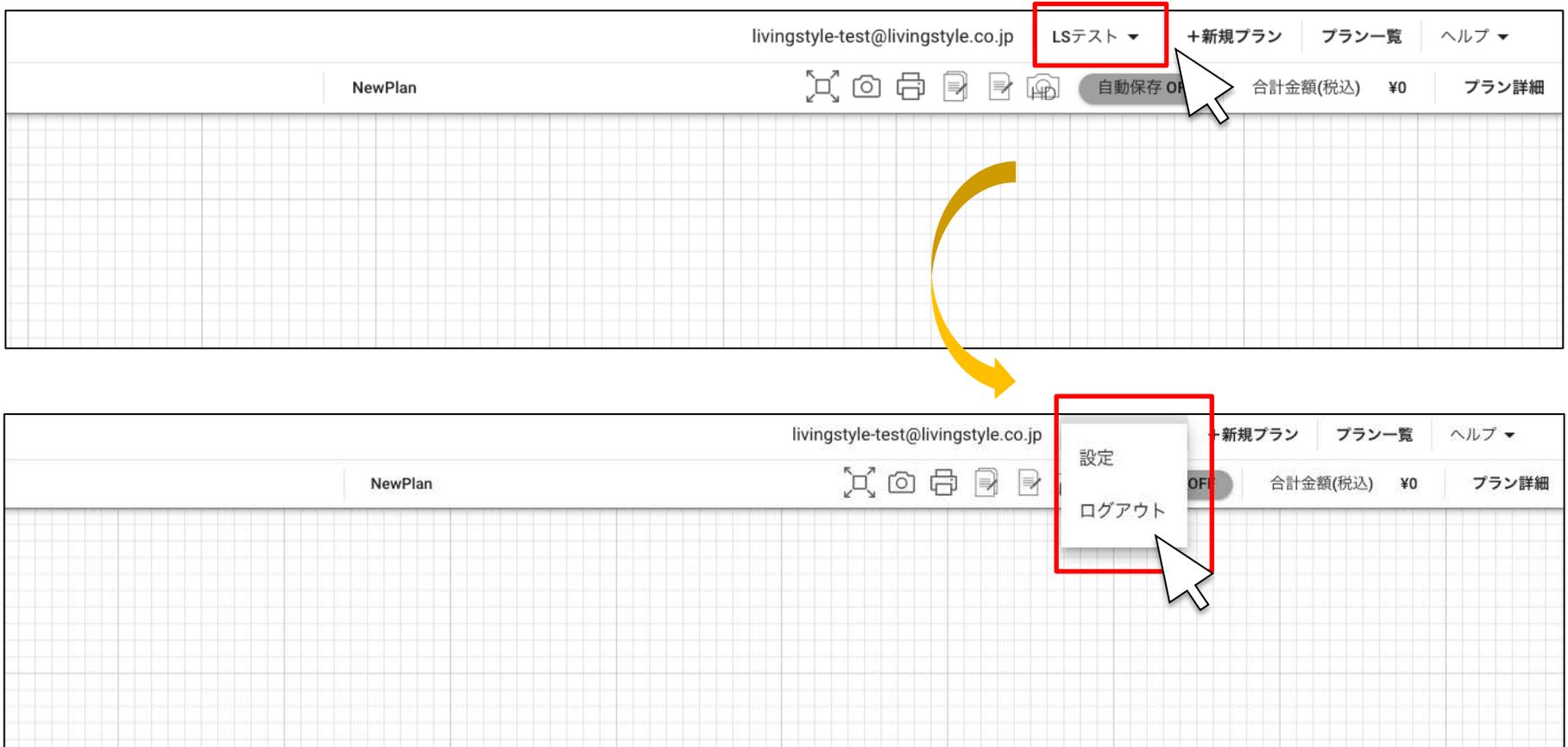


The screenshot shows a login form with the following elements:

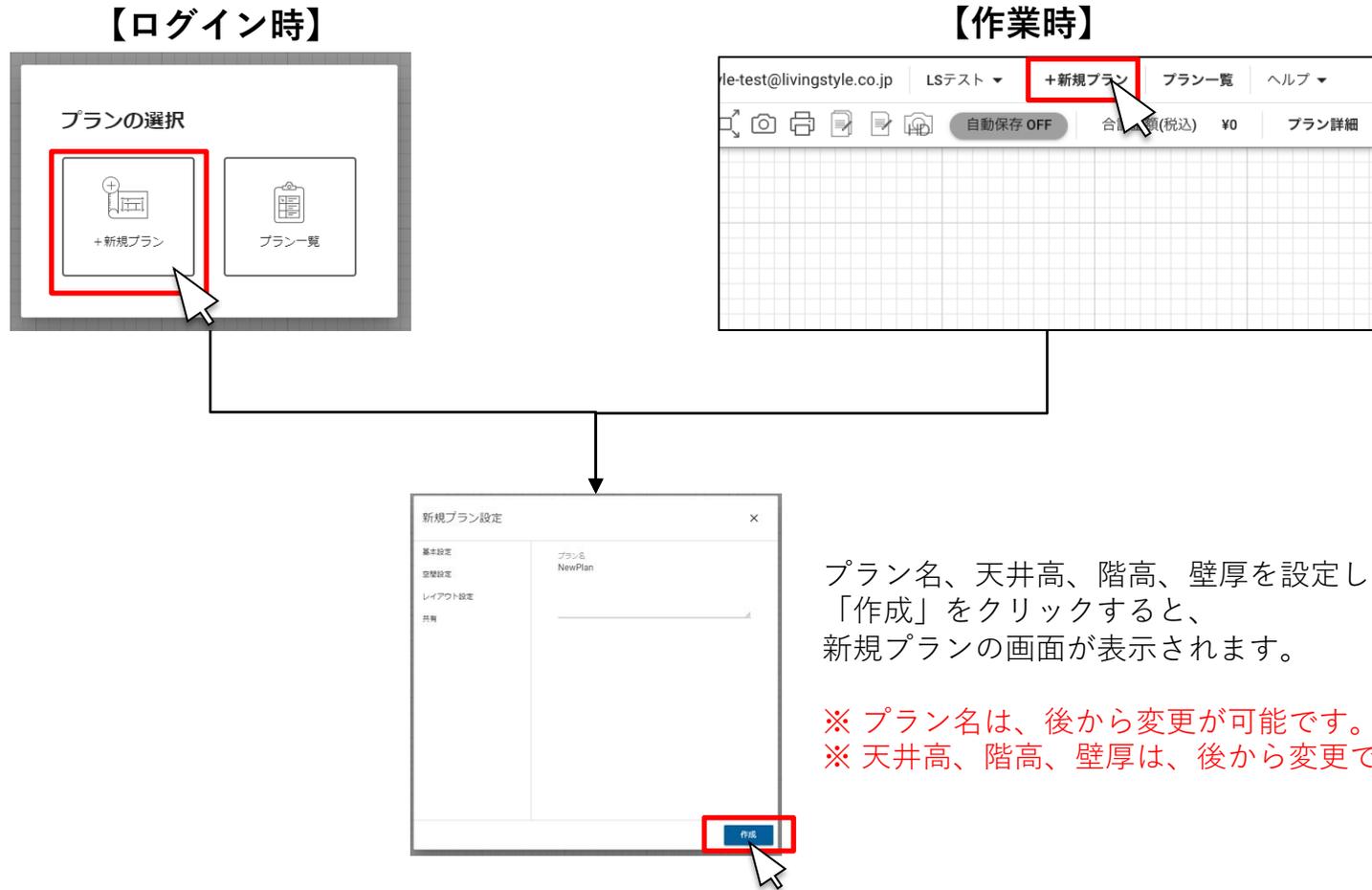
- Title: ログイン
- Label: ログインID
- Input field: 入力してください
- Label: パスワード
- Input field: 入力してください
- Checkbox: ログイン状態を維持する
- Button: ログイン

ログイン状態を保持するにチェックを入れてログインをすると、
次回よりログインIDとパスワードの入力を省略することができます。

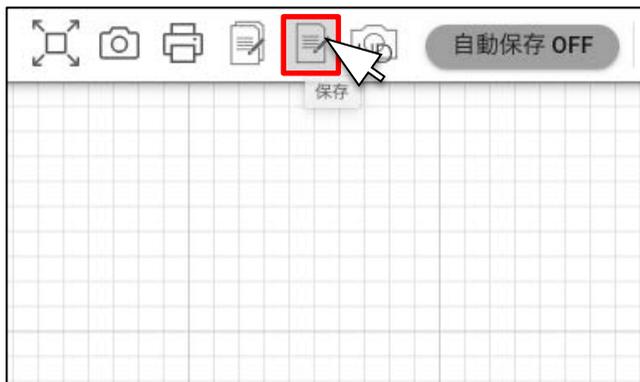
シミュレーター画面右上にあるユーザー名が表示されたタブを開くとログアウトボタンが表示されます。「ログアウト」をクリックするとログアウトできます。



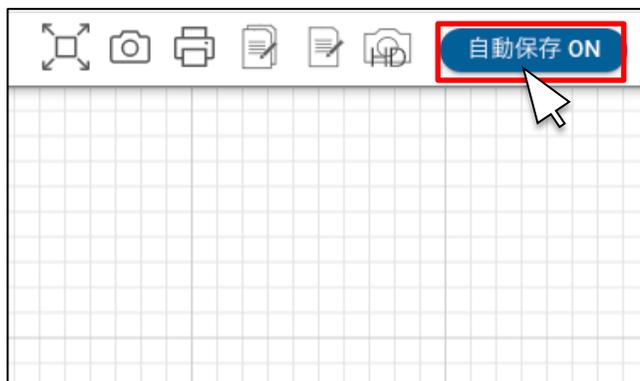
プランの新規作成はログイン時と作業時とで異なります。
ログイン時はプランの選択画面が表示されるので、「+新規プラン」を選択してください。
作業時はシミュレーター画面右上にある「+新規プラン」をクリックしてください。



【新規保存/上書き保存の場合】

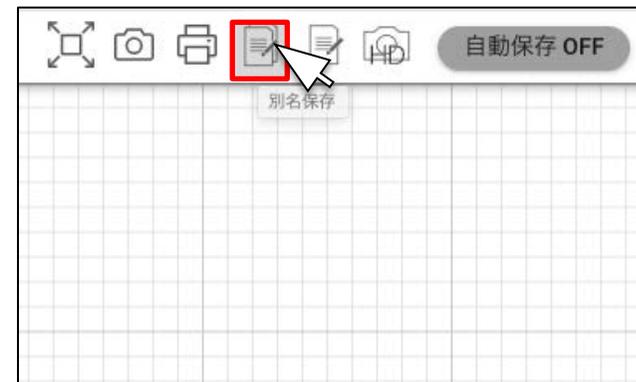


シミュレーター画面右上にある「保存」をクリックしてください。



自動保存をONにすると10分ごとに自動で上書き保存されます。(デフォルトではOFF)

【別名保存の場合】



シミュレーター画面右上にある「別名保存」をクリックしてください。



次に、表示されたウィンドウにプラン名を入力し、「保存」をクリックしてください。

※別名保存時に、読み込んだ図面も引き継ぎたい場合は、「間取り設定」→「グリッド・図面読み込み」→「図面表示」をONにして図面を表示しておく必要があります。

① シミュレーター画面右上にある「プラン一覧」をクリックすると保存されたプランの一覧が表示されます。



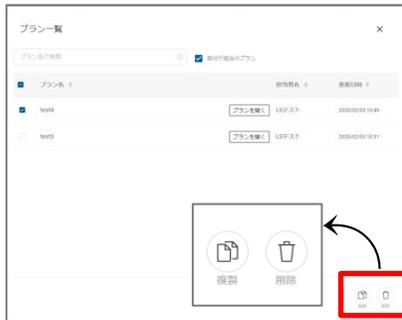
② 該当するプランの「プランを開く」をクリックすると保存したプランが開きます。



※プラン一覧はプラン名で検索できます。
「自分が担当のプラン」のチェックを外すと、
共有されたプラン(他担当者のプラン)も確認できます。



① シミュレーター画面右上にある「プラン一覧」を開き、複製または削除するプランにチェックをいれます。(チェックボックスが青色で表示されます。)



② チェックできていることが確認できたら、複製または削除ボタンをクリックします。



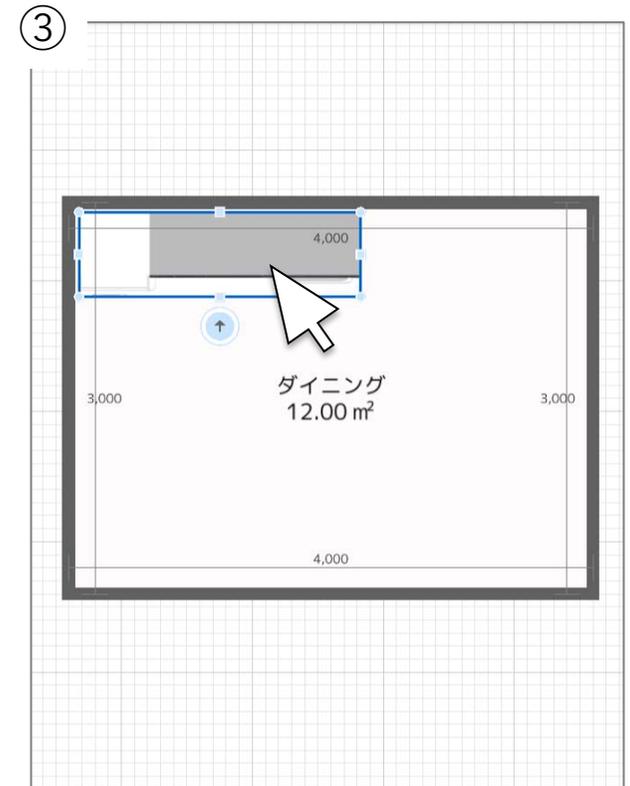
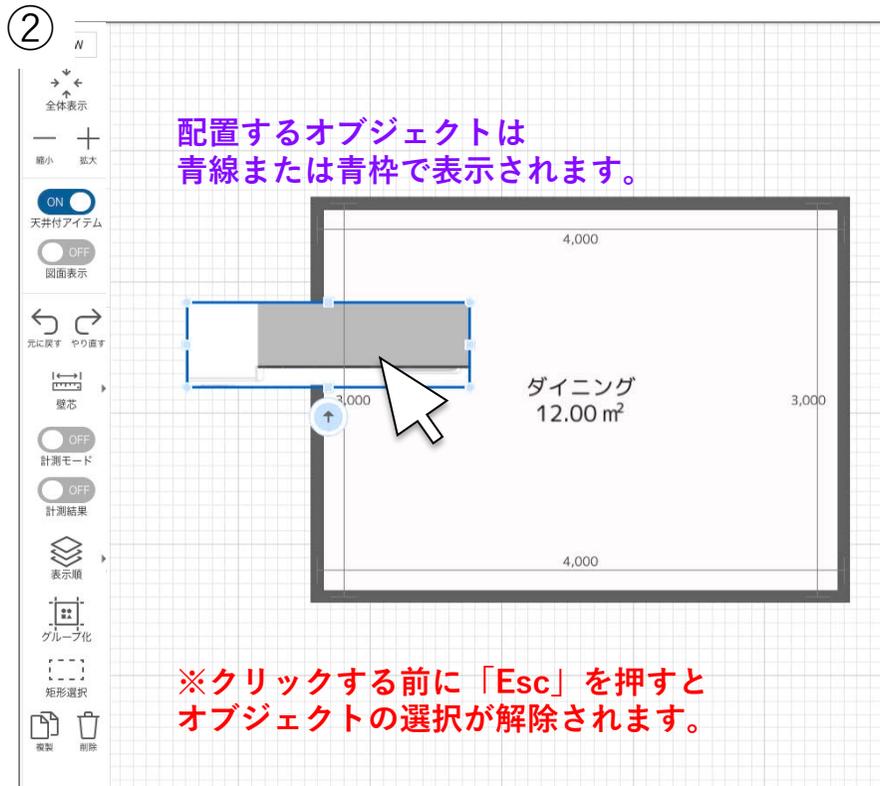
③ 確認画面が出るので「はい」をクリックすると複製・削除されます。

※複製されたプラン名は「○○○_Copy」と表示されます。

※プラン複製時は図面表示のON/OFFにかかわらず、読み込んだ図面が引き継がれます。

プランの作成は、さまざまなオブジェクトを配置して完成させます。

- ① 配置したいオブジェクトを選択しクリックします。
- ② カーソルを配置したい位置に合わせてみます。(オブジェクトはカーソルについてきます)
- ③ 配置したい位置でクリックします。



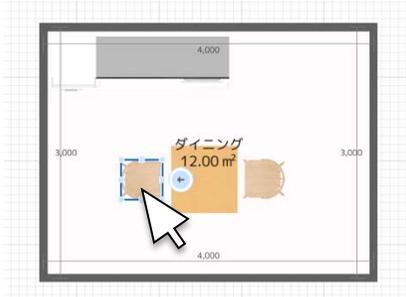
オブジェクトの配置は[3D]モードでも可能です。
※アイテムによって、[DRAW]モードまたは[3D]モードのいずれかでしか配置できない場合があります。

オブジェクトの選択方法は2通りあります。

[A] クリック選択

[DRAW]モード

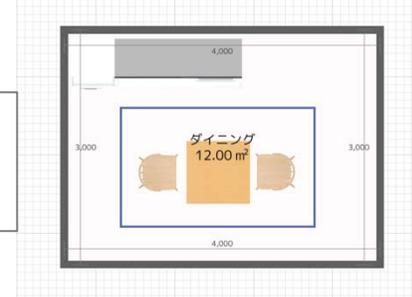
[3D]モード



選択したいオブジェクトをクリックします。
選択されるとオブジェクトが青線または青枠で表示されます。
複数選択する場合は他のオブジェクトを「Shift」キーを押しながらかlickすると複数のオブジェクトが選択されます。
クリック選択は[DRAW]モード、[3D]モードどちらでも有効です。

[B] 矩形選択

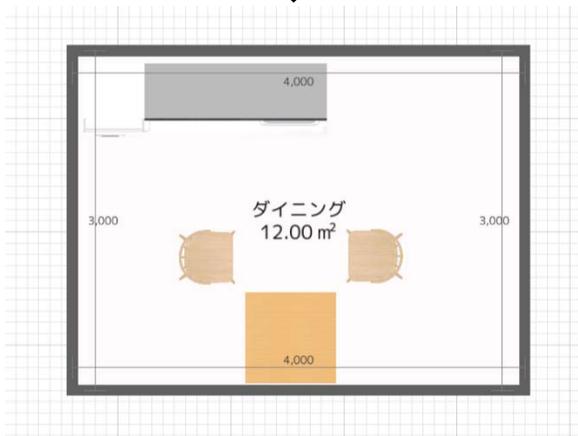
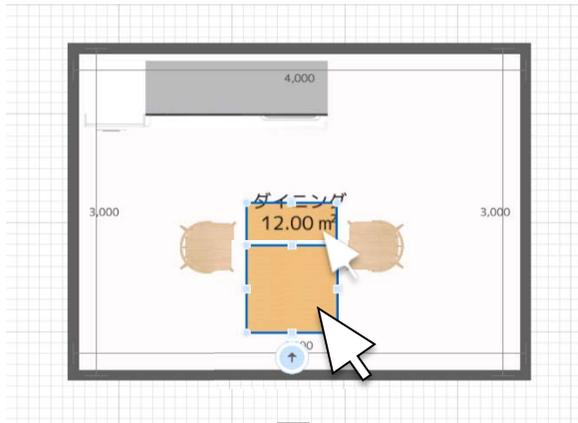
[DRAW]モード



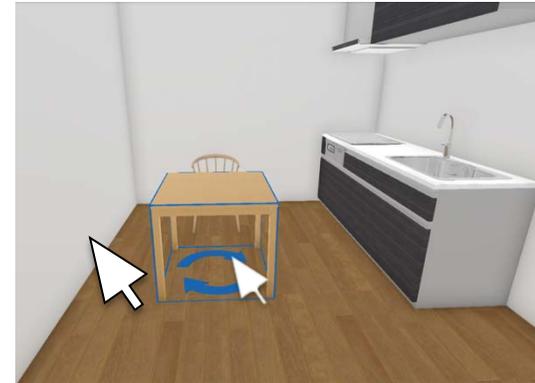
ナビゲーションパネルから「矩形選択」をクリックします。
選択したいオブジェクトを四角で囲みます。
選択されるとオブジェクトが青線または青枠で表示されます。
複数選択する場合はオブジェクトすべてをまとめて四角で囲むと複数のオブジェクトが選択されます。
矩形選択は[DRAW]モードのみ有効です。

移動したいオブジェクトを選択し、ドラッグで移動したい場所へ動かします。
また、キーボードの十字キーによって位置を微調整できます。

[DRAW]モード

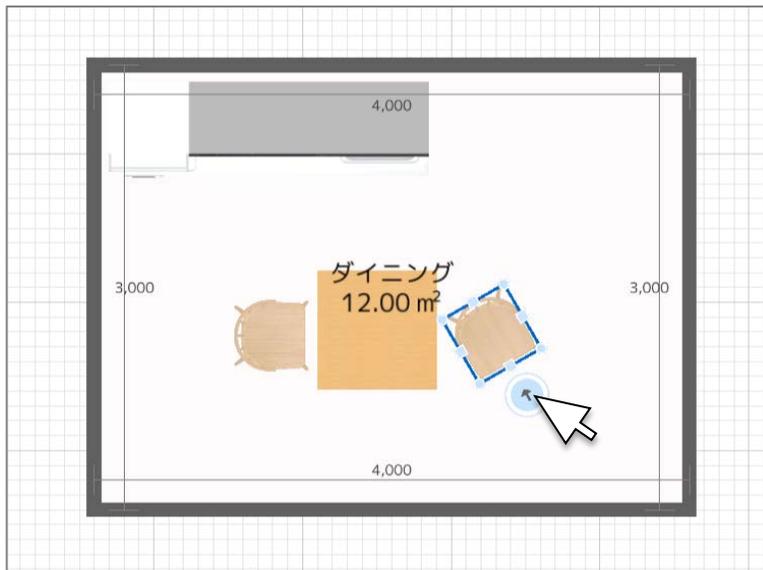


[3D]モード

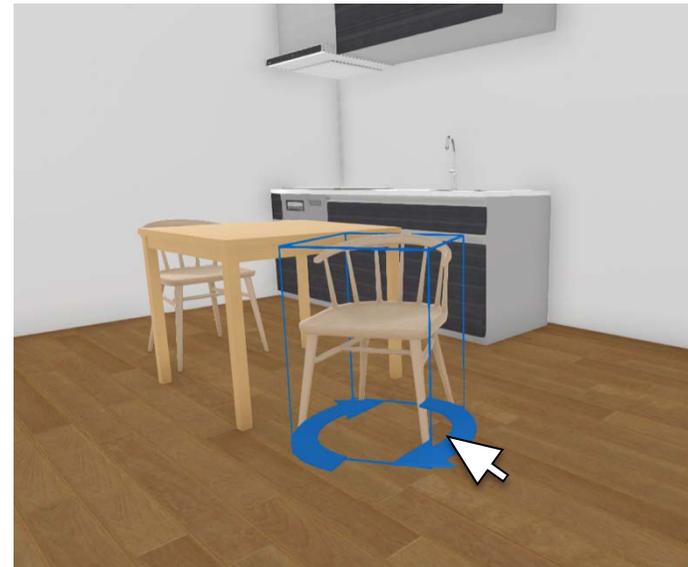


回転したいオブジェクトを選択します。回転ポイントにカーソルをあわせ、ドラッグで回転したい方向へ動かします。

[DRAW]モード



[3D]モード



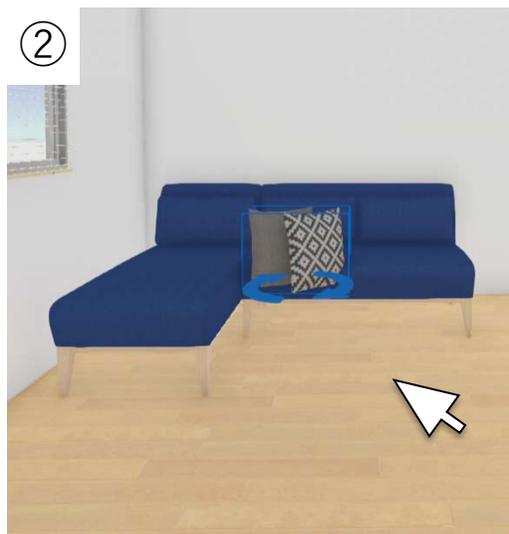
回転の角度は「プラン設定」→「レイアウト設定」→「オブジェクトの最小回転角度」から1度単位で変更できます。

クッションなどのインテリア小物や家電をオブジェクトの上に重ねて置くことができます。
重ね置きの調整は、[3D]モードで行います。

※アイテムのタイプによって重ね置きできない場合があります。



① 重ね置きしたいオブジェクトを選択します。



② 下に配置するオブジェクトまでドラッグして移動させます。

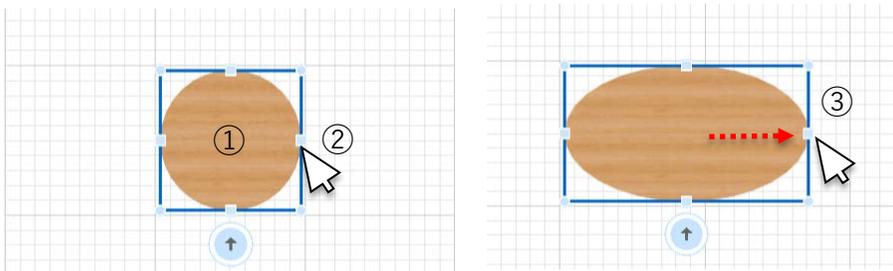


③ 下にくるオブジェクトを認識しドラッグ移動だけで重ね置きができます。

間取りや内装作成のオブジェクト、一部のサンプル家具などはサイズが変更できます。

[A] ドラッグして変更

[DRAW]モード

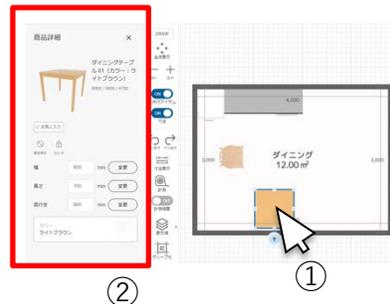


- ① サイズ変更したいオブジェクトをクリックします。
- ② オブジェクトの青線または青枠の変更したい箇所にカーソルをあてます。
- ③ カーソルをドラッグするとサイズが変更できます。

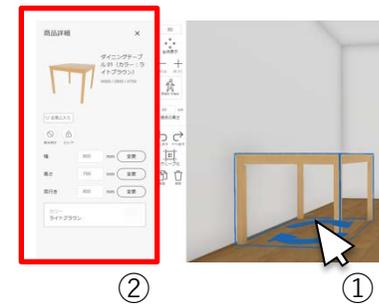
※ドラッグでのサイズ変更は[DRAW]モード時に、平面部分のサイズのみ可能です。

[B] 数値を入力して変更

[DRAW]モード



[3D]モード

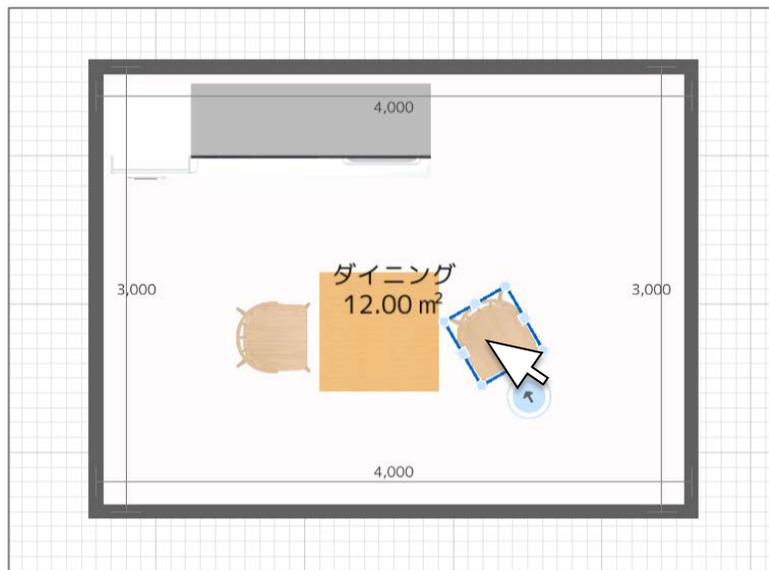


- ① サイズを変更したいオブジェクトをクリックします。
- ② オブジェクトの商品詳細がナビゲーションバーに表示されます。
- ③ サイズ入力欄に変更したいサイズを入力し、変更ボタンをクリックします。

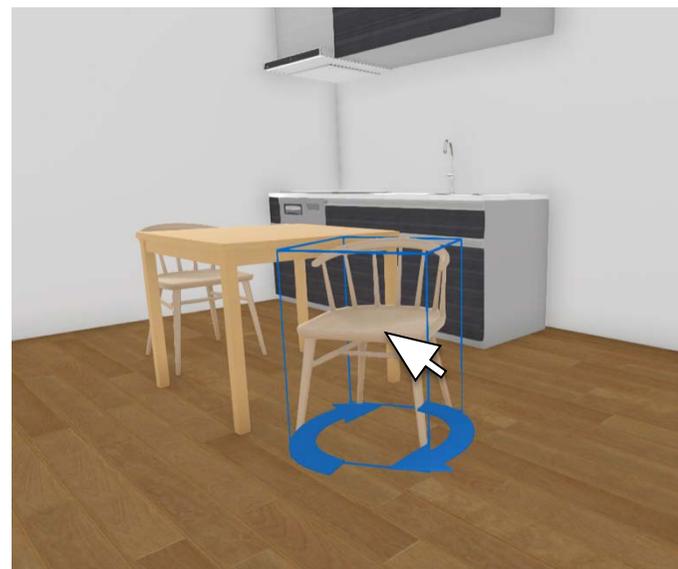
※数値入力でのサイズ変更は[DRAW]モード、[3D]モードどちらでも可能です。

① 複製したいオブジェクトを選択します。

[DRAW]モード



[3D]モード



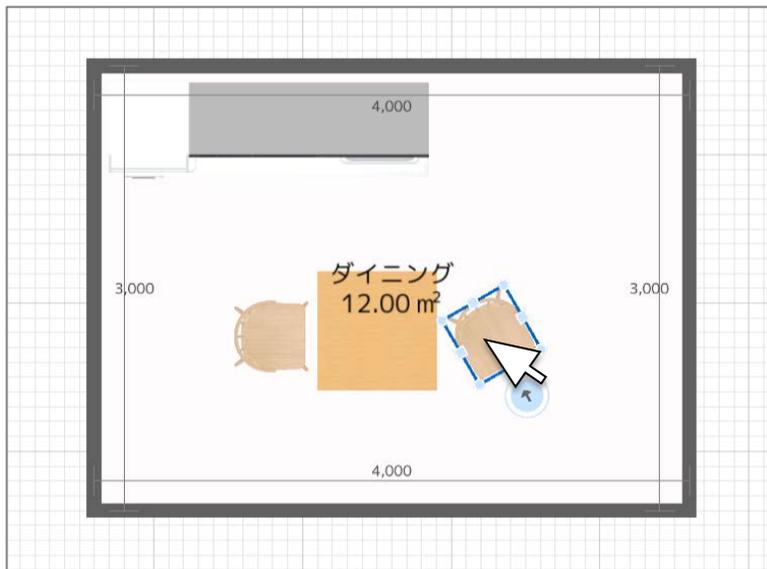
② ナビゲーションパネルの「複製」をクリックします。



またはキーボードからショートカットキー「Ctrl」+「C」を入力します。

① 削除したいオブジェクトを選択します。

[DRAW]モード



[3D]モード



② ナビゲーションパネルの「削除」をクリックします。



またはキーボードで「Delete」キーを押します。

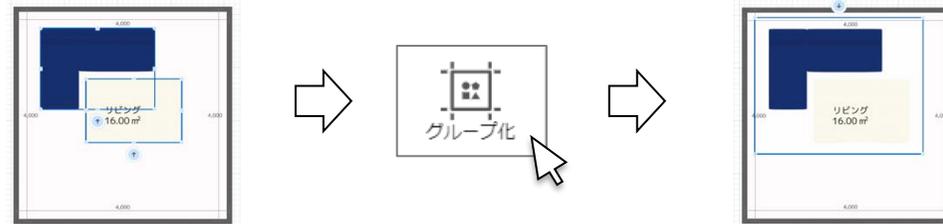
複数のオブジェクトをまとめて移動や回転したい時にグループ化しておくともとても便利です。
※[DRAW]モード、[3D]モードどちらでも操作できます。

[グループ化の方法]

グループ化したいオブジェクトを複数選択した状態で、ナビゲーションパネルの「グループ化」をクリックします。

※参照: 1-3) 基本操作の説明 | オブジェクトの選択・複数選択

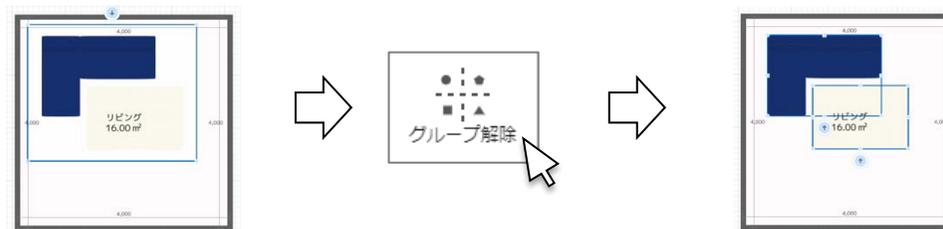
例: [DRAW]モードの場合



[グループ解除の方法]

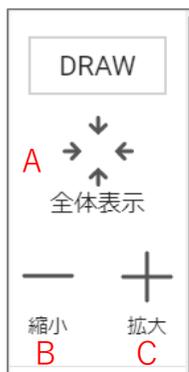
グループ化されたオブジェクトを選択した状態で、ナビゲーションパネルの「グループ解除」をクリックします。

例: [DRAW]モードの場合



シミュレーションビューに表示したプランは拡大・縮小表示ができます。
 拡大して細かい部分の作業を行ったり、縮小してプラン全体を確認する時に便利です。

[DRAW]モード



[A] 全体表示

全体表示をクリックします。シミュレーションビューの中央に全体表示されます。

[B] 縮小

縮小をクリックするごとに表示が縮小されます。マウスホイールを下回転させた場合も同様です。

[C] 拡大

拡大をクリックするごとに表示が拡大されます。マウスホイールを上回転させた場合も同様です。



[3D]モード



[D] 全体表示

全体表示をクリックします。シミュレーションビューの中央に全体表示され視点がリセットされます。

※Walk View表示では使用できません。

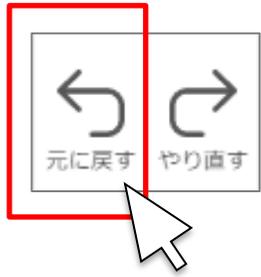
[E] 離れる

離れるをクリックするごとに視点が遠ざかります。マウスホイールを下回転させた場合も同様です。

[F] 近づく

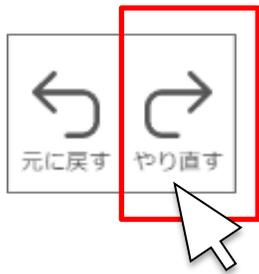
拡大をクリックするごとに視点の方向に近づきます。マウスホイールを上回転させた場合も同様です。



**【元に戻す】**

誤ってオブジェクトの削除をしてしまった時や、前の配置に戻りたい時などに、ナビゲーションパネルの「元に戻す」をクリックする毎に、一つ前の状態に戻ります。

※ショートカットキー: 「Ctrl」 + 「Z」

**【やり直す】**

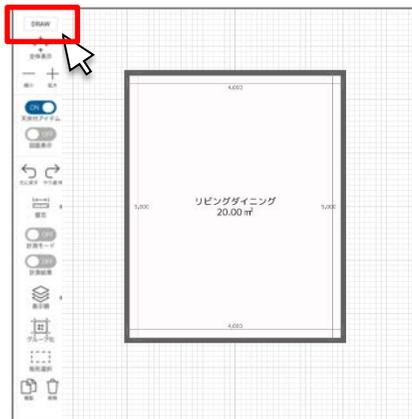
操作を戻しすぎてしまった時など戻した操作をやり直すことができます。ナビゲーションパネルの「やり直す」をクリックする毎に、元に戻した操作をやり直せます。

※ショートカットキー: 「Ctrl」 + 「Y」

※ [DRAW]モード、[3D]モードどちらでも操作できます。

3Dモードでは視点の向きや位置を自由に変えて様々な角度からプランを確認できます。
「Sky View」と「Walk View」の2つの表示モードがあります。

[DRAW]モード (2D表示)



→
ナビゲーションパネルの一番上にある[DRAW]をクリックすると3D表示に切り替わります。

←
ナビゲーションパネルの一番上にある[3D]をクリックするとDRAW表示に切り替わります。

[3D]モード: Sky View表示



※DRAW→3D切り替え時は「Sky View」で表示されます。

↓ Sky Viewボタン/Walk Viewボタンをクリックする毎に切り替わります。 ↑



[3D]モード: Walk View表示

「Sky View」表示時の視点の操作方法を説明します。

方法①: ドラッグで操作する

ドラッグ操作で視点を移動できます。

回転



- ・ 右へ回転 → 左へドラッグ
- ・ 左へ回転 → 右へドラッグ
- ・ 上へ回転 → 下へドラッグ
- ・ 下へ回転 → 上へドラッグ

水平移動



- ・ 前へ移動 → 「Shift」キー+手前にドラッグ
- ・ 後ろへ移動 → 「Shift」キー+奥へドラッグ
- ・ 右へ移動 → 「Shift」キー+左へドラッグ
- ・ 左へ移動 → 「Shift」キー+右へドラッグ

方法②: ナビゲーションパネルで操作する

規定の位置へ視点を移動できます。ナビゲーションパネルの「視点操作」をクリックすると規定位置を選択できます。



- ・ 真上 → 真上からの視点
- ・ 真東 → 真東からの視点
- ・ 真西 → 真西からの視点
- ・ 真南 → 真南からの視点
- ・ 真北 → 真北からの視点

真上からの視点



真南からの視点



※間取り設定時のシミュレーションビュー上で真上が北、真下が南になっています。
 ※方位設定は現バージョンではできません。

「Walk View」表示時の視点の操作方法を説明します。

方法①: ドラッグで操作する

ドラッグ操作で視点を移動できます。

見回す



- ・ 右へ見回す → 左へドラッグ
- ・ 左へ見回す → 右へドラッグ
- ・ 上へ見回す → 下へドラッグ
- ・ 下へ見回す → 上へドラッグ

水平移動



- ・ 前へ移動 → 「Shift」キー+手前にドラッグ
- ・ 後ろへ移動 → 「Shift」キー+奥へドラッグ
- ・ 右へ移動 → 「Shift」キー+左へドラッグ
- ・ 左へ移動 → 「Shift」キー+右へドラッグ

方法②: ナビゲーションパネルで操作する

視点の高さを設定できます。ナビゲーションパネルの視点の高さの数値入力欄に任意の数値を入力後、「Enter」キーを押してください。



▲▼矢印キーを使って
1cm単位で調整もできます。

視点の高さ165cm



視点の高さ130cm



作業中のユーザー情報を確認・変更ができます。



① ログインIDの確認

シミュレーター画面右上にあるユーザー名が表示されたタブを開くと設定ボタンが表示されます。「設定」をクリックするとログインIDが確認できます。



② パスワードの変更

ユーザー情報画面の右下にある「変更」をクリックするとパスワードの変更画面が表示されます。現在のパスワードと新しいパスワードを入力し、「変更する」をクリックしてください。

※パスワードは有効期限が設定されている場合があります。有効期限が切れるとパスワード変更画面が表示されますので、再設定してください。

インテリア・シミュレーター 操作マニュアル

～ 第2章 プラン作成の基本操作 ～

2-1) プラン作成の基本ステップ

2-2) プランの設定

- 天井高・階高・壁厚の設定
- グリッド・スナップ設定

2-3) 間取りの作成

- 間取りの作成・寸法の調整
- 間取りのカスタマイズ
- 図面の読み込み
- 壁の加工・追加作成
- 柱・梁の作成
- 下がり天井、上げ床、壁付き棚の作成

2-4) 内装の作成

- ドアの作成
- 窓の作成
- 階段の作成
- 壁紙の変更

- 床材の変更
- 幅木の作成
- 廻り縁の作成
- 腰板の作成
- 住宅設備の作成

2-5) アイテムの配置

- カーテンの配置
- 家具の配置
- 照明の配置
- インテリア雑貨・家電の配置

2-6) プランの提案書作成

- プランの名称設定・変更
- 配置したアイテムの一覧を作成する
- 作成したプランを印刷する
- 作成したプランのスクリーンショットを作成
- 作成したプランを共有する

2-1) プラン作成の基本STEP

プラン作成は間取りの設定や内装、アイテムの各オブジェクトを配置して完成させます。オブジェクトは[DRAW]モードと[3D]モードを切り替えて配置していきます。

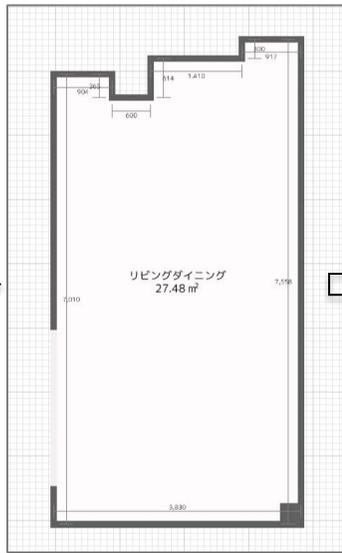
【プラン作成の基本STEP】

① プランの設定



- ・プラン名の設定
- ・天井高や壁厚の設定
- ・グリッドの設定

② 間取りの作成



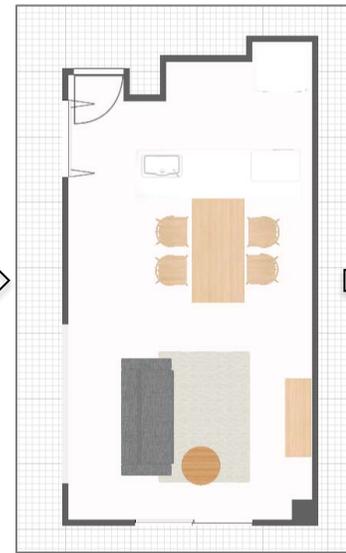
- ・間取りの作成、カスタマイズ
- ・壁の作成、設定
- ・柱や梁の作成

③ 内装の作成



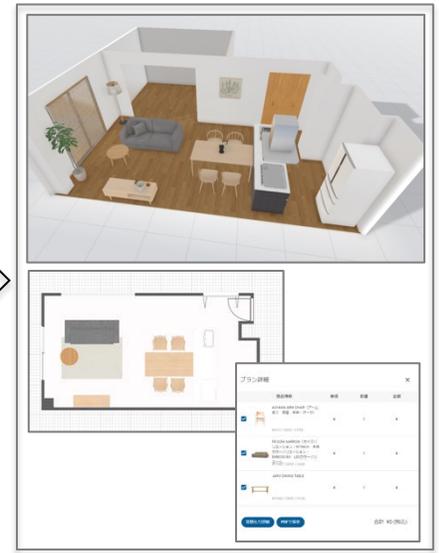
- <設定するオブジェクト>
- ドア・窓・階段
 - 壁紙・床材・天井材
 - 幅木・廻り縁・腰板
 - 住宅設備

④ アイテムの配置



- <設定するオブジェクト>
- カーテン・家具
 - インテリア用品、小物
 - 家電・照明

⑤ プラン・提案書の作成



- ・プランの保存・共有
- ・提案書の作成

2-2) プランの設定 | 天井高・階高・壁厚の設定

新規でプランを作成するには初めに「天井高」「階高」「壁厚」の設定が必要です。

- ① 「+新規プラン」を開き、「空間設定」を開きます。
- ② 天井高、階高、壁厚を入力します。
- ③ 「作成」をクリックします。

※天井高、階高、壁厚はプラン全体で共通となり、部屋ごとに個別に設定できません。
※天井高、階高、壁厚は後から変更できません。

新規プラン設定

②

基本設定

天井高 (mm) 1階
2400

レイアウト設定

共有

階高 (mm) 1階
2900

壁厚 (mm)
100

③ 作成

新規プラン作成時ののは、

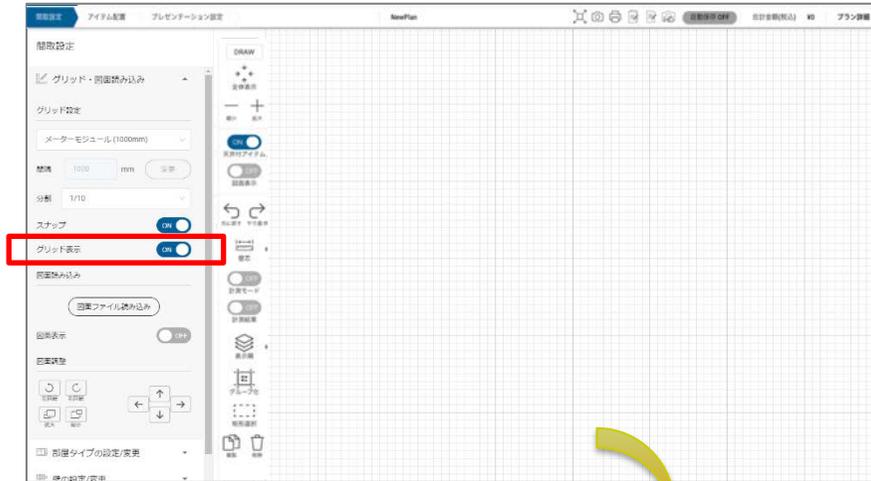
- ・天井高：2400mm
- ・階高：2900mm
- ・壁厚:100mm

で設定されています。

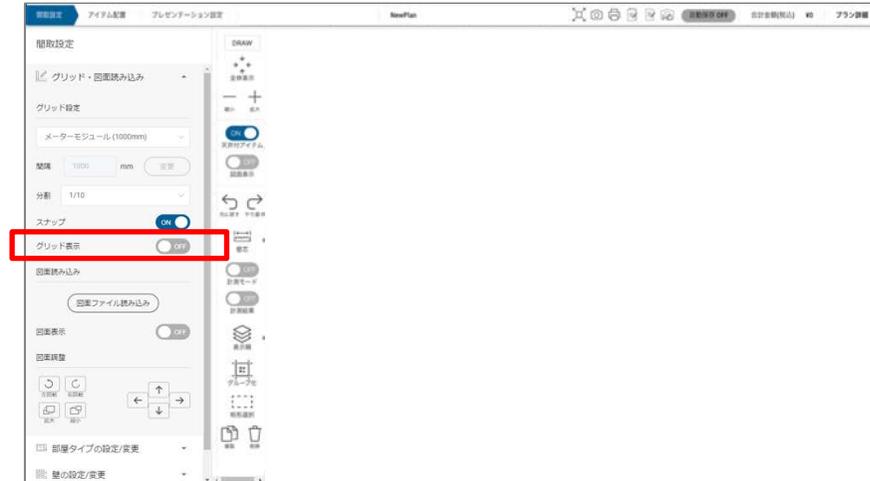
2-2) プランの設定 | グリッド・スナップの設定①

プランの作成前にシミュレーションビューのグリッドやスナップの設定をしておくことで操作がしやすくなり、スムーズに作成が行えます。

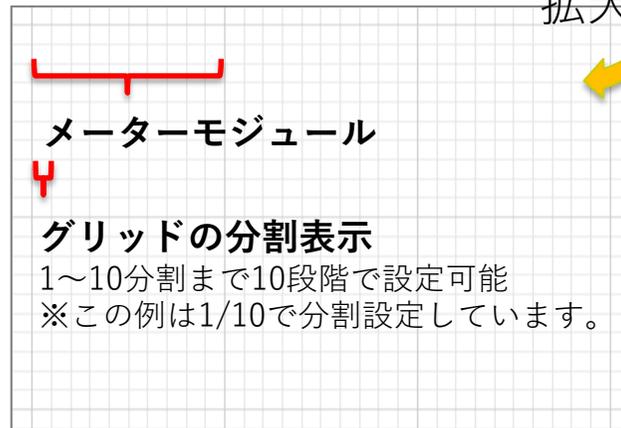
グリッド表示ON



グリッド表示OFF



拡大



新規プラン作成時は
 ・グリッド表示ON
 ・メーターモジュール1000mm
 ・分割1/10
 で設定されています。

2-2) プランの設定 | グリッド・スナップの設定②

【グリッドの設定手順】

グリッドの設定は「間取設定」→「グリッド・図面読み込み」→「グリッド設定」から行います。

①「メーターモジュール」を開きの4つのメーターモジュールの中から選択します。



- ・尺モジュール：910mm
- ・メーターモジュール：1000mm
- ・インチモジュール:1218mm
- ・任意間隔：100-2000mm

②「任意間隔」を選択した場合、「間隔」に任意の数値を入力し「変更」をクリックします。



③「分割」を開きグリッドの分割表示を選択します。細かく分割すると1目盛りが細かくなります。



1/1、1/2、1/3、1/4、1/5、1/6、1/7、1/8、1/9、1/10
の中から選択します。

※内装の設定や家具の配置や寸法や動線を測るのに細かく設定する方が便利です。

2-2) プランの設定 | グリッド・スナップの設定③

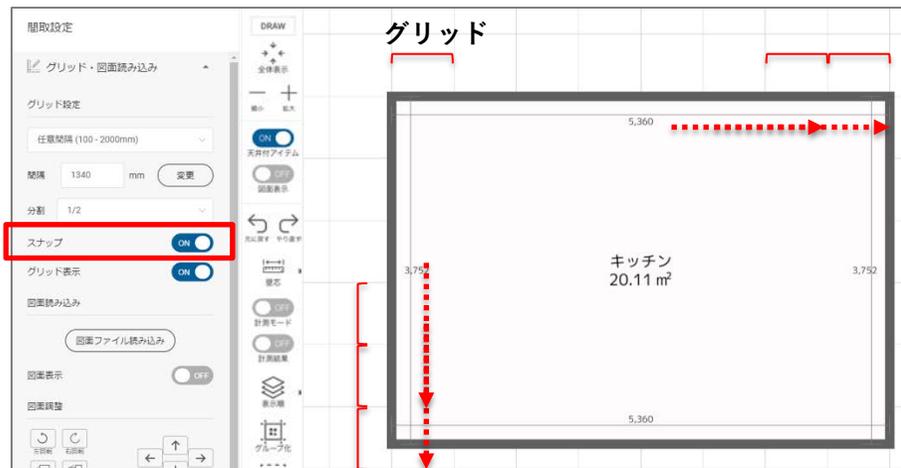
スナップ設定は間取りの設定時に特定の寸法に合わせたい時は「ON」
任意で細かい寸法を設定したい時は「OFF」にしておくと便利です。

【スナップの設定手順】

スナップの設定は「間取設定」→「グリッド・図面読み込み」→「スナップのON・OFF」で設定できます。

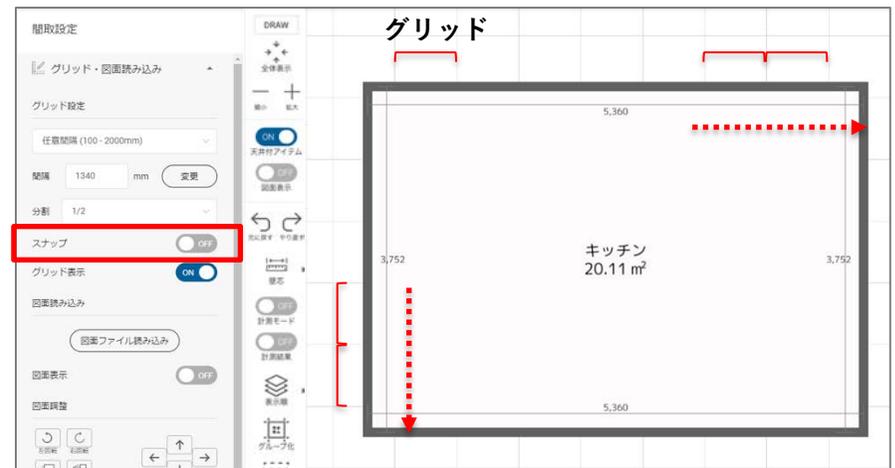
スナップON

グリッドに合わせて配置、サイズ調整ができます。



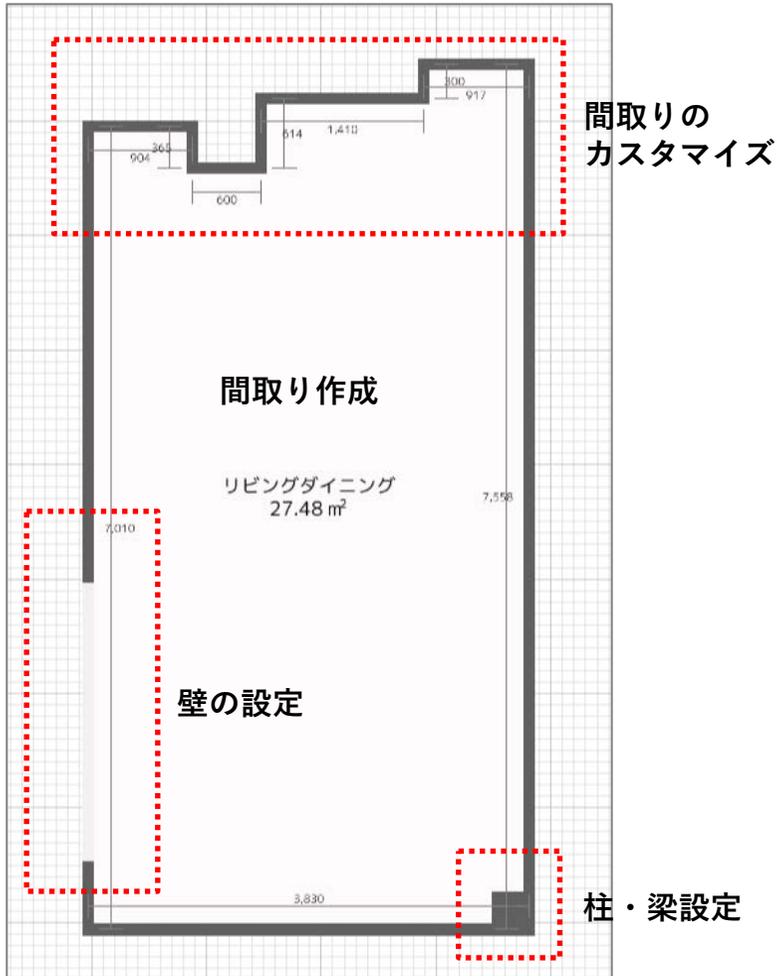
スナップOFF

グリッドに関係なく配置、サイズ調整ができます。



2-3) 間取りの作成

間取りの作成では部屋の形をつくり、壁や柱・梁の設定を行います。

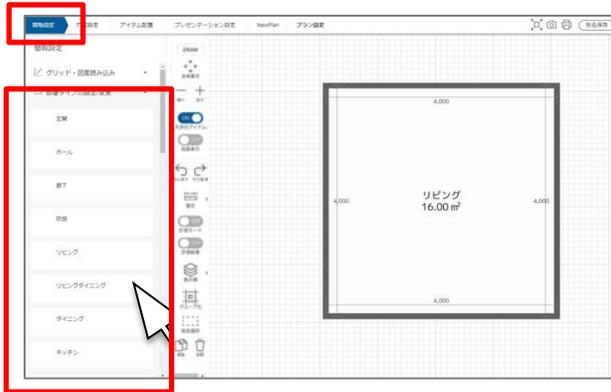


2-3) 間取りの作成 | 間取りの作成・寸法の調整

間取りの作成は次のSTEPで行います。

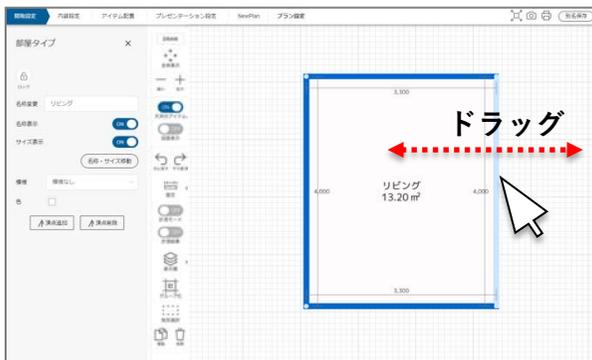
[STEP1] 規定の四角の間取りを部屋タイプから選択、配置します。

- ① 「間取設定」 → 「部屋タイプの設定・変更」で部屋タイプ一覧が表示されます。
- ② 作成する部屋を選択し、シミュレーションビューに間取りを配置します。



[STEP2] 配置した間取りを作成する間取りに合わせて寸法や形の調整をします。

- ① 配置した間取りを選択します。(選択すると青線が表示されます。)
- ② サイズ調整したい壁と直角に接する壁にカーソルをあて、横または縦にドラッグで調整します。

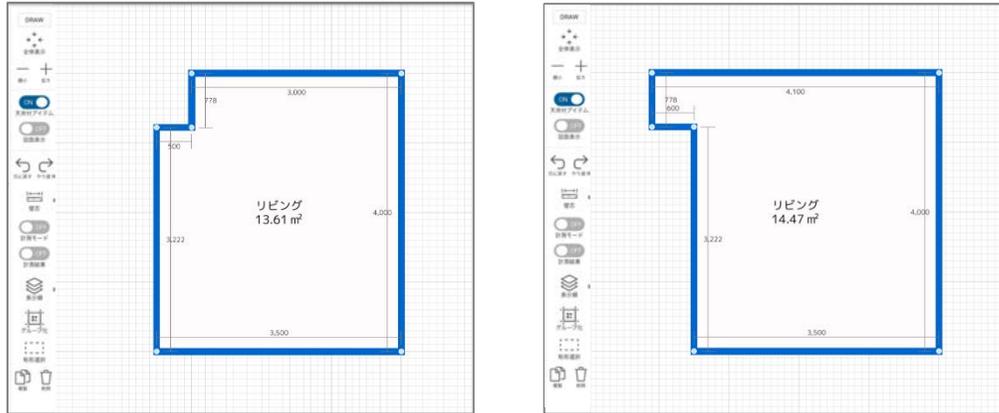


※ドラッグすると表示されている寸法が変わります。

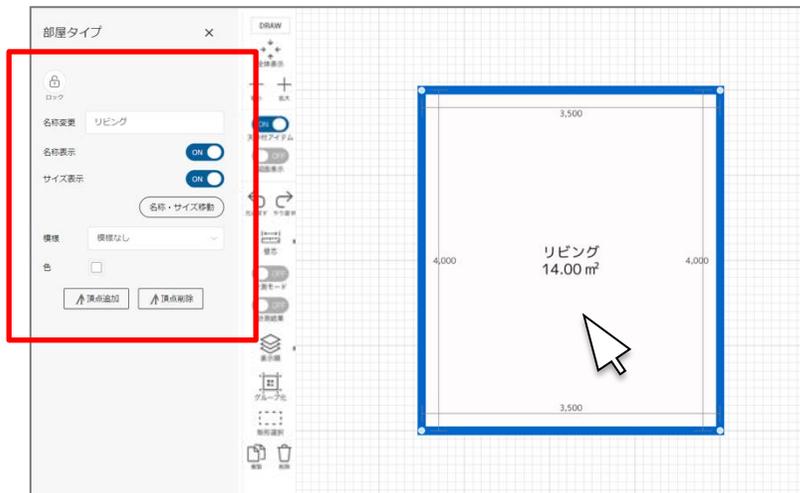
2-3) 間取りの作成 | 間取りのカスタマイズ①

間取りは作成する部屋に合わせて形を変更できます。

【凸凹した部屋の作成】

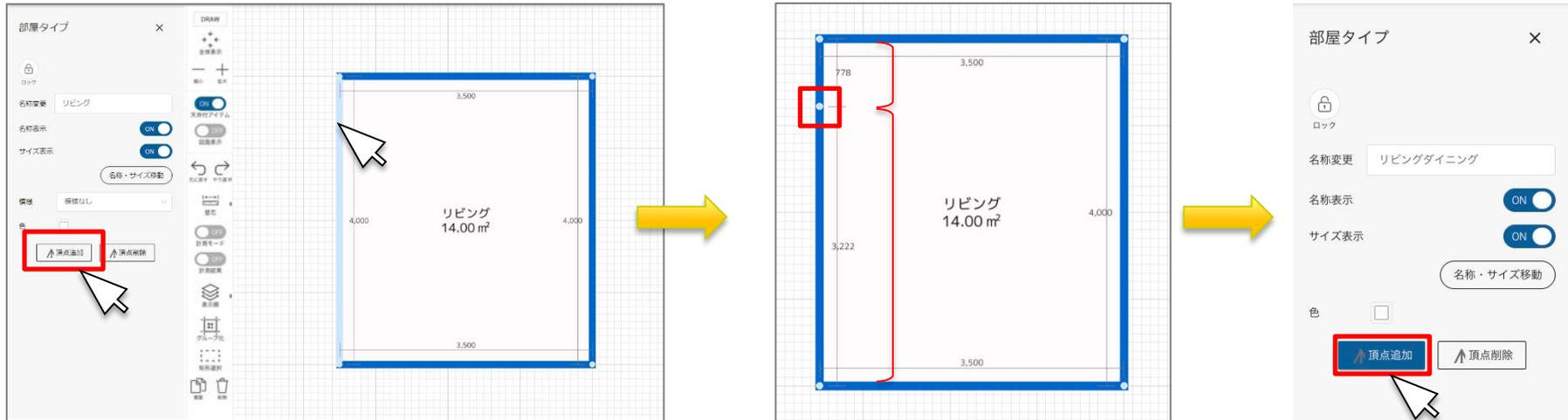


① 加工したい間取りを選択します。選択すると設定画面がナビゲーションバーに表示されます。

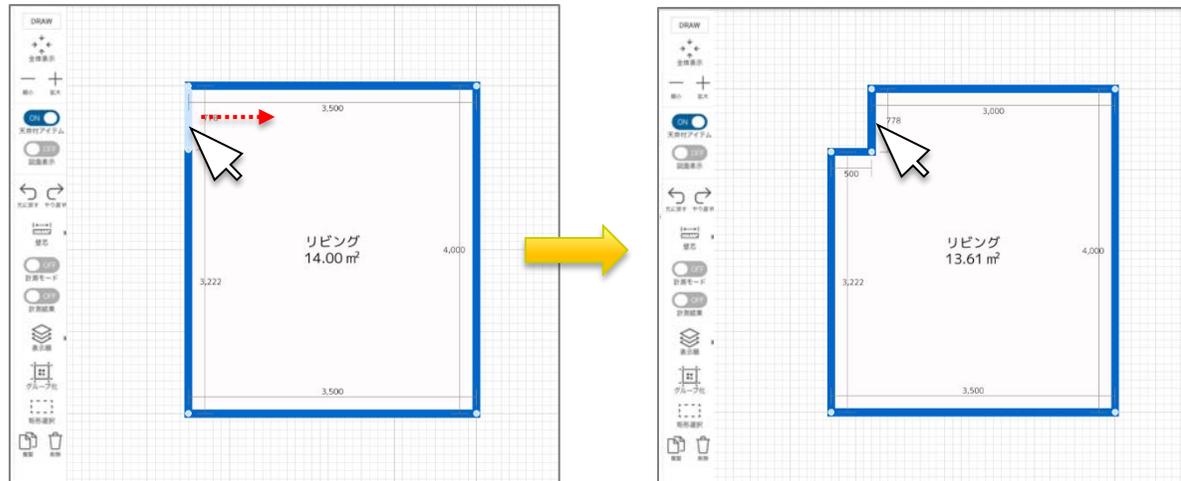


2-3) 間取りの作成 | 間取りのカスタマイズ②

- ② ナビゲーションバーの「頂点追加」をクリックすると、頂点追加モードになります。
 凸凹を作成したいすべての箇所をクリックし、頂点を追加します。壁に点が追加され、壁が分割されます。
 追加が終わったら、再度「頂点追加」をクリックし、頂点追加モードを終了します。



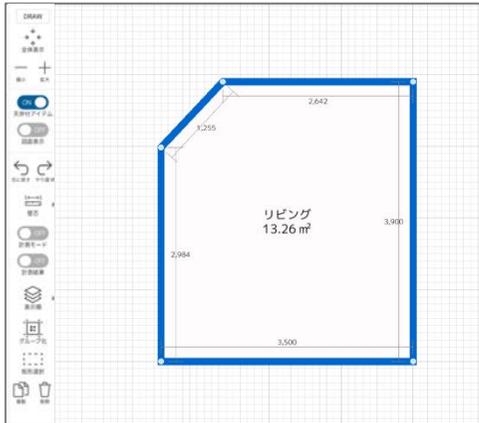
- ③ 凸凹させたい壁にカーソルをあてへこませたい、または出っ張らせたい方向へドラッグします。



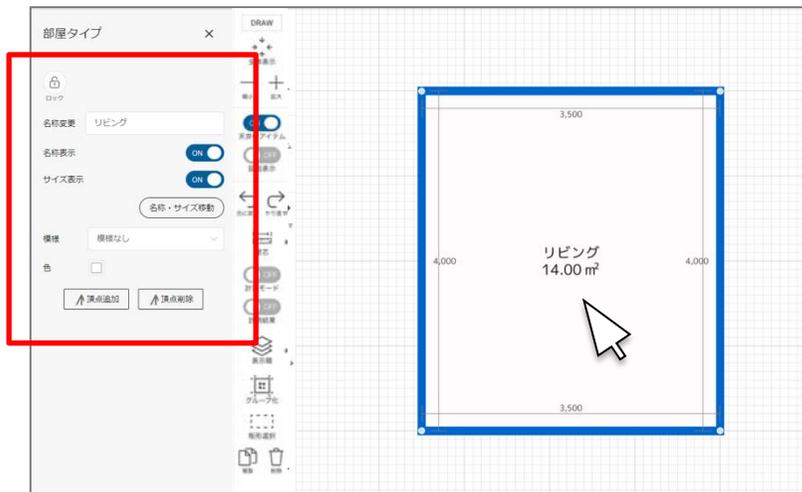
2-3) 間取りの作成 | 間取りのカスタマイズ③

間取りは作成する部屋に合わせて形を変更できます。

【斜め壁のある部屋の作成】

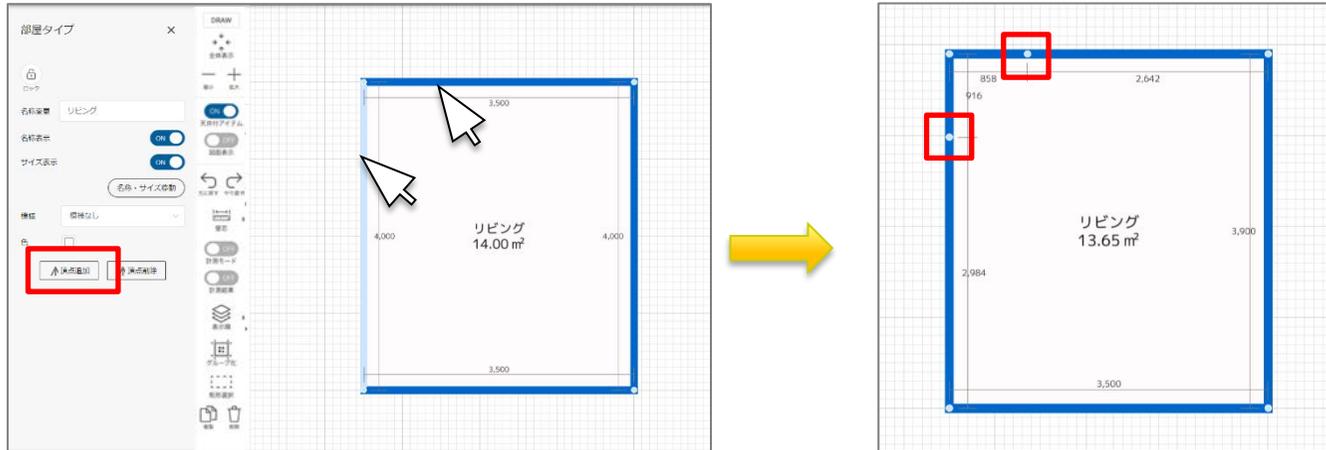


① 加工したい間取りを選択します。選択すると設定画面がナビゲーションバーに表示されます。

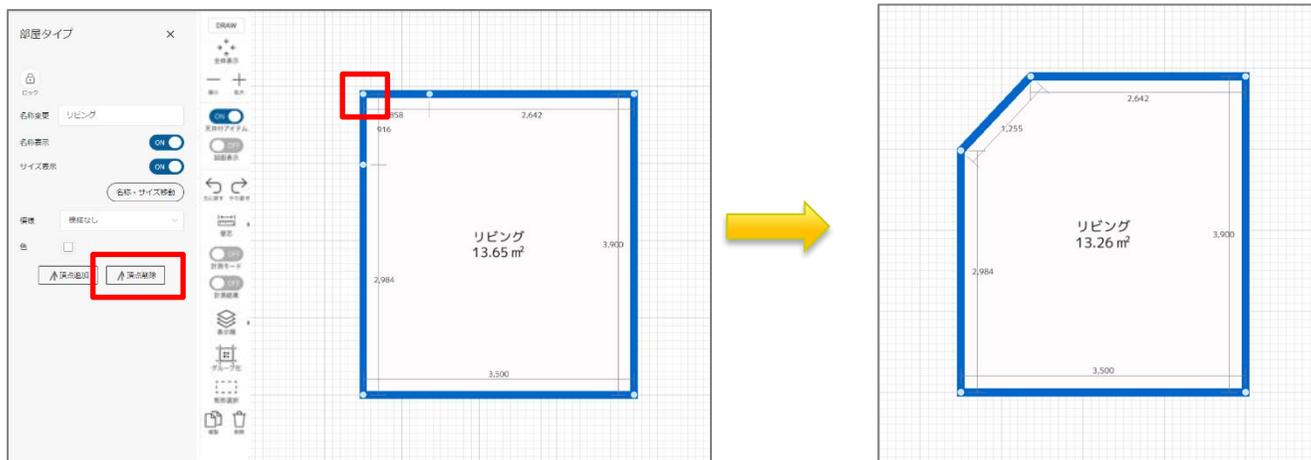


2-3) 間取りの作成 | 間取りのカスタマイズ④

- ② ナビゲーションバーの「頂点追加」をクリックし、斜め壁になった時に隣接する壁2か所に頂点を追加します。
壁に点が追加され、壁が分割されます。



- ③ ナビゲーションバーの「頂点削除」をクリックし、追加した2点の間の頂点をクリックし削除します。



2-3) 間取りの作成 | 図面の読み込み①

間取りの作成は、図面データを読み込み、図面をもとに作成することもできます。紙の図面のように確認作業を行き来することなくできるので効率よく作業ができます。



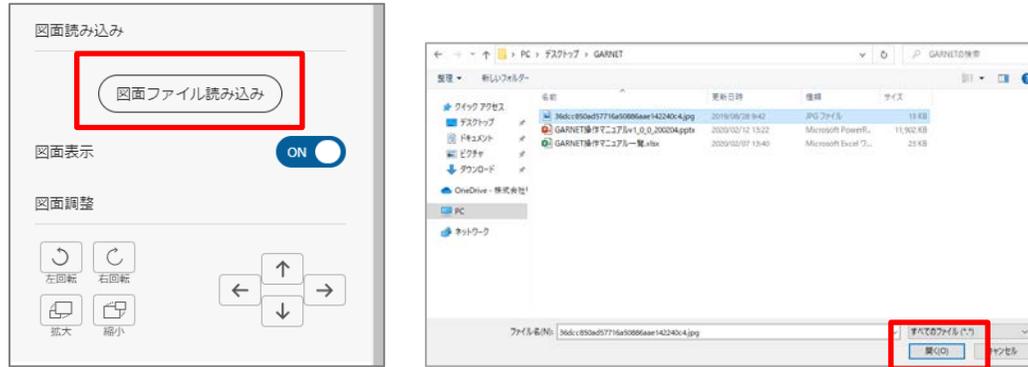
図面読み込みは次のSTEPで間取りを作成します。

- [STEP 1] データ化された図面ファイルを読み込みます。
※2MB以内のJPEGファイル（推奨）またはPNGファイルである必要があります。
- [STEP 2] 図面の縮尺をグリッドの縮尺と合わせます。
- [STEP 3] 図面に合わせて間取りを作成します。

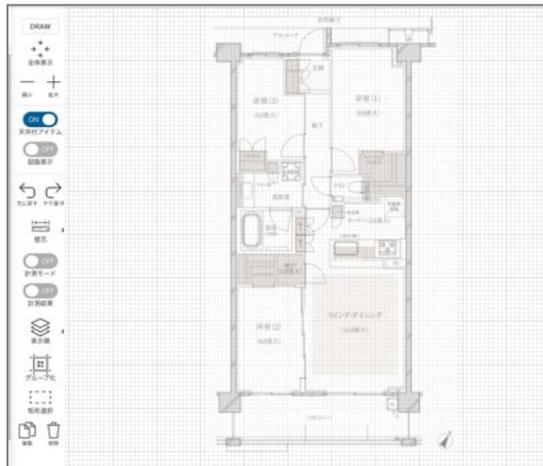
2-3) 間取りの作成 | 図面の読み込み②

[STEP 1]データ化された図面ファイルを読み込みます。

- ① 「間取設定」 → 「グリッド・図面読み込み」のナビゲーションバーを開きます。
- ② 「図面読み込み」の「図面ファイル読み込み」をクリックするとファイルフォルダが開くので該当するファイルを選び「開く」をクリックします。



- ③ 図面が読み込まれます。



[STEP 2] 図面の縮尺をグリッドの縮尺と合わせます。

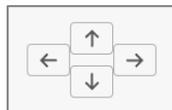
- ① ナビゲーションバーの「図面調整」→「拡大」をクリックします。クリックするごとに図面が拡大します。図面の縮尺が小さい時は「拡大」、大きい時は「縮小」で調整します。グリッドを目安に拡大/縮小し、どこか1辺を計測して寸法の確認を行います。



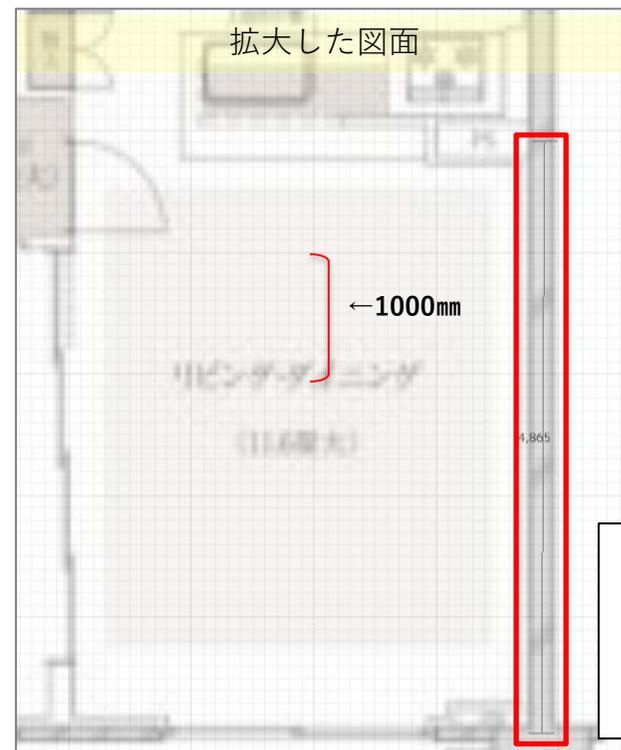
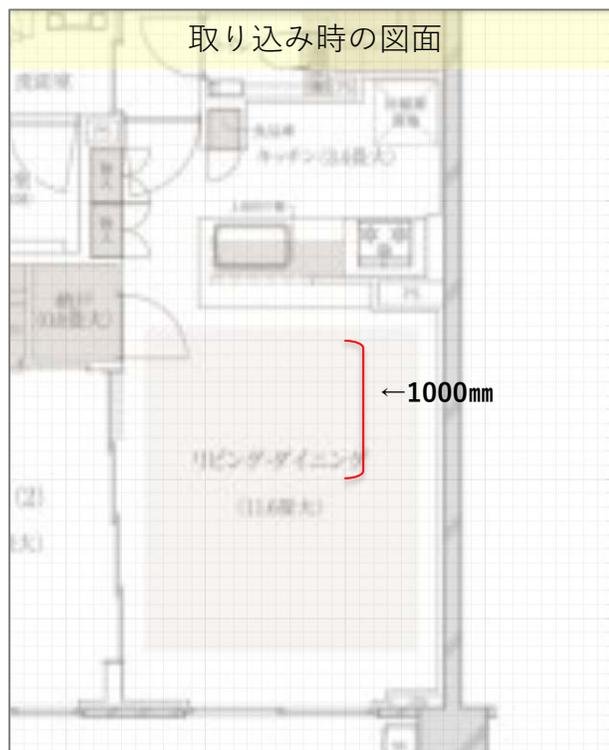
他に回転や移動をして
図面の調整ができます。



図面の向きを変えたい時に使用します。



図面の位置をグリッドに合わせたい時に使用します。



↑
計測して
寸法の確認をします。

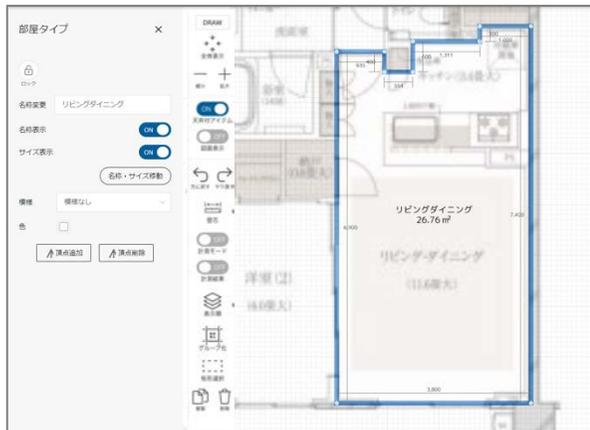
2-3) 間取りの作成 | 図面の読み込み④

[STEP 3] 図面に合わせて間取りを作成します。

- ① 「間取設定」 → 「部屋タイプの設定・変更」のナビゲーションバーを開きます。
- ② 作成する部屋タイプを選び間取りを配置します。



- ③ 間取りを選択し、図面に合わせて寸法と形の調整を行います。



図面の表示は

「間取設定」 → 「グリッド・図面読み込み」 → 「図面表示」を
OFFにすると非表示にすることができます。

※別名保存時に図面の引き継ぎが必要な場合はONにしてください。

2-3) 間取りの作成 | 壁の加工・追加作成①

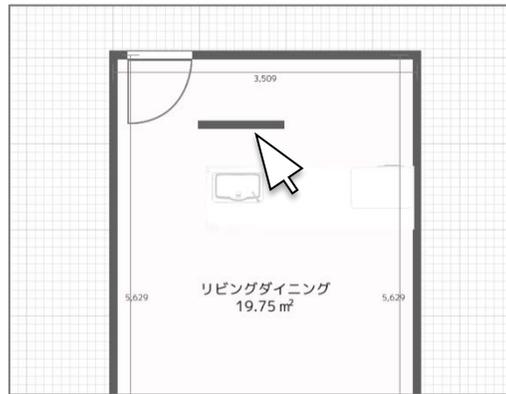
仕切り壁や、腰壁、入口の開口部など壁の加工や追加方法を説明します。

【壁の作成手順】

① 「間取設定」 → 「壁の設定/変更」 → 「壁作成」 をクリックします。



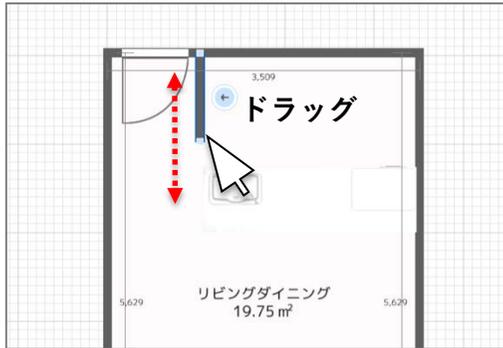
② カーソルをシミュレーションビューに移動させ、追加したい位置でクリックします。
配置した壁を選択すると「壁の詳細設定」がナビゲーションバーに表示されます。



初期設定は
 ・幅1000mm
 ・床から天井までON
 ・高さ2400mm
 です。

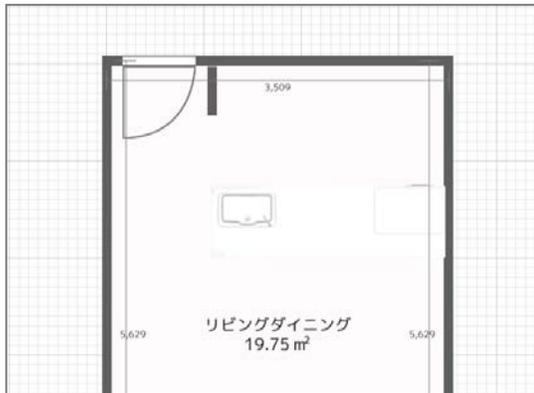
2-3) 間取りの作成 | 壁の加工・追加作成②

- ③ 壁を選択し、間取りに合わせて壁を回転や移動させます。
- ④ 壁を選択し、間取りに合わせて寸法を調整します。
寸法はドラッグして変更、または詳細設定から数値を入力して変更できます。



※「床から天井まで」をOFFにすると高さの変更も可能です。
高さはドラッグで変更はできません。

- ⑤ 壁が作成できました。
※壁の作成は[DRAW]モードのみ、設定変更は[3D]モードでも可能です。

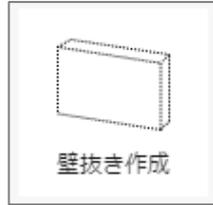


2-3) 間取りの作成 | 壁の加工・追加作成③

【開口部の作成】

開口部の作成は初期設定の違いにより3パターンから始められます。
作成したい開口部に近い形状から始めると作成がスムーズに進みます。

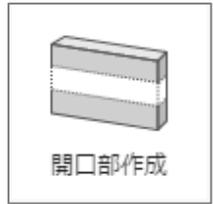
- ・ 壁抜き作成 → 壁1枚をまるごとくり抜きたい



開口部の初期設定

- ・ 幅：作成した壁の幅に合わせてくりぬき
- ・ 高さ：作成した天井高に合わせてくりぬき
- ・ 床からの高さ：0mm

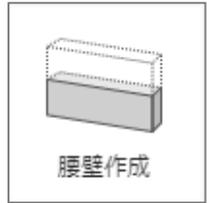
- ・ 開口部作成 → 一部の壁をくり抜きたい



開口部の初期設定

- ・ 幅：1000mm
- ・ 高さ：1000mm
- ・ 床からの高さ：1000mm

- ・ 腰壁作成 → 上部をくり抜いた腰壁を作りたい



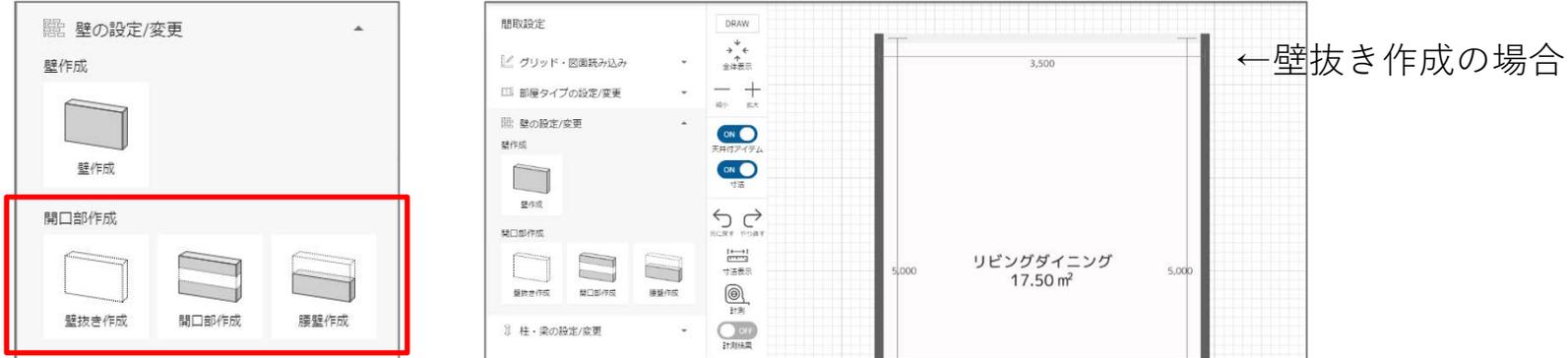
開口部の初期設定

- ・ 幅：作成した壁の幅に合わせてくりぬき
- ・ 高さ：1400mmから作成した天井高までくりぬき
- ・ 床からの高さ：1400mm

2-3) 間取りの作成 | 壁の加工・追加作成④

【開口部の作成手順】

- ① 「間取設定」 → 「壁の設定/変更」 → 「壁抜き作成」または「開口部作成」または「腰壁作成」をクリックします。
- ② カーソルを開口部を作成したい壁に合わせ、クリックすると開口部が作成されます。



- ③ 開口部を選択すると「開口部の詳細設定」がナビゲーションバーに表示されます。寸法はドラッグして変更、または詳細設定から数値を入力して変更できます。
※[DRAW]モードの時のみ変更が可能です。



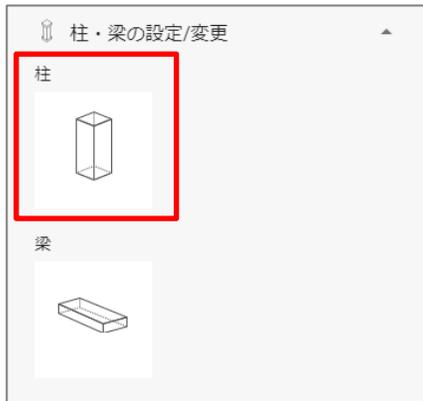
※作成した開口部はドラッグで他の壁に移動することができます。ただし、複製はできません。

2-3) 間取りの作成 | 柱・梁の作成①

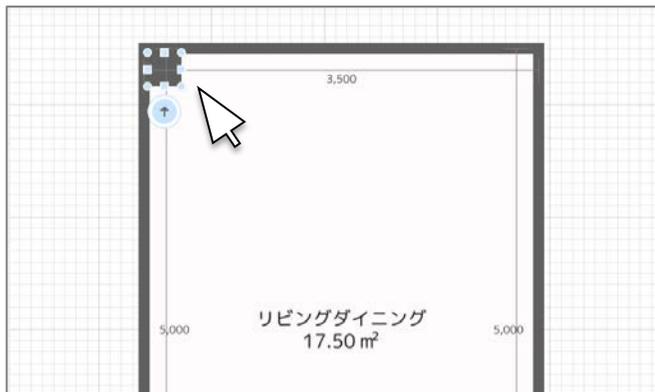
柱と梁の作成方法を説明します。

【柱の作成手順】

① 「間取設定」 → 「柱・梁の設定/変更」 → 「柱」 をクリックします。



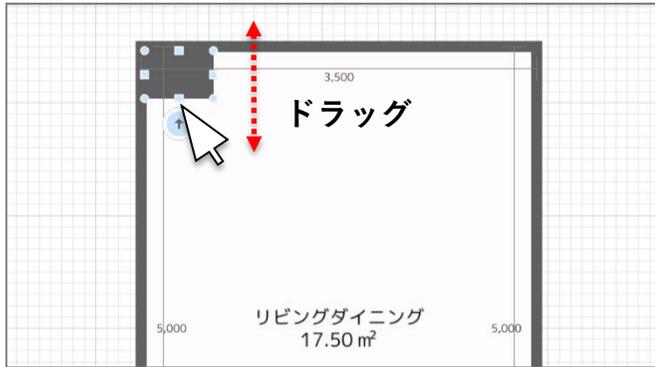
② カーソルをシミュレーションビューに移動させ、作成したい位置でクリックします。
配置した柱を選択すると「柱の詳細設定」がナビゲーションバーに表示されます。



初期設定は
・幅：300mm
・奥行：300mm
・高さ：作成した天井高
です。

2-3) 間取りの作成 | 柱・梁の作成②

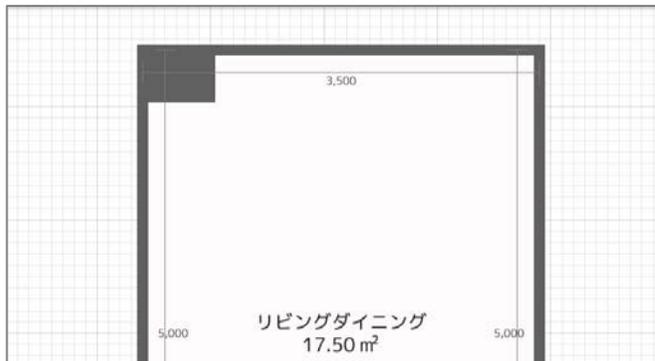
- ③ 柱を選択し、間取りに合わせて寸法を調整します。
寸法はドラッグして変更、または詳細設定から数値を入力して変更できます。



幅	<input type="text" value="608"/>	mm	<input type="button" value="変更"/>
奥行き	<input type="text" value="425"/>	mm	<input type="button" value="変更"/>

※高さは変更できません。

- ④ 柱が作成できました。
※柱の作成・移動・変更は[3D]モードでも可能です。



2-3) 間取りの作成 | 柱・梁の作成③

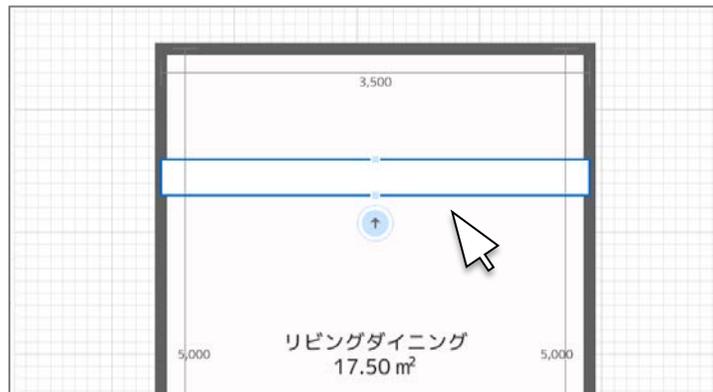
【梁の作成手順】

① 「間取設定」 → 「柱・梁の設定/変更」 → 「梁」 をクリックします。



※部分的な梁（壁と壁をつないでいない梁）を作成する場合は、下がり天井を作成してください。
参照: [2-3\) 間取りの作成 | 壁付き棚、下がり天井、上げ床の作成](#)

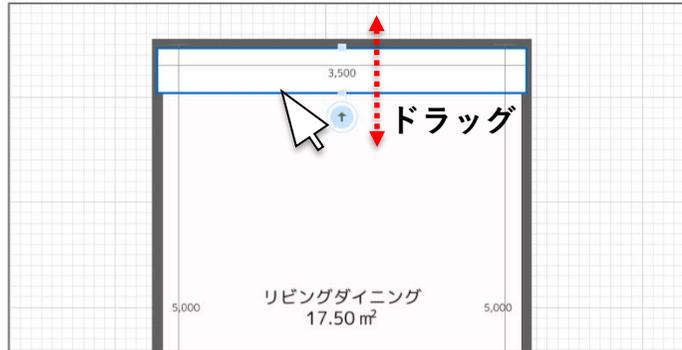
② カーソルをシミュレーションビューに移動させると壁の幅に合わせて梁が表示され配置したい位置でクリックします。
配置した梁を選択すると「梁の詳細設定」がナビゲーションバーに表示されます。



初期設定は
 ・幅：作成した壁の幅に合わせる
 ・高さ：100mm
 ・奥行：300mm
 です。

2-3) 間取りの作成 | 柱・梁の作成④

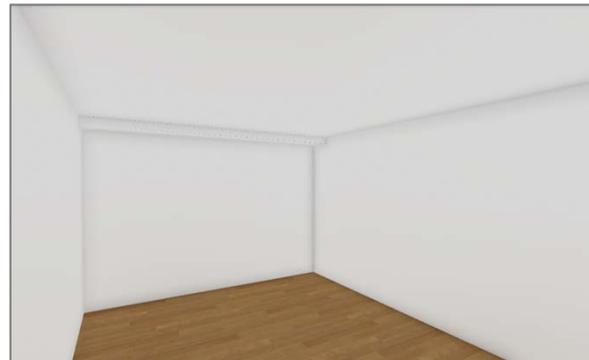
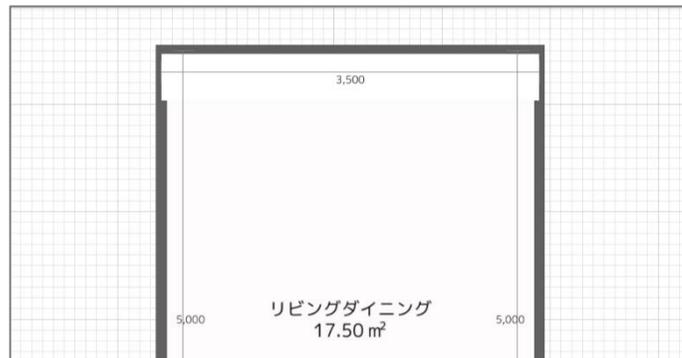
- ③ 梁を選択し、間取りに合わせて回転や移動をして調整します。
- ④ 梁を選択し、間取りに合わせて寸法を調整します。
寸法はドラッグして変更、または詳細設定から数値を入力して変更できます。



高さ	100	mm	変更
奥行き	300	mm	変更

※幅は変更できません。
ドラッグで高さは変更
できません。

- ⑤ 梁が作成できました。
※梁の作成・移動は[DRAW]モードのみ、サイズ変更は[3D]モードでも可能です。



[DRAW]モードで
「天井付アイテム」をOFFに
すると梁が非表示になり、
家具などアイテムの配置が
しやすくなります。

壁付き棚、下がり天井、上げ床の作成方法を説明します。



【作成手順】

「内装設定」に移動し、カテゴリから「住宅設備」→「オプション」を選択し、作成したい間取りに応じて適切な角柱を選びます。

- 角柱（壁付け）：壁付き棚を作成する場合
- 角柱（天井付け）：下がり天井を作成する場合
- 角柱（床置き）：上げ床を作成する場合

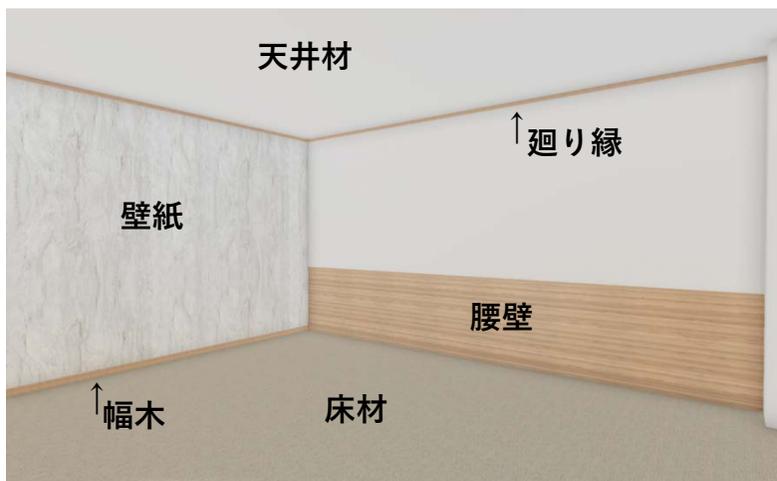
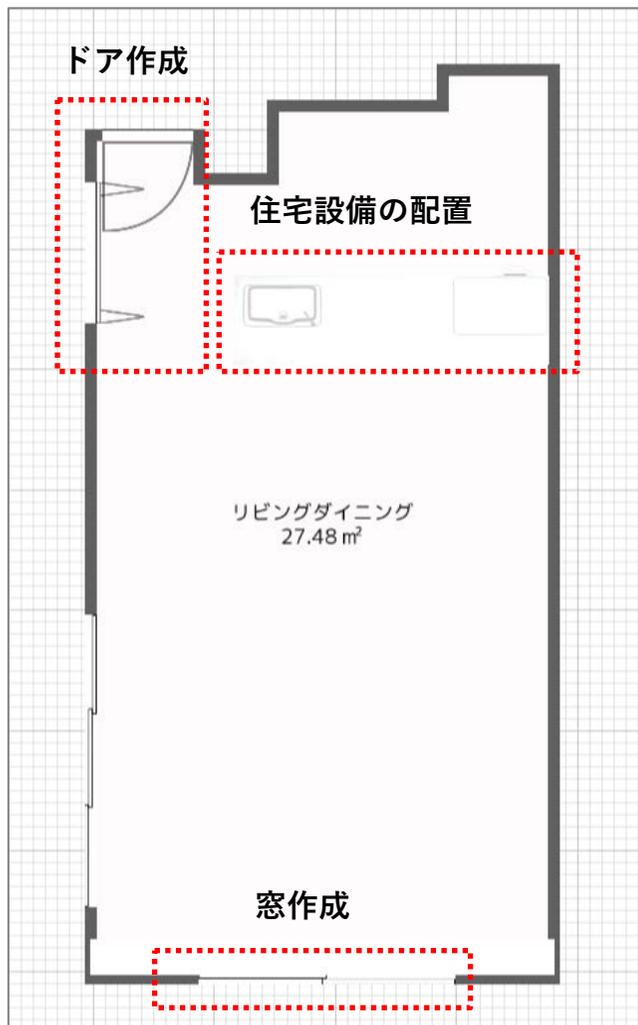
【配置方法】

[柱・梁と同様の方法](#)で配置していきます。

参照：[4-2\) アイテムのタイプを知る](#)

2-4) 内装の作成

内装の作成では部屋の内装設備や内装材、住宅設備の設定ができます。



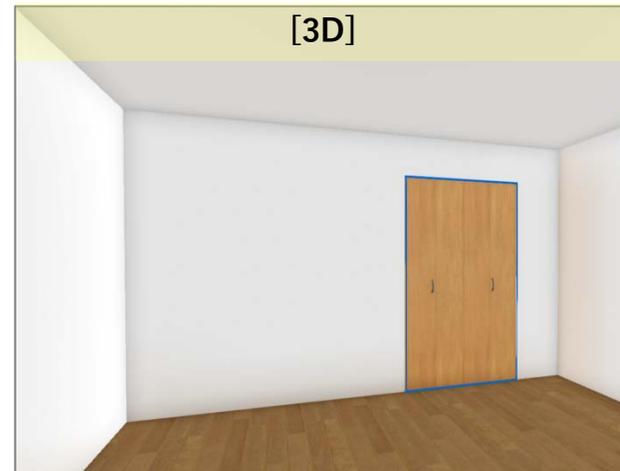
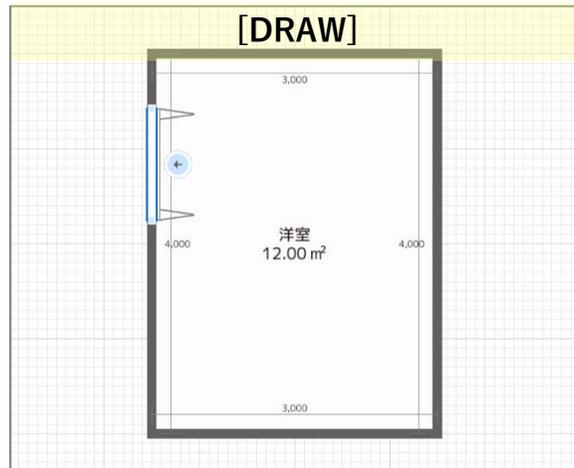
2-4) 内装の作成 | ドアの作成①

ドアは[DARW]モード、[3D]モードどちらでも設定できます。

① 「アイテム配置」 → カテゴリ「階段/ドア/窓」 → 「ドア」を選択します。



② ドアの種類を選び、間取りに配置します。



※クリックする前に[Esc]を押すとアイテムの選択が解除されます。

2-4) 内装の作成 | 窓の作成①

窓は[DRAW]モード、[3D]モードどちらでも設定できます。

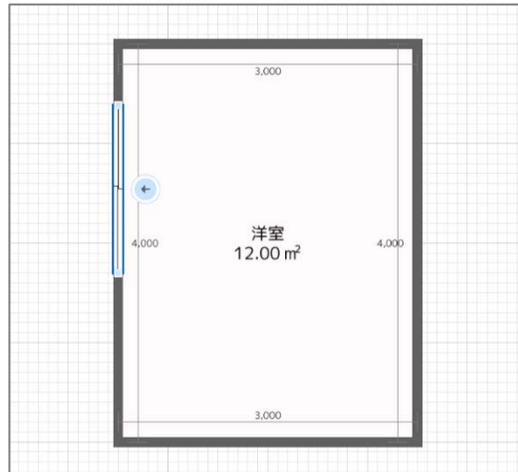
①「アイテム配置」→カテゴリ「階段/ドア/窓」→「窓」を選択します。



② 窓の種類を選び、間取りに配置します。



[DRAW]



[3D]



※クリックする前に[Esc]を押すとアイテムの選択が解除されます。

2-4) 内装の作成 | ドアの作成②

- ③ 配置したドアを選択すると詳細設定がナビゲーションバーに表示されます。
 サイズ、デザイン、色などの仕様設定ができます。※種類によって設定できる項目が変わります。



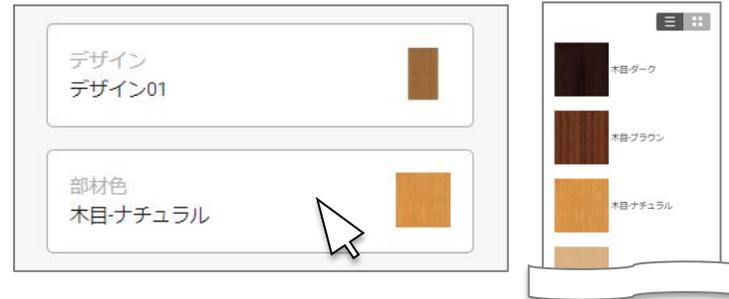
[サイズ変更]

数値を入力し変更をクリックします。

幅	<input type="text" value="1180"/>	mm	<input type="button" value="変更"/>
高さ	<input type="text" value="2025"/>	mm	<input type="button" value="変更"/>
床からの高さ	<input type="text" value="0"/>	mm	<input type="button" value="変更"/>

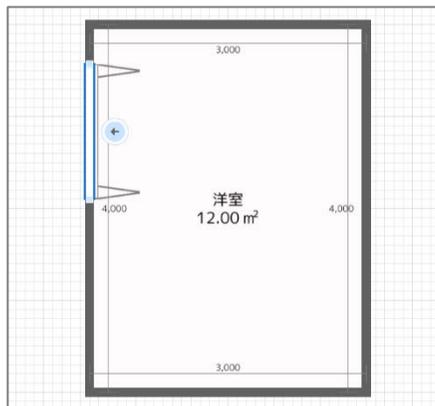
[デザイン・色・仕様変更]

それぞれクリックすると設定できる項目の一覧が表示されます。
 該当するものを選択しクリックします。



- ④ 作成する部屋に合わせて配置場所、サイズ、デザイン、色の調整をします。
 ※配置場所とサイズの変更は[DRAW]モード、デザインと色の変更は[3D]モードが設定しやすくおすすめです。

[DRAW]



[DRAW]モードでは幅のみ、ドラッグ操作でサイズ変更が可能です。

[3D]



2-4) 内装の作成 | 窓の作成②

- ③ 配置した窓を選択すると詳細設定がナビゲーションバーに表示されます。
 サイズ、デザイン、色などの仕様設定ができます。※種類によって設定できる項目が変わります。



[サイズ変更]

数値を入力し変更をクリックします。

幅	1690	mm	変更
高さ	2030	mm	変更
床からの高さ	0	mm	変更

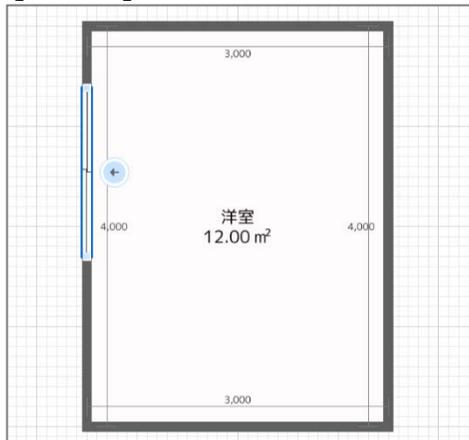
[仕様・色変更]

それぞれクリックすると設定できる項目の一覧が表示されます。該当するものを選択しクリックします。

中棧なし	<input type="checkbox"/>
部材色 アルミ	<input checked="" type="checkbox"/>

- ④ 作成する部屋に合わせて配置場所、サイズ、色の調整をします。
 ※配置場所とサイズの変更は[DRAW]モード、色の変更は[3D]モードが設定しやすくおすすめです。

[DRAW]



[DRAW]モードでは幅のみ、ドラッグ操作でサイズ変更が可能です。

[3D]



※画像は中棧ありの掃き出し窓

2-4) 内装の作成 | 階段の作成①

窓は[DRAW]モード、[3D]モードどちらでも設定できます。

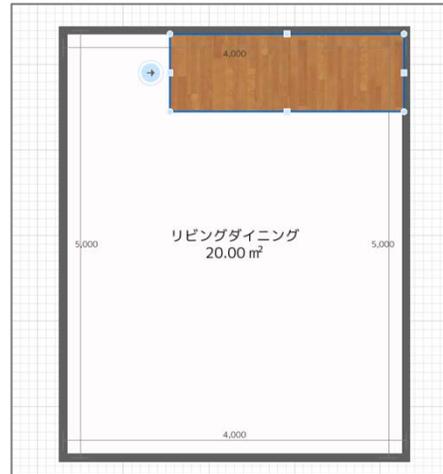
① 「内装設定」→カテゴリ「階段/ドア/窓」→「階段」を選択します。



② 階段の種類を選び、間取りに配置します。



[DRAW]



[3D]



※クリックする前に[Esc]を押すとアイテムの選択が解除されます。

2-4) 内装の作成 | 階段の作成②

- ③ 配置した階段を選択すると詳細設定がシミュレーションビューに表示されます。
 サイズ、デザイン、色など仕様設定ができます。※種類によって設定できる項目が変わります。



[サイズ変更]

数値を入力し変更をクリックします。

幅	910	mm	変更
高さ	2900	mm	変更
奥行き	2730	mm	変更

[形状・側面・踏面変更]

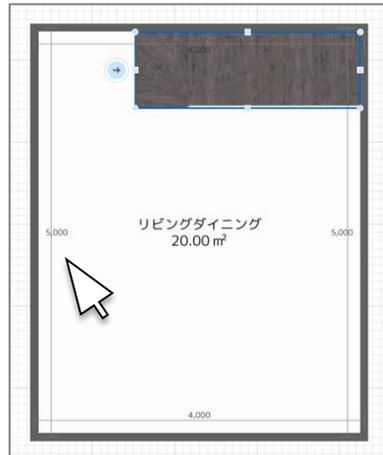
それぞれクリックすると設定できる項目の一覧が表示されます。
 該当するものを選択しクリックします。

形状	ストレート02 (右回り)
側面	なし
踏面	化粧板-木目ダークグレーオーク (横)

フロリングクリーム (横)
フロリングフロンド (横)
フロリングアッシュ (横)
...

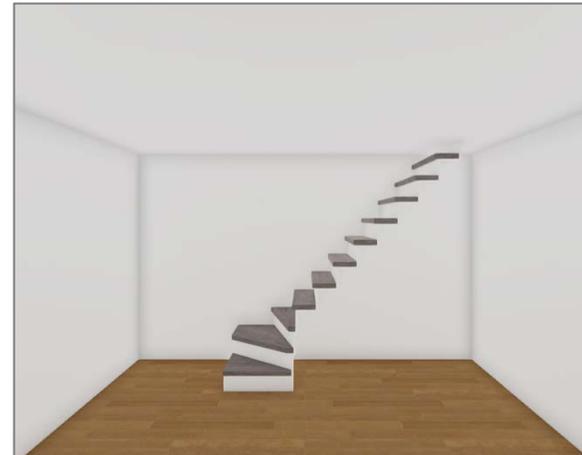
- ④ 作成する部屋に合わせて配置場所、サイズ、色の調整をします。
 ※配置場所とサイズの変更は[DRAW]モード、色などの仕様の変更は[3D]モードが設定しやすくおすすめです。

[DRAW]



[DRAW]モードでは
 幅と奥行きのみ
 ドラッグ操作で
 サイズ変更が可能です。

[3D]



2-4) 内装の作成 | 壁紙の変更①

壁紙は[3D]モードでのみ設定できます。

① [3D]モードに切り替え、「アイテム配置」→カテゴリ「壁紙/床材/天井材」→「壁紙」を選択します。

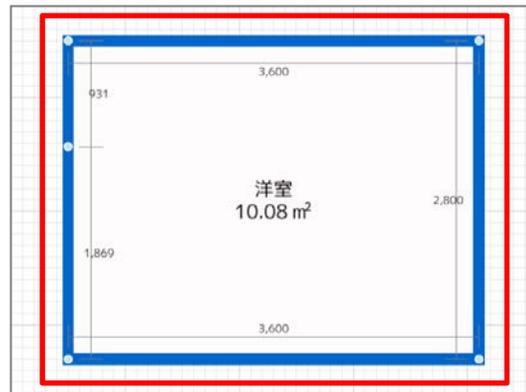


② 壁紙の変更箇所を部屋全体か個別の壁か選びます。



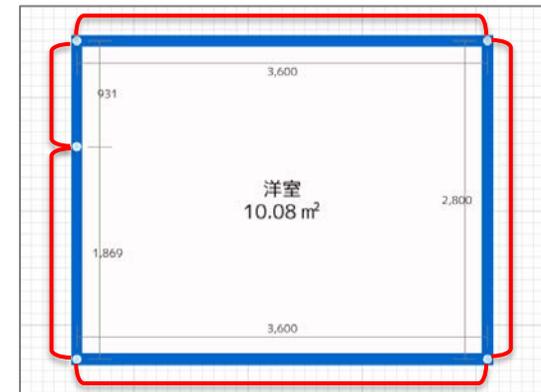
[部屋全体]

部屋のすべての壁が対象



[個別]

頂点で区切られた個別の壁が対象

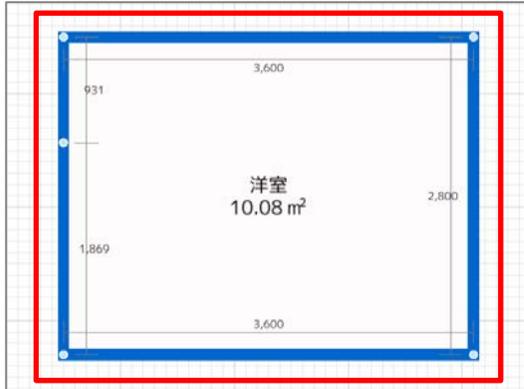


2-4) 内装の作成 | 壁紙の変更②

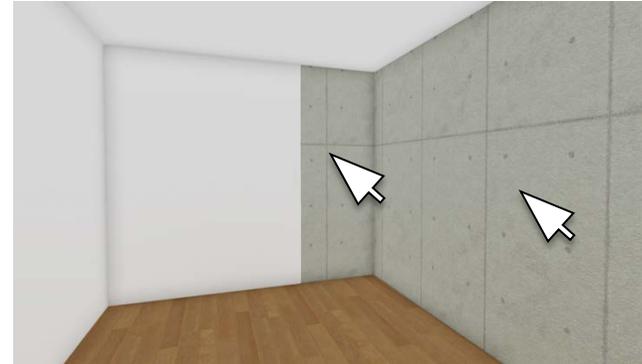
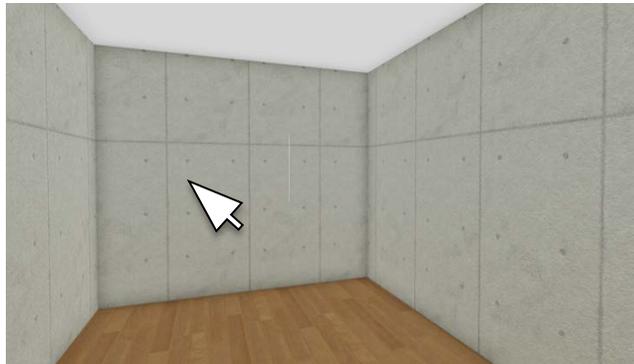
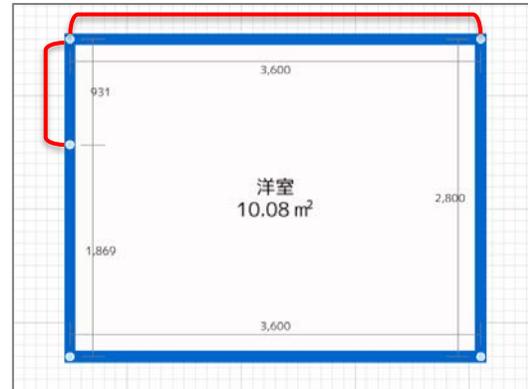
- ③ 希望の壁紙のデザインをクリックし、シミュレーションビュー上の変更したい壁をクリックします。(部屋全体の場合はどこの壁でもOKです。)



[部屋全体]



[個別]



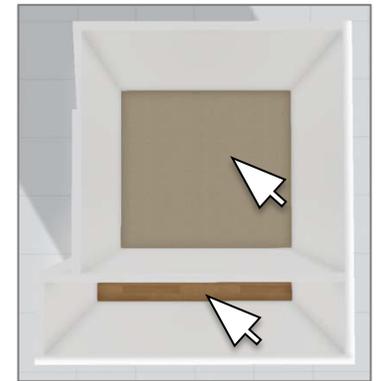
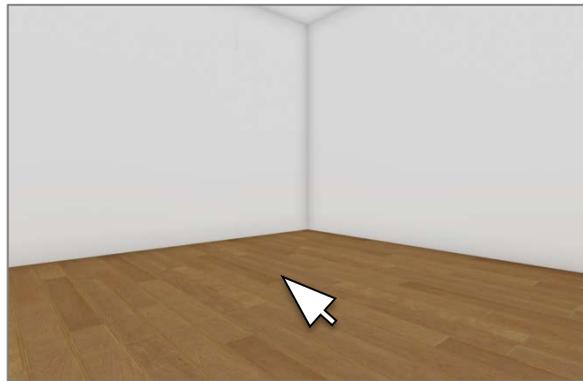
2-4) 内装の作成 | 床材の変更

床材は[3D]モードでのみ設定できます。

① [3D]モードに切り替え、「アイテム配置」→カテゴリ「壁紙/床材/天井材」→「床材」を選択します。



② 希望の床材のデザインをクリックし、シミュレーションビュー上で床をクリックします。



※複数の部屋がある場合は、部屋ごとに変更します。

2-4) 内装の作成 | 幅木の作成①

幅木は[3D]モードでのみ設定できます。

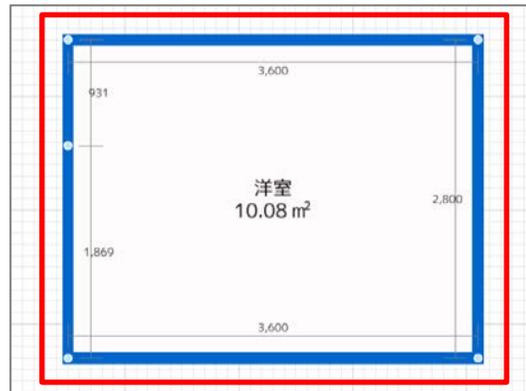
① [3D]モードに切り替え、「アイテム配置」→カテゴリ「幅木/廻り縁/腰板」→「幅木」を選択します。



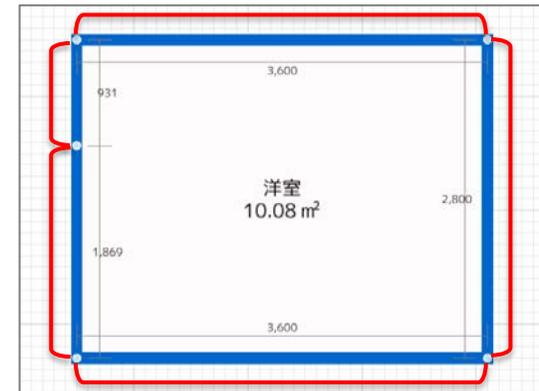
② 幅木を作成する壁を部屋全体か個別の壁か選びます。



[部屋全体]
部屋のすべての壁が対象



[個別]
頂点で区切られた個別の壁が対象

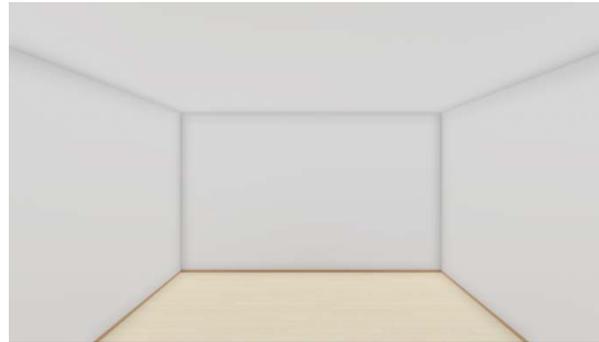


2-4) 内装の作成 | 幅木の作成②

- ③ 希望の幅木のデザインをクリックし、シミュレーションビュー上で作成したい壁をクリックします。(部屋全体の場合はどこの壁でもOKです。)



[部屋全体]



[個別]

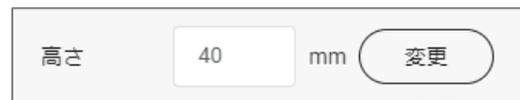


- ④ 配置した幅木を選択すると詳細設定がナビゲーションバーに表示されます。高さ、色の設定ができるので、作成する部屋に合わせて調整をします。



[高さ変更]

数値を入力し変更をクリックします。



[色変更]

クリックすると一覧が表示され、該当するものを選択しクリックします。



※部屋全体で作成しても、高さと色の変更は個別で行います。ただし色については、「部屋全体のカラーを変更する」のチェックボックスをONにすると、部屋全体で一括変更できます。

2-4) 内装の作成 | 廻り縁の作成①

廻り縁は[3D]モードでのみ設定できます。

① [3D]モードに切り替え、「内装設定」→カテゴリ「幅木/廻り縁/腰板」→「廻り縁」を選択します。

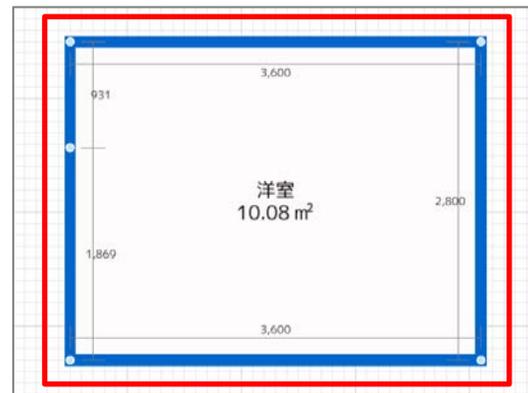


② 廻り縁を作成する壁を部屋全体か個別の壁か選びます。



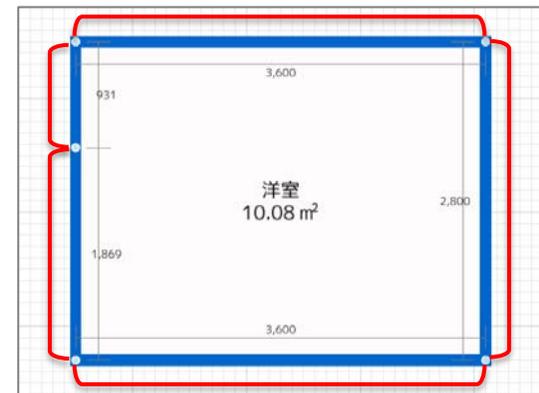
[部屋全体]

部屋のすべての壁が対象



[個別]

頂点で区切られた個別の壁が対象

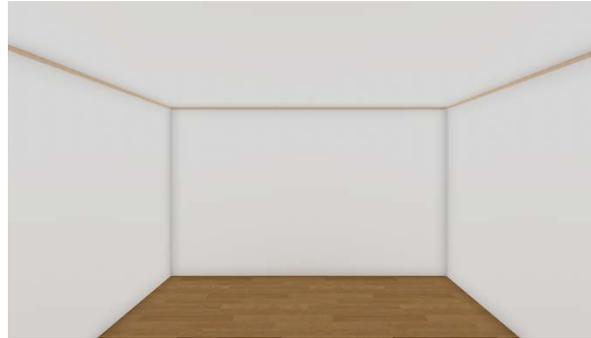


2-4) 内装の作成 | 廻り縁の作成②

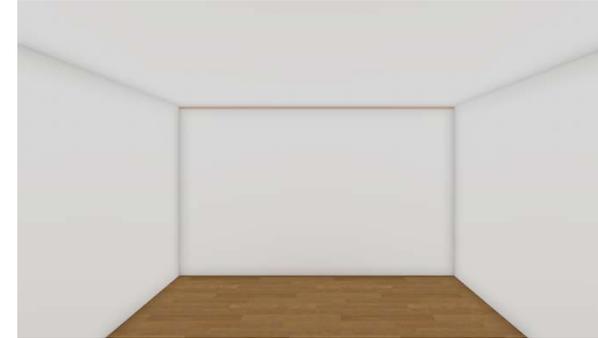
- ③ 希望の廻り縁のデザインをクリックし、シミュレーションビュー上で作成したい壁をクリックします。(部屋全体の場合はどこの壁でもOKです。)



[部屋全体]



[個別]



- ④ 配置した幅木を選択すると詳細設定がナビゲーションバーに表示されます。高さ、色の設定ができるので、作成する部屋に合わせて調整をします。



[高さ変更]

数値を入力し変更をクリックします。



[色変更]

クリックすると一覧が表示され、該当するものを選択しクリックします。



※部屋全体で作成しても、高さと色の変更は個別で行います。ただし色については、「部屋全体のカラーを変更する」のチェックボックスをONにすると、部屋全体で一括変更できます。

2-4) 内装の作成 | 腰板の作成①

腰板は[3D]モードでのみ設定できます。

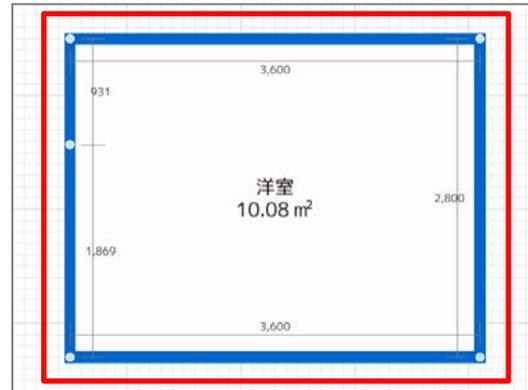
① [3D]モードに切り替え、「内装設定」→カテゴリ「幅木/廻り縁/腰板」→「腰板」を選択します。



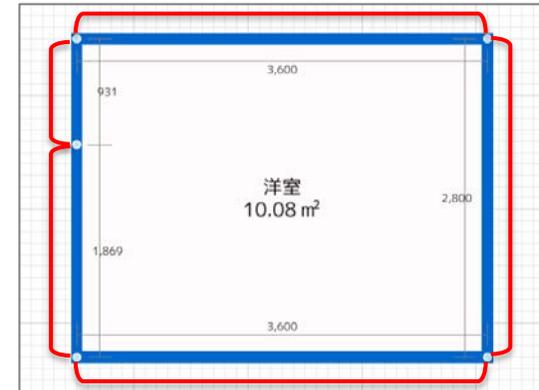
② 腰板を作成する壁を部屋全体か個別の壁か選びます。



[部屋全体]
部屋のすべての壁が対象



[個別]
頂点で区切られた個別の壁が対象

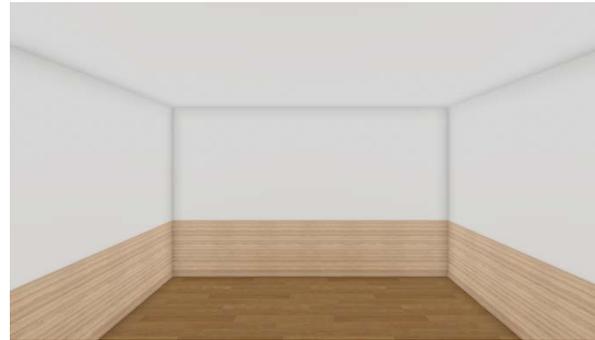


2-4) 内装の作成 | 腰板の作成②

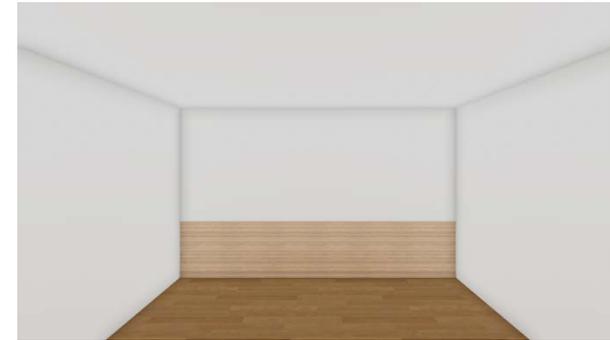
- ③ 希望の腰板のデザインをクリックし、シミュレーションビュー上で作成したい壁をクリックします。(部屋全体の場合はどこの壁でもOKです。)



[部屋全体]



[個別]

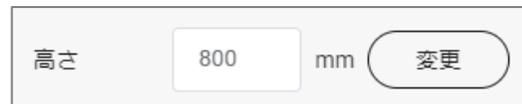


- ④ 配置した腰板を選択すると詳細設定がナビゲーションバーに表示されます。高さ、色の設定ができるので、作成する部屋に合わせて調整をします。



[高さ変更]

数値を入力し変更をクリックします。



[色変更]

クリックすると一覧が表示され、該当するものを選択しクリックします。



※部屋全体で作成しても、高さと色の変更は個別で行います。ただし色については、「部屋全体のカラーを変更する」のチェックボックスをONにすると、部屋全体で一括変更できます。

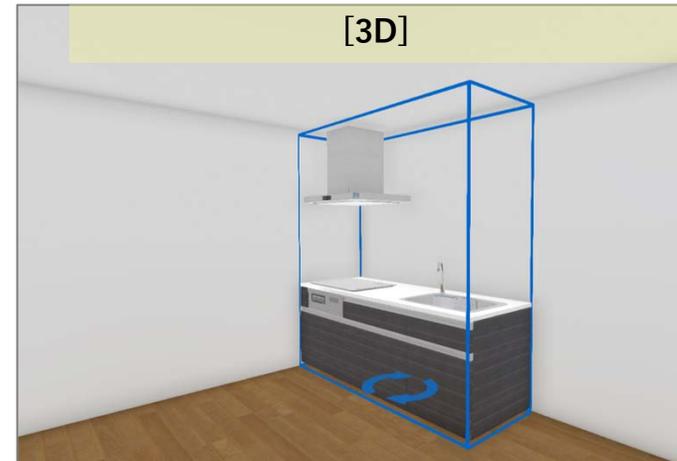
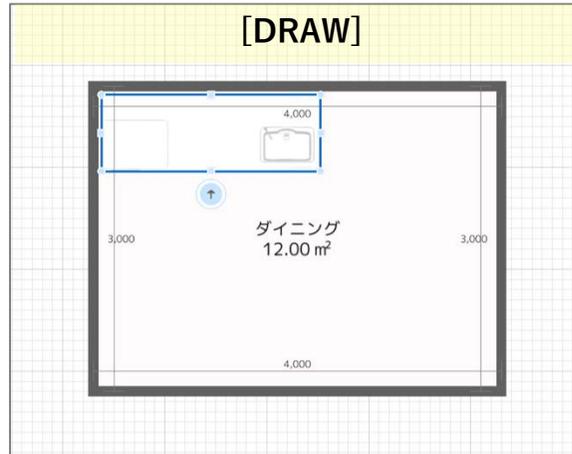
2-4) 内装の作成 | 住宅設備の作成①

住宅設備は[DARW]モード、[3D]モードどちらでも設定できます。

① 「アイテム配置」→カテゴリ「住宅設備」を選択し、配置したい住宅設備をクリックします。



② 希望の種類をクリックし、シミュレーションビュー上で配置したい場所をクリックします。



※クリックする前に[Esc]を押すとアイテムの選択が解除されます。

2-4) 内装の作成 | 住宅設備の作成②

③配置した住宅設備を選択すると詳細設定がナビゲーションバーに表示されます。
サイズ、デザイン、色などの仕様設定ができます。※種類によって設定できる項目が変わります。



[サイズ変更]

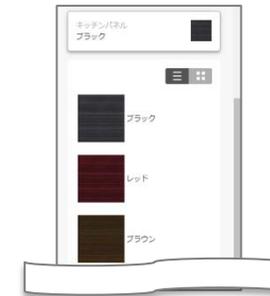
数値を入力し変更をクリックします。

幅	2150	mm	変更
高さ	2350	mm	変更
奥行	750	mm	変更

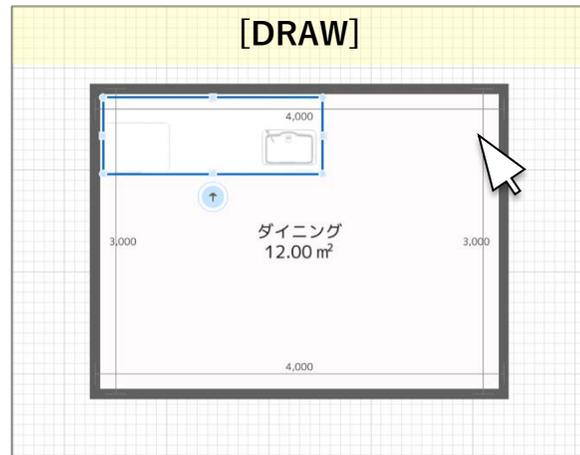
[仕様・色変更]

それぞれクリックすると設定できる項目の一覧が表示されます。
該当するものを選択しクリックします。

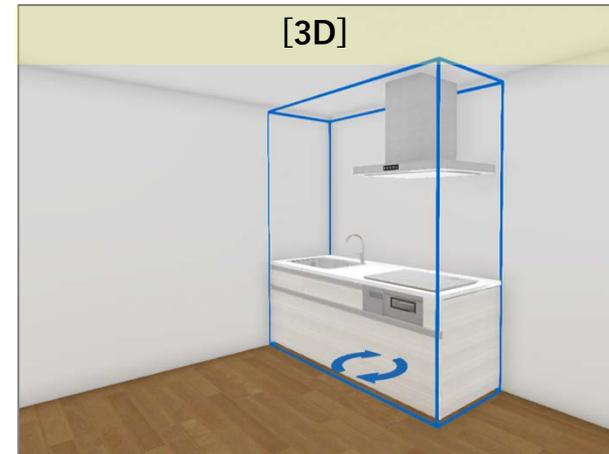
シンク位置	右側
吊戸棚	あり
キッチンパネル	ブラック



④作成する部屋に合わせて配置場所、サイズ、色の調整を行います。
※配置場所とサイズの変更は[DRAW]モード、色や仕様の変更は[3D]モードが設定しやすくおすすめです。

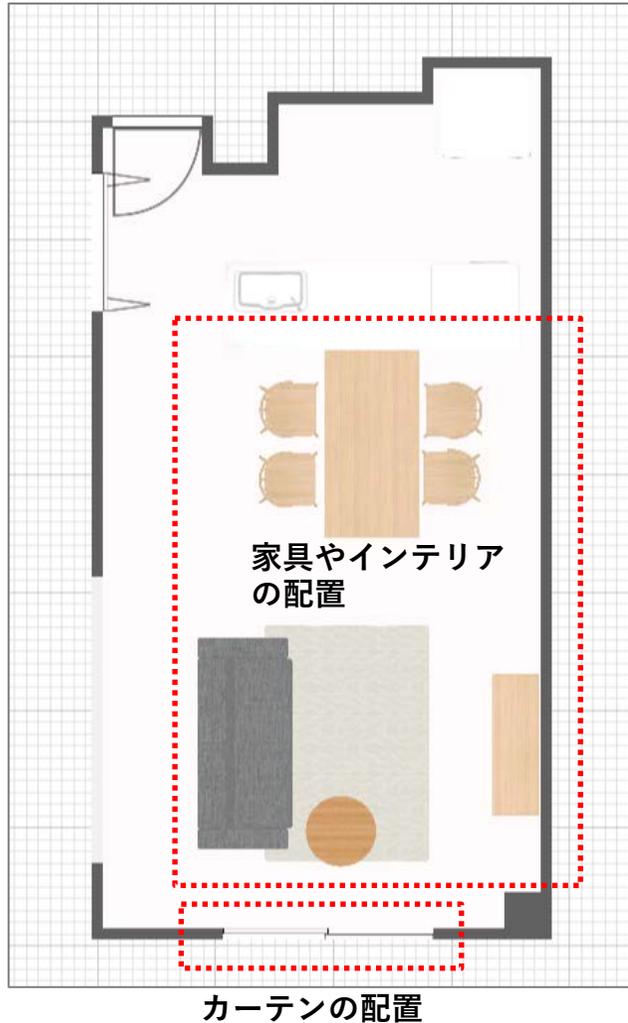


[DRAW]モードでは
幅と奥行のみ、ドラッグ操作で
サイズ変更が可能です。



2-5) アイテムの配置

アイテムの配置ではカーテンや家具、インテリアの装飾品を配置します。
 ※アイテムは色や張り地などの仕様を設定できますが、各アイテムにより設定項目が異なります。



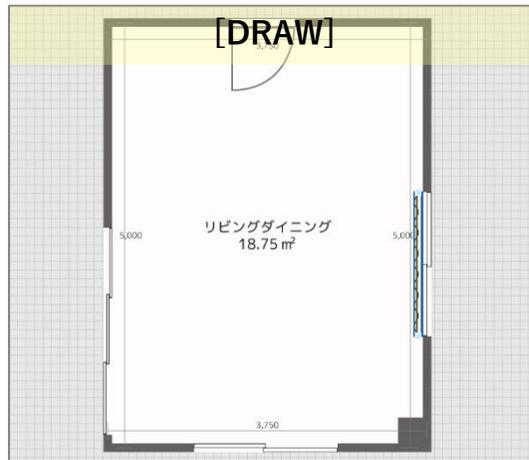
2-5) アイテムの配置 | カーテンの配置①

カーテンは[DARW]モード、[3D]モードどちらでも配置できます。

- ① 販売取扱いのあるアイテムの場合: 「アイテム配置」→カテゴリ「カーテン」を選択します。
 サンプルの場合: 「アイテム配置」→カテゴリ「サンプル>カーテン」を選択します。



- ② 希望のデザインをクリックし、シミュレーションビュー上で配置したい場所をクリックします。



※配置時はナビゲーションパネルの一覧に表示されている初期設定サイズで配置されます。

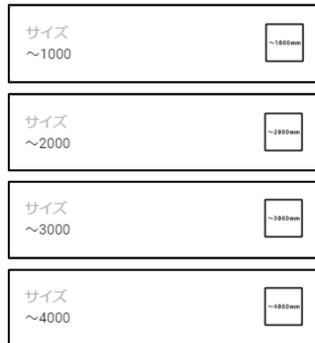
2-5) アイテムの配置 | カーテンの配置②

- ③ 配置したカーテンを選択すると詳細設定がナビゲーションバーに表示されます。
 サイズ、色、設置位置などの仕様設定ができます。※種類によって設定できる項目が変わります。



[A: サイズ選択]

窓のサイズに合った幅を選択
 (ヒダ数が足りない場合は、
 大きいサイズを選んで、幅を修正)



[C: 開き方変更]

1枚の場合



2枚の場合



[B: サイズ変更/設置位置変更]

数値を入力し変更をクリックします。

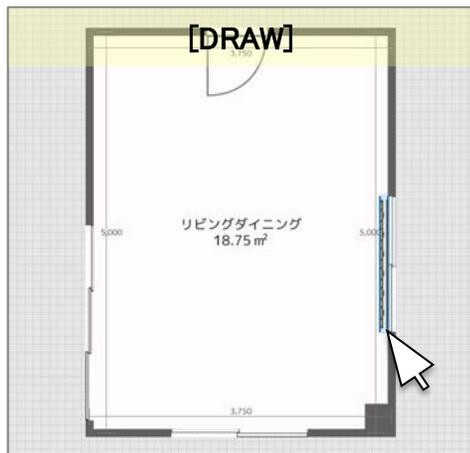


※設置位置の初期設定
 ドレープカーテン：70mm
 レースカーテン：0mm

[D: カラー変更]



- ④ 作成する部屋に合わせて配置場所、サイズや仕様の調整を行います。
※配置場所とサイズの変更は[DRAW]モード、仕様や開き方の変更は[3D]モードが設定しやすくおすすめです。



[DRAW]モードでは
幅のみ、ドラッグ操作で
サイズ変更が可能です。



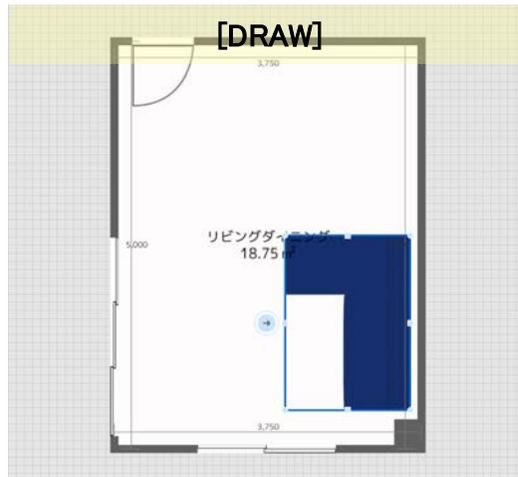
2-5) アイテムの配置 | 家具の配置①

家具は[DARW]モード、[3D]モードどちらでも配置できます。

① 「アイテム配置」→カテゴリとブランドそれぞれを選択し、配置したいアイテムを絞り込みます。



②希望のアイテムをクリックし、シミュレーションビュー上で配置したい場所をクリックします。



※クリックする前に[Esc]を押すとアイテムの選択が解除されます。

2-5) アイテムの配置 | 家具の配置②

- ③ 配置した家具を選択すると詳細設定がナビゲーションバーに表示されます。
色や仕様などのアイテム毎に設定ができます。※アイテムによって設定できる項目が変わります。

[アイテムの画像と詳細]

設定中の詳細が表示されます。

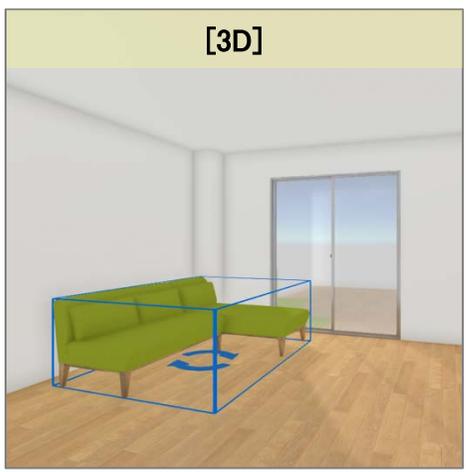
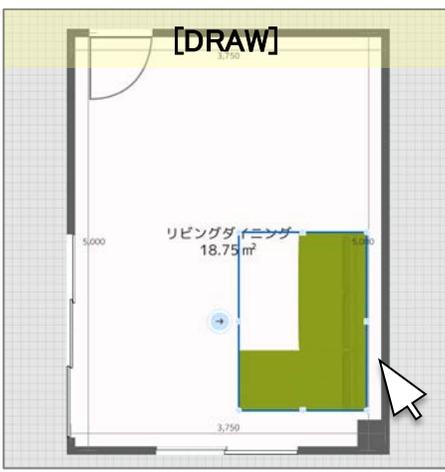


[バリエーション・仕様変更]

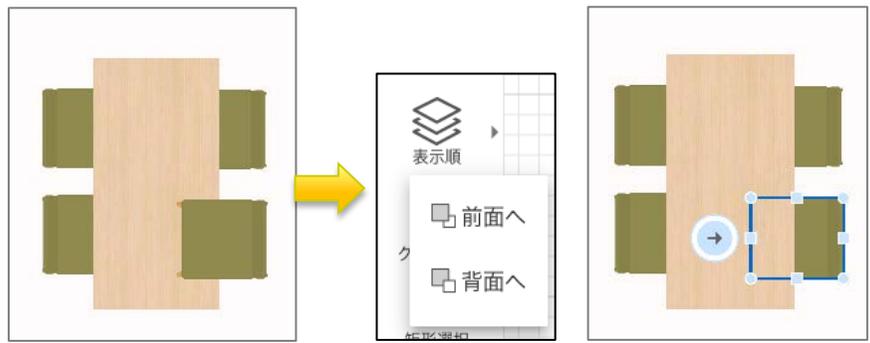
それぞれクリックすると設定できる項目の一覧が表示されます。
該当するものを選択しクリックします。



- ④ 提案するプランに合わせて、バリエーションや仕様の設定、配置の調整を行います。



※複数の家具を配置する場合、DRAWモードでは配置した順にアイテムが表示されます。



上に重なってしまう家具は…

アイテムを選択し、ナビゲーションバーの「表示順」で「前面へ」または「背面へ」をクリックで調整できます。

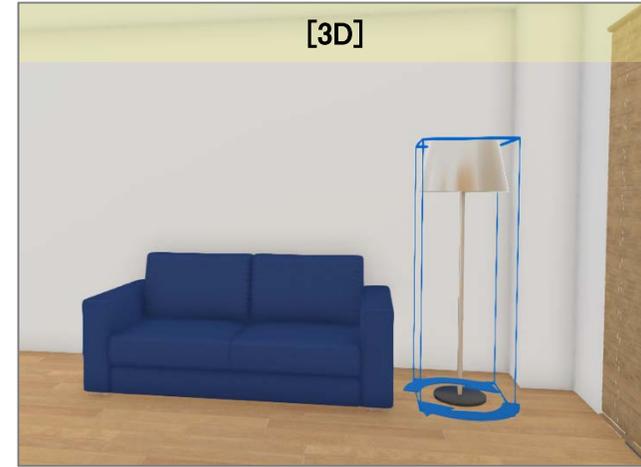
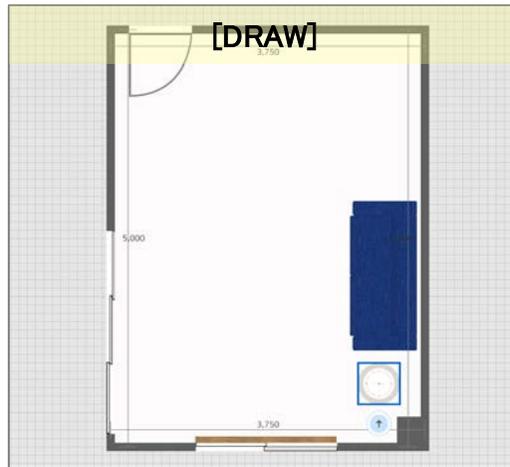
2-5) アイテムの配置 | 照明の配置①

照明は[DARW]モード、[3D]モードどちらでも配置できます。

① 「アイテム配置」→カテゴリとブランドそれぞれを選択し、配置したい照明を絞り込みます。



② 希望のデザインをクリックし、シミュレーションビュー上で配置したい場所をクリックします。



※クリックする前に[Esc]を押すとアイテムの選択が解除されます。

③配置した照明を選択すると詳細設定がナビゲーションバーに表示されます。
サイズ、色、設置位置などの仕様設定ができます。※種類によって設定できる項目が変わります。

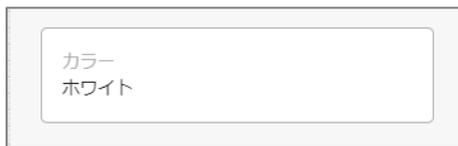
[アイテムの画像と詳細]

設定中の詳細が表示されます。



[バリエーション・仕様変更]

それぞれクリックすると設定できる項目の一覧が表示されます。
該当するものを選択しクリックします。



④提案するプランに合わせて、バリエーションや仕様の設定、配置の調整を行います。
また、照明はスイッチをONにすると照明から発する光を演出できます。



商品詳細のナビゲーションバー



光は、
・光量：10段階
・照明色：任意の照明色
で調整できます。
光源は照明の仕様やデザインによって変わります。

2-5) アイテムの配置 | インテリア雑貨・家電の配置①

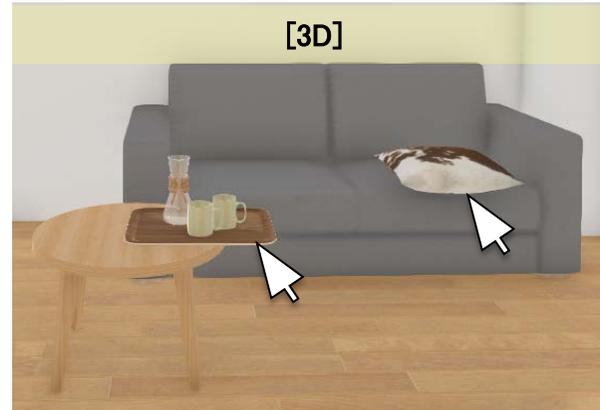
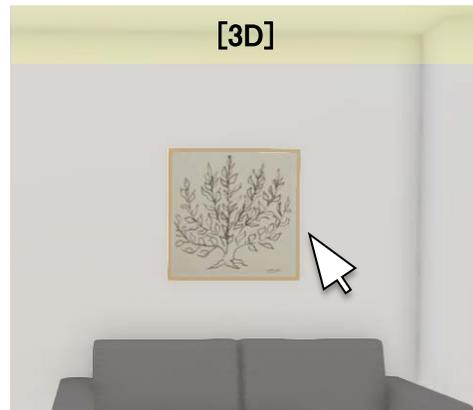
インテリア雑貨や家電は[DRAW]モード、[3D]モードどちらでも配置できます。
 ※こちらでは雑貨の重ね置きや壁に配置する場合を説明します。

- ① [3D]モードに切り替え、「アイテム配置」→カテゴリとブランドそれぞれを選択し、配置したいアイテムを絞り込みます。



※配置は[DRAW]モードでもできますが、重ね置きや壁に配置した際の高さの位置は[3D]モードでのみ可能なので、初めから[3D]モードに切り替えることをおすすめします。

- ② 希望のデザインをクリックし、シミュレーションビュー上で配置したい場所をクリックします。配置したい場所にカーソルを合わせると自動で重ね置きや壁掛けで配置することができます。



※クリックする前に[Esc]を押すとアイテムの選択が解除されます。

- ③ 配置したアイテムを選択すると詳細設定がナビゲーションバーに表示されます。
サイズ、色などの仕様設定ができます。※アイテムの種類によって設定できる項目が変わります。

[アイテムの画像と詳細]

設定中の詳細が表示されます。

**[バリエーション・仕様変更]**

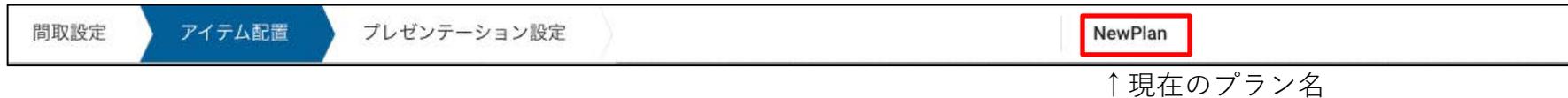
それぞれクリックすると設定できる項目の一覧が表示されます。
該当するものを選択しクリックします。



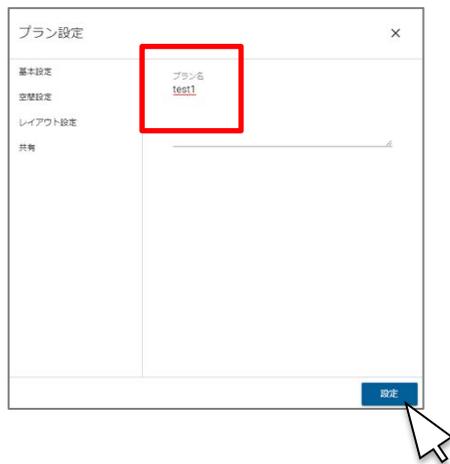
- ④ 提案するプランに合わせて、バリエーションや仕様の設定、配置の調整を行います。



①画面上部中央に表示されているプラン名をクリックします。



②「基本設定」の「プラン名」に現在のプラン名が入力されているので、新しいプラン名を入力し「設定」をクリックします。



2-6) プランの提案書作成 | 配置したアイテムの一覧を作成する

①画面右上にある「プラン詳細」をクリックします。



②作成したプランで使用したアイテムの一覧が確認できます。



③「PDFで保存」を選択するとプランの一覧表が作成され保存できます。



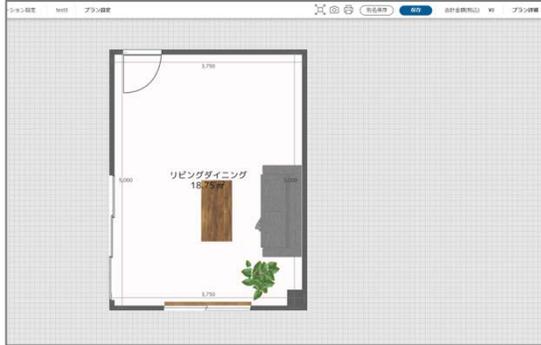
作成したプランの平面図

作成したプランで使用したアイテム一覧(商品名と数量)

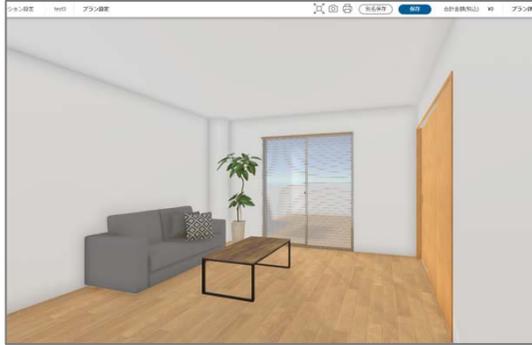
2-6) プランの提案書作成 | 作成したプランを印刷する

- ① シミュレーションビュー上で印刷したいプランを表示させ、印刷したい箇所に画面を合わせます。

[DRAW]



[3D]



※シミュレーションビュー上に表示された画像がそのまま印刷されます。

- ② 画面中央にある  プリントのアイコンをクリックします。
新しいタブが開き印刷のプレビューと印刷設定画面が表示されます。

[DRAW]



[3D]

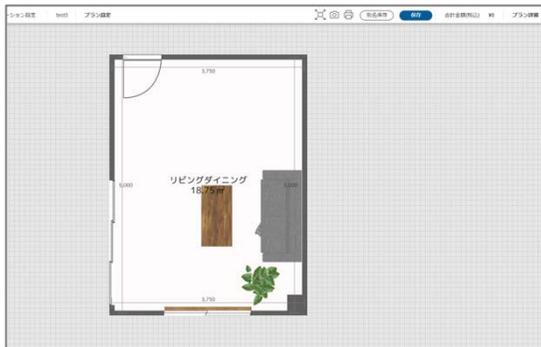


※印刷設定画面は操作する機器によって異なります。

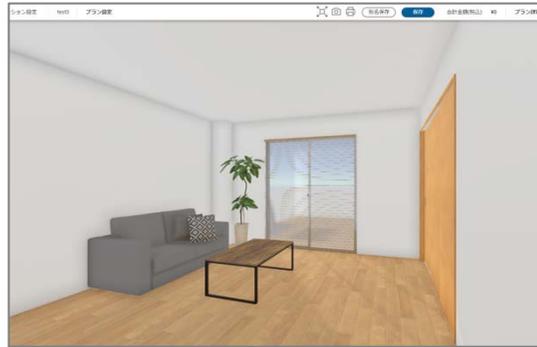
- ③ 印刷プレビュー、設定を確認して印刷します。

- ① シミュレーションビュー上で保存したいプランを表示させ、保存したい箇所に画像を合わせます。

[DRAW]



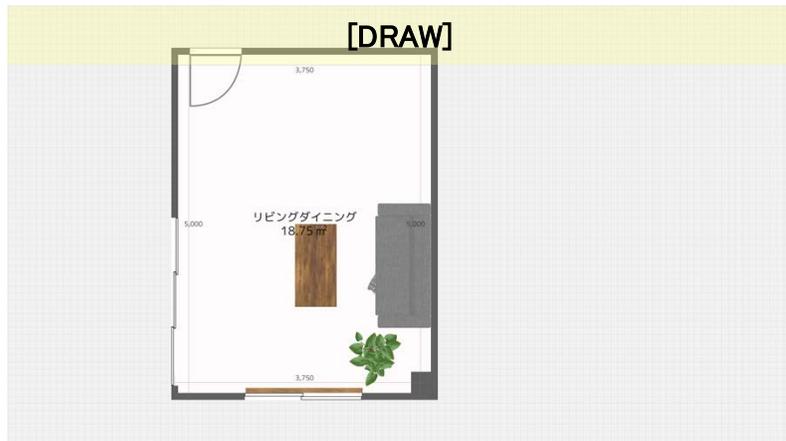
[3D]



※シミュレーションビュー上に表示された画像がそのままダウンロードされます。

- ② 画面中央にある  スクリーンショットのアイコンをクリックすると表示されている画像がダウンロードされます。
- ③ ダウンロードされたファイルを確認をします。

[DRAW]



[3D]



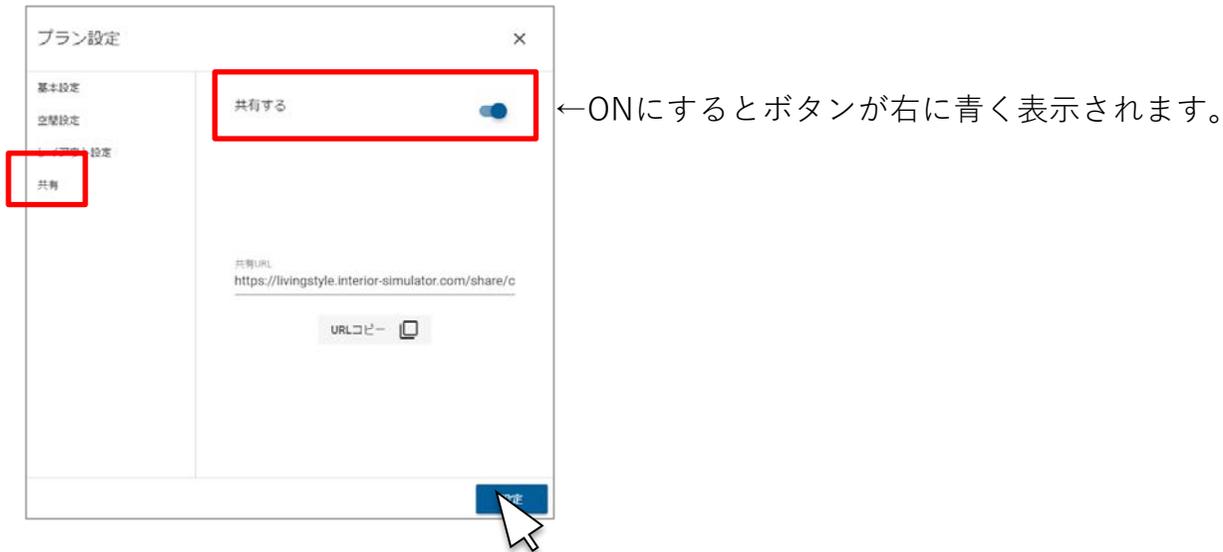
※プラン名をファイル名としたJPGファイルがダウンロードされます。

2-6) プランの提案書作成 | 作成したプランを共有する

①画面上部中央に表示されているプラン名をクリックします。



②「共有」を開き、共有するボタンをONにして「設定」をクリックします。



③ URLを通じてプランを他ユーザーと共有することが可能になります。

※共有URLを開いた時、最後にプランを保存したときの視点で表示されます。

インテリア・シミュレーター 操作マニュアル ～ 第3章 便利な使い方 ～

3-1) 表示設定

- [部屋の名称・サイズを非表示にしたい](#)
- [部屋の名称・サイズ表示を移動させたい](#)
- [DRAWモードで梁を非表示にしたい](#)
- [作成したプランを全画面表示で見せたい](#)

3-2) 基本操作

- [アイテムの配置場所を固定する](#)
- [アイテムを隣り合わせで配置する](#)
- [任意の箇所を計測したい](#)

3-3) 間取りの作成

- [部屋の内寸を確認、表示したい](#)

3-4) 内装の作成

- [一部の壁だけ壁紙を変えたい](#)
- [アクセントクロスを貼りたい](#)
- [開口部にアクセントクロスを貼りたい](#)
- [内装材を作りたい\(角柱の活用\)](#)
- [よく使う内装材を見つけやすくしたい](#)

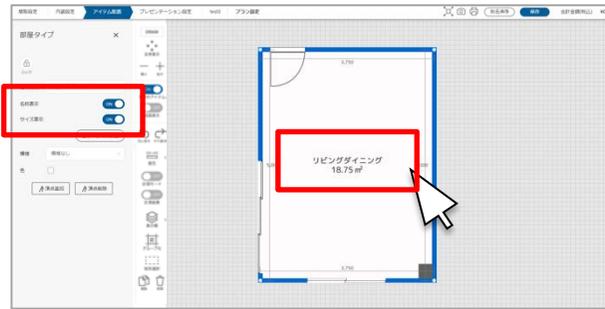
3-5) アイテムの配置

- [アイテムを好きな角度で配置したい](#)
- [アイテムを壁にぴったり配置したい](#)
- [アイテムを隣り合わせで配置したい](#)
- [カーテンの吊り位置を変えたい](#)
- [よく使うアイテムを見つけやすくしたい](#)
- [2枚敷きしているラグの上下を変えたい](#)

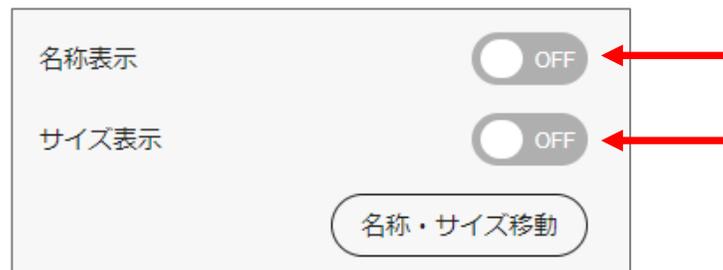
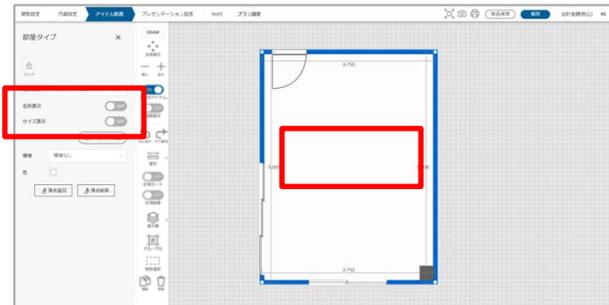
3-1) 表示設定 | 部屋の名称・サイズを非表示にしたい

DRAWモードで表示される部屋の名称・サイズ表記を非表示にすることができます。非表示にすると家具の配置操作の際などに使いやすくなります。

①間取りを選択し、ナビゲーションバーに部屋タイプの詳細設定を表示させます。



②「名称表示」および「サイズ表示」をOFFにします。



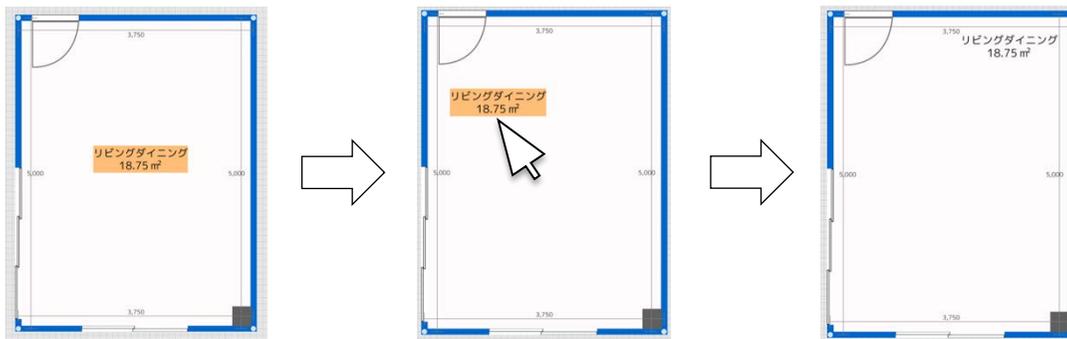
3-1) 表示設定 | 部屋の名称・サイズ表示を移動させたい

DRAWモードで表示される部屋の名称・サイズ表記の表示を移動させることができます。

①間取りを選択し、部屋タイプの詳細設定から「名称・サイズ移動」をクリックします。

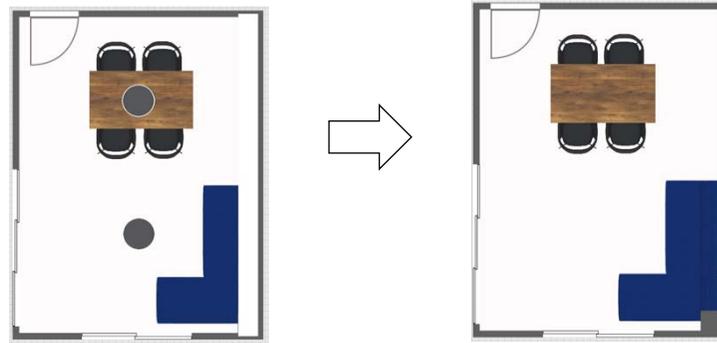


②名称・サイズ表示がオレンジの網掛けになり、ドラッグで好きな位置に移動できるようになります。



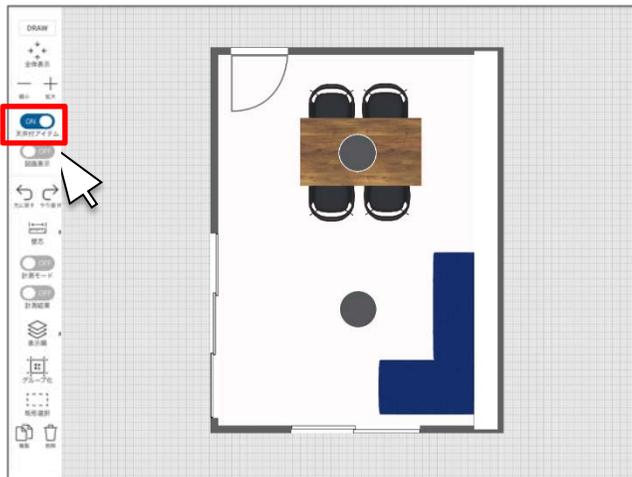
3-1) 表示設定 | DRAWモードで梁を非表示にしたい

DRAWモードで配置した梁などの天井付けアイテムを非表示にすることができます。非表示にすると家具の配置操作の際などに使いやすくなります。



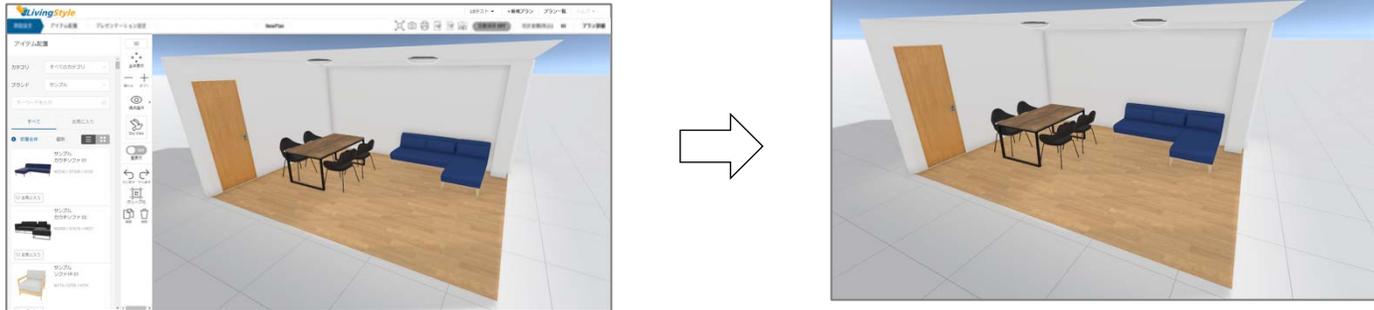
※梁や天井付照明などを削除することなく非表示にできます。

①ナビゲーションビューに間取りを表示させ、ナビゲーションパネルの「天井付アイテム」をOFFにします。



※DRAWモードで非表示設定にしても3Dモードでは表示されます。

シミュレーションビューの表示画面は全画面で表示させることができます。プランの提案時により大きな画面で見てもらうことができます。



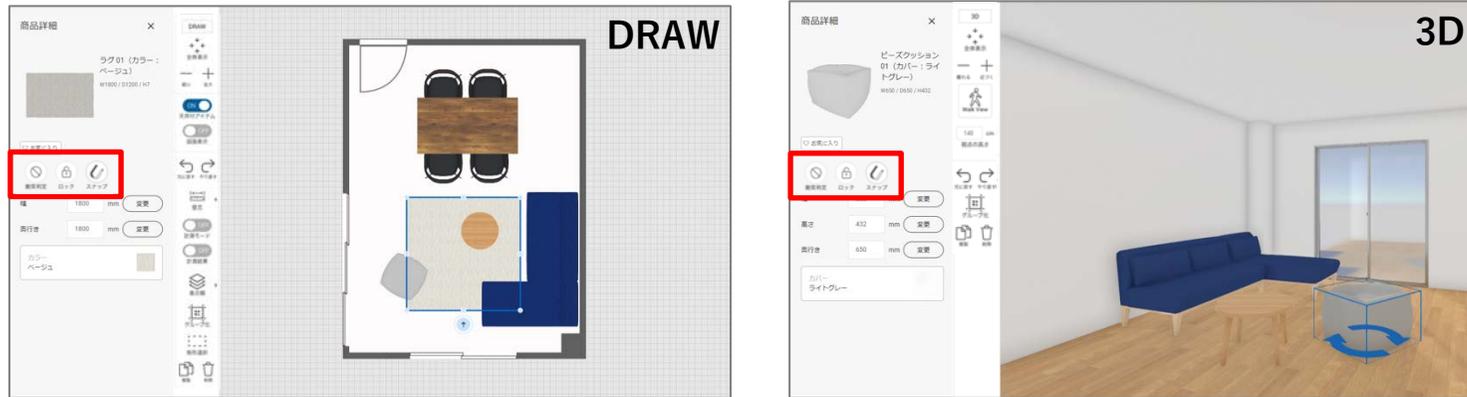
①シミュレーションビューの上にある  全画面表示のアイコンをクリックします。全画面表示を終了させる時は「Esc」を押します。



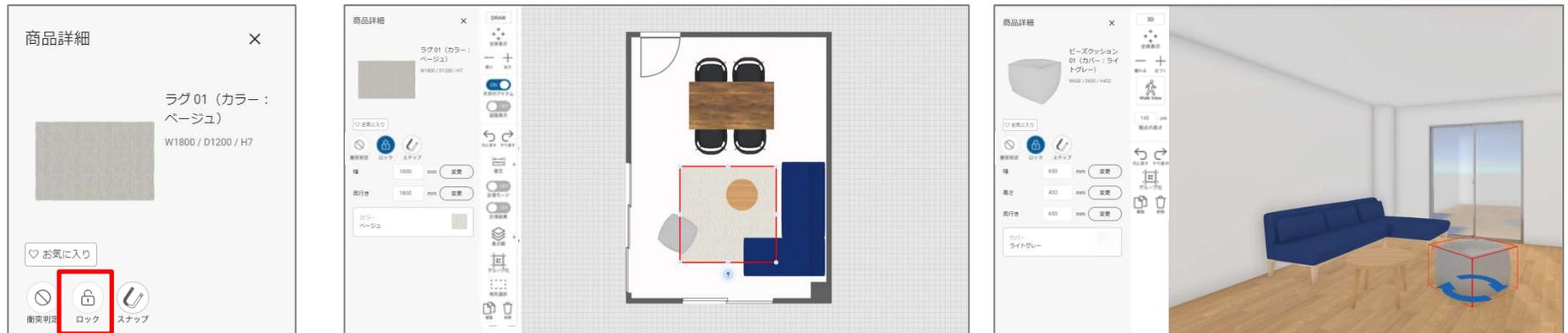
3-2) 基本操作 | アイテムの配置場所を固定する

配置したアイテムが多くなると、アイテムの選択違いで動かさなくてよいアイテムを動かしてしまうことがよくあります。ロックをかけることでアイテムの配置場所を固定できます。

- ①配置場所を固定したいアイテムを選択し、ナビゲーションパネルに商品詳細を表示させます。DRAWモード、3Dモードどちらでも操作が可能です。

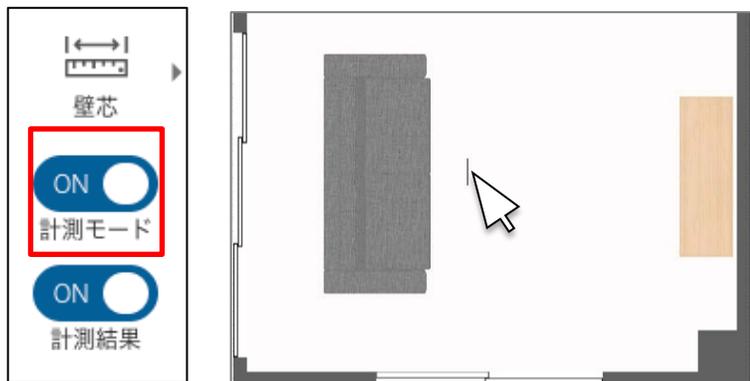


- ②商品詳細にある「ロック」のアイコンをクリックすると選択枠が赤に変わりロックされます。ロックをするとアイテムの移動はできなくなりますが、商品詳細からサイズや仕様の変更は可能です。

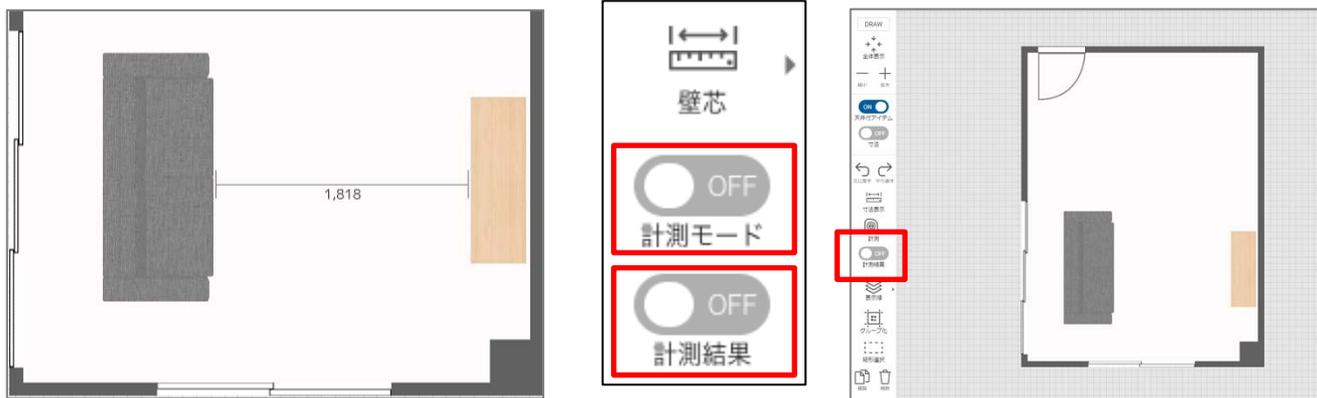


DRAWモードでは家具と家具の間など、任意の場所を計測することができます。動線の確認など家具配置や提案時の寸法説明に便利です。

- ① ナビゲーションバーの「計測モード」をONにします。
シュミレーションビュー上にカーソルをあわせると線が表示されます。この線が計測の始点になります。



- ② 計測箇所の始点をクリックし、終点までマウスを移動させます。終点でクリックすると計測結果が表示されます。計測を終了するときには、計測モードをOFFにします。OFFにするまで連続して計測することができます。計測表示は「計測結果」をOFFで非表示にできます。



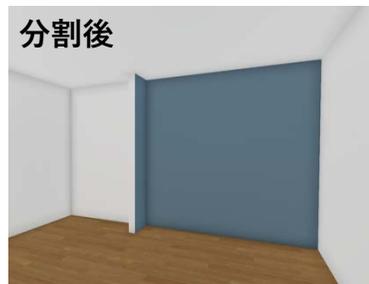
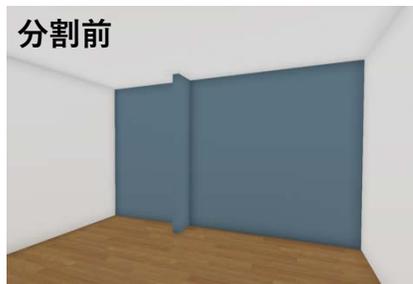
※始点をクリックすると計測値がマウス移動とともに表示されるので、表示を残したくない場合は計測が確認できたら終点でクリックせずに「Esc」を押せば計測を解除できます。

間取りの作成時に表示される寸法は壁芯寸法(心々寸法)、面積は壁芯面積で表示されます。寸法表示は、壁芯寸法に加え、内法寸法、外法寸法、非表示から選択できます。非表示にすると、家具の配置操作の際などに使いやすくなります。



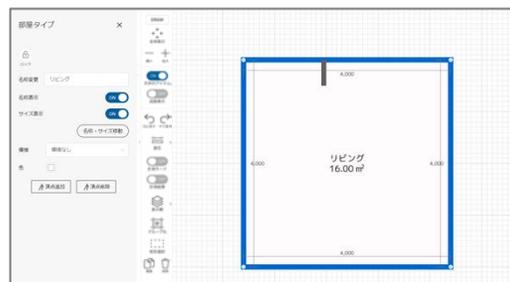
3-4) 内装の作成 | 一部の壁だけ壁紙を変更したい①

壁紙は個別設定をすれば個々の壁紙だけ変更できます。
また、一枚の壁も分割すれば一部の壁だけ壁紙を変更することができます。

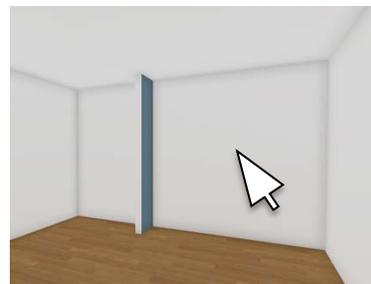


※アクセントクロスを貼る方法もあります。

①DRAWモードで間取りを選択し、部屋タイプの詳細をナビゲーションパネルに表示させます。
「頂点追加」をクリックし、分割したい箇所の壁をクリックします。壁が分割されます。

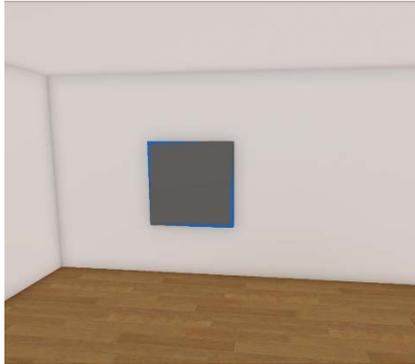


②3Dモードに切り替え、「アイテム配置」から壁紙を選択、個別設定にし、希望の壁紙を分割した壁に設定します。

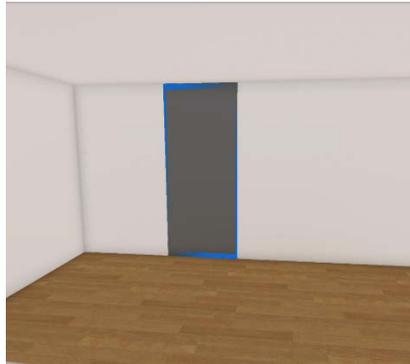


3-4) 内装の作成 | アクセントクロスを貼りたい

壁にアクセントクロスを貼る場合は、角柱（壁付け）を設置してから壁紙を設定します。



① 「アイテム配置」→カテゴリ「住宅設備」→「オプション」を選択し、角柱（床置き）をシミュレーションビューに配置します。



② 配置した角柱を選択し、商品詳細のプロパティ画面でサイズを変更します。



※奥行きを1mmに設定
※床からの高さは、配置した角柱の中心までの距離に設定



③ 最後に壁紙を適用します。

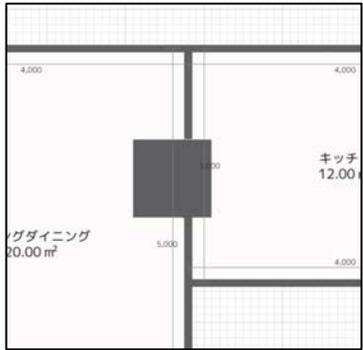
3-4) 内装の作成 | 開口部にアクセントクロスを貼りたい①

開口部にアクセントクロスを貼る場合は、角柱を複数設置してから壁紙を設定します。



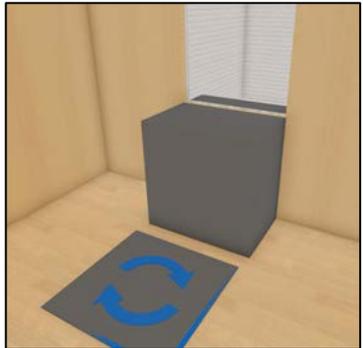
STEP 0:

隣り合った部屋の壁に開口部を設置した場合、それぞれの部屋の壁紙が反映されます。そのため部屋ごとに壁紙が異なる場合、左のように開口部に2種類の壁紙が設定されます。



STEP 1:

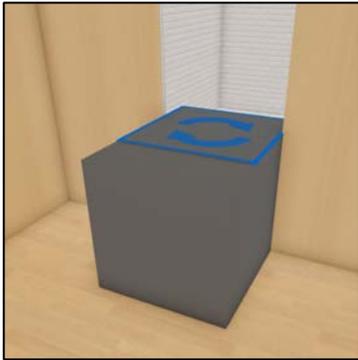
DRAWモードにおいて、「アイテム配置」→カテゴリ「住宅設備」→「オプション」を選択。角柱（床置き）をシミュレーションビューに配置し、隣り合った部屋にまたがるように開口部の下に移動させます。また開口部までの下の高さに合わせて角柱のサイズを変更します。



STEP 2:

3Dモード Sky Viewにおいて、「アイテム配置」→カテゴリ「住宅設備」→「オプション」を選択。角柱（床置き）を開口部の下に設置し、高さを最小の10mmに変更します。

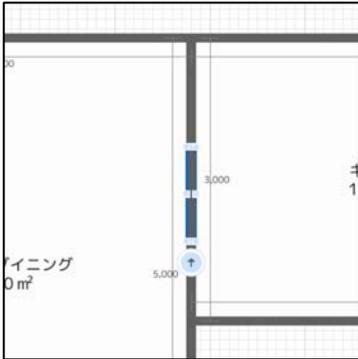
3-4) 内装の作成 | 開口部にアクセントクロスを貼りたい②



STEP 3:

10mmにした角柱を移動させて、もう一つの角柱の上に載せたら、サイズを開口部に合わせて変更します。

幅: 100mm (壁厚と同じ)、高さ: 10mm、奥行き: 開口部の幅



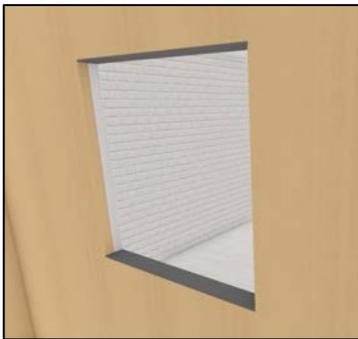
STEP 5:

DRAWモードに移り、上に置いた角柱を開口部の場所に合わせて設置します。

その際、表示を拡大すると位置合わせがやりやすくなります。

またこのとき下にある角柱しか選択できないときは、表示順で背面に移動させます。

開口部に合わせて設置できたら、下にある角柱を削除します。



STEP 6:

3Dモードで角柱 (天井付け) を開口部の上部に設置し、DRAWモードでサイズや位置を調整します。



STEP 7:

3Dモードで角柱（壁付け）を開口部の側面に配置し、サイズと位置を調整する。

幅: 100mm（壁厚と同じ）、高さ: 開口部の高さ、奥行き: 10mm

床からの高さ: 開口部の下までの高さ



STEP 8:

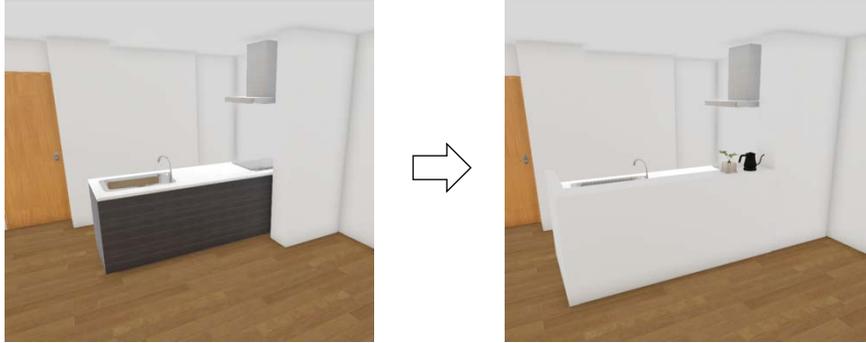
「アイテム配置」→カテゴリ「壁紙/床材/天井材」→「壁紙」を選択。

設置した4つの角柱に壁紙を設定する。

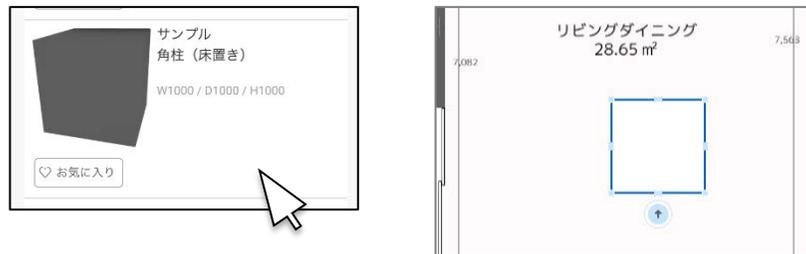
3-4) 内装の作成 | 内装材を作りたい(角柱の活用)

キッチンカウンターなどオブジェクトにはない部材を作成するには角柱を活用しましょう。

例：キッチンカウンターの作成(角柱を前面と側面の2箇所を使用)



①「アイテム配置」→カテゴリ「住宅設備」→「オプション」を選択し、角柱（床置き）をシミュレーションビューに配置します。



②角柱の商品詳細を開き、任意のサイズ(幅・奥行・高さ)に調整して作成、配置します。



よく使う内装材はカテゴリごとに「お気に入り」に登録することで次回より探しやすくなります。

①カテゴリごとにナビゲーションパネルでよく使う内装材を見つけ「♡お気に入り」をクリックします。
クリックするとお気に入りボタンが青く表示されます。

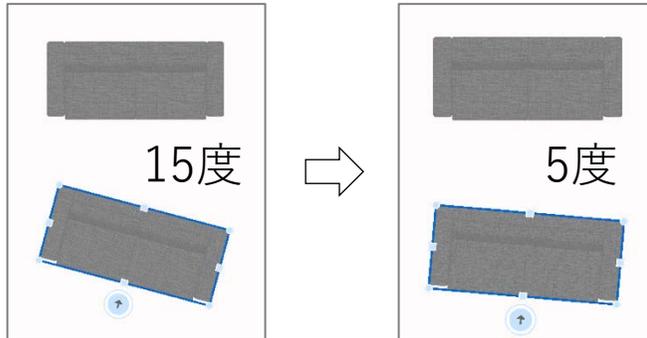


②ナビゲーションパネルの「お気に入り」を選択します。お気に入り登録したアイテムの一覧が確認できます。
次回より「お気に入り」を選択すると早く見つけることができます。



※お気に入り一覧は
全カテゴリのお気に入りアイテムが表示されます。

アイテムの回転角度は初期設定で15度ずつと設定されています。
さらに細かい角度で回転させて配置したい時は回転角度の設定が必要です。



- ①画面上部中央にあるプラン名をクリックして「プラン設定」を開き、「レイアウト設定」を選択します。
「オブジェクトの最小回転角度」に任意の数値を入力し、「設定」をクリックします。

間取設定 アイテム配置 プレゼンテーション設定 **NewPlan**

↑プラン名

プラン設定

基本設定 オブジェクトの最小回転角度
15

レイアウト設定

↑数値を入力

共有

設定

壁やアイテムに沿わせて配置するのは難しく、時間がかかることがよくあります。
「衝突判定」機能を使うと簡単に壁やアイテムに沿わせることができます。

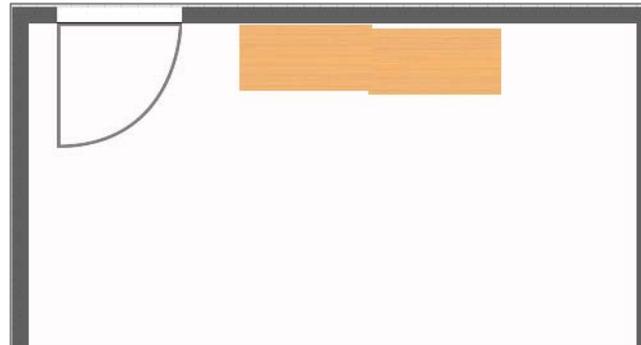
例1：壁の間に隙間ができる



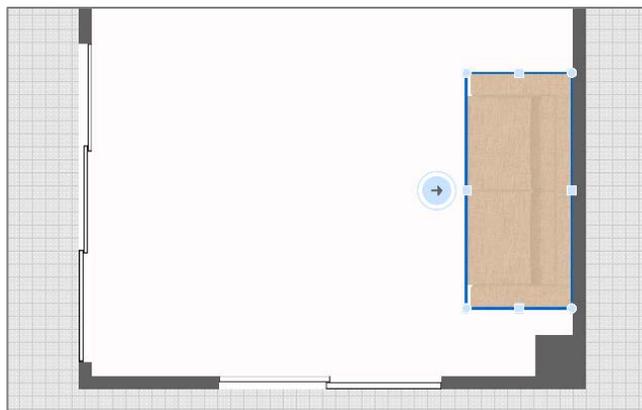
例2：壁にアイテムが重なる



例3：横に並べたいアイテムが重なる



- ①配置したい家具を選択し、ナビゲーションパネルに商品詳細を表示させます。
「衝突判定」のアイコンをクリックすると、アイテムを壁や別のアイテムに沿って配置できるようになります。
※アイテムが壁やアイテムなどのオブジェクトに衝突して重ならないようにする機能です。

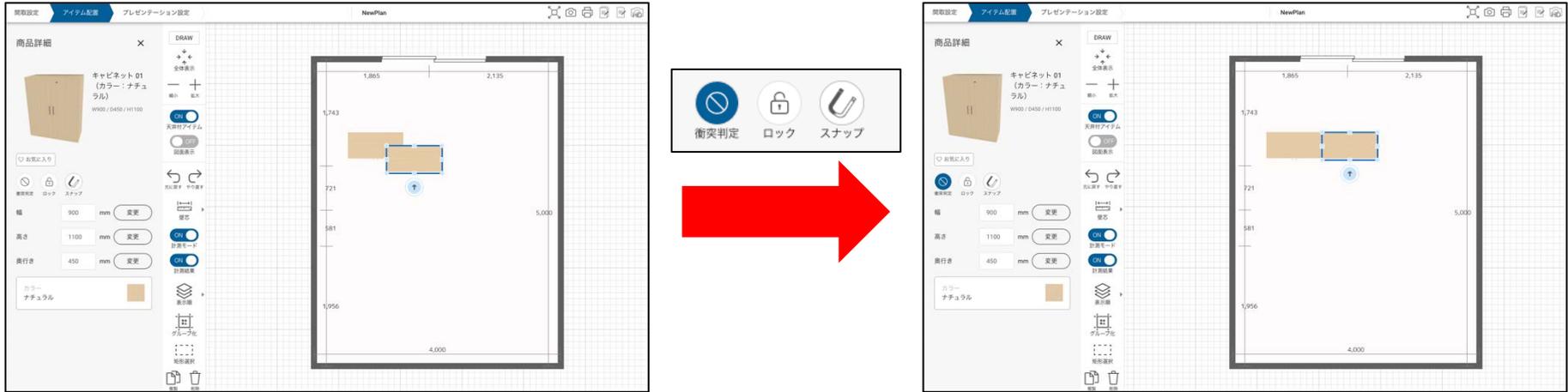


※グループ化するとグループごとの配置には衝突判定機能が効かなくなります。

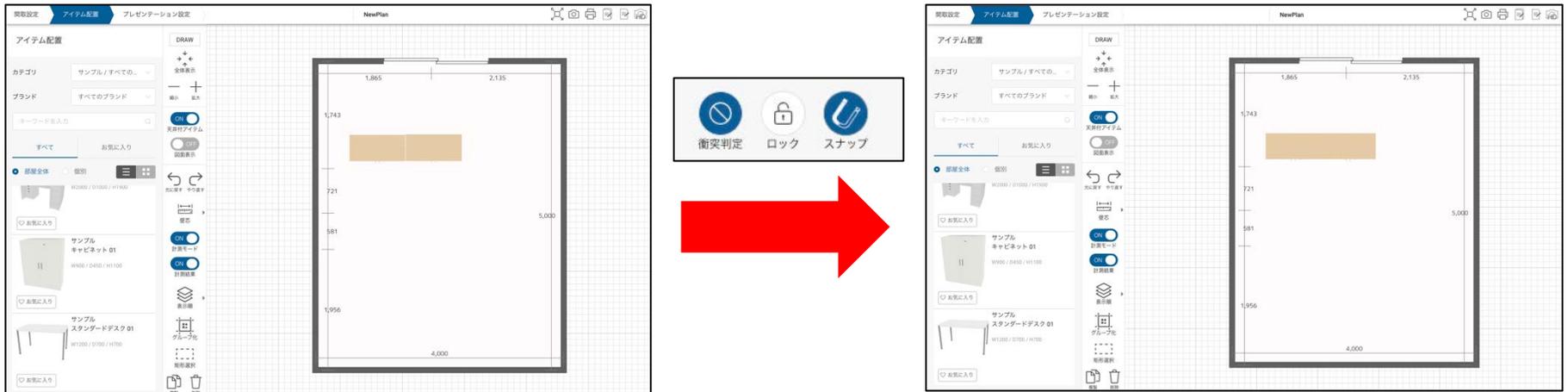
3-5) アイテムの配置 | アイテムを隣り合わせで配置したい

アイテムを隣り合わせで配置したいときは、DRAWモードで操作を行います。

① アイテムの「衝突判定」をONにすることで、他のアイテムと重ならないように移動できます。



② アイテム同士を隙間なく並べたいときは、アイテムの「スナップ」もONにします。



3-5) アイテムの配置 | カーテンの吊り位置を変えたい

カーテンは吊り位置を変えてコーディネート提案が可能です。

初期設定

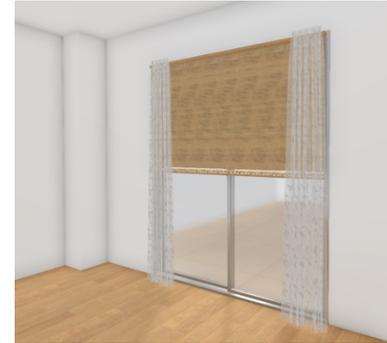
ドレープ手前・レース奥



例1：レース手前・ドレープ奥



例2：レース手前・ブラインド奥



①吊り位置を変えたいカーテンを選択し、ナビゲーションパネルに商品詳細を表示させます。
「設置位置」に任意の数値を入力し「変更」をクリックします。

カーテンレール	<input type="checkbox"/>	OFF
設置位置	70	mm <input type="button" value="変更"/>
開き方	両開き	▼
開閉	開く	▼

[設置位置の初期設定]

ドレープカーテン：70mm

レースカーテン：0mm

※ブラインドは設置位置を変えられません。

よく使うアイテムはカテゴリごとに「お気に入り」に登録することで次回より探しやすくなります。

①カテゴリごとにナビゲーションパネルでよく使うアイテムを見つけ「♡お気に入り」をクリックします。
クリックするとお気に入りボタンが青く表示されます。



②ナビゲーションパネルの「お気に入り」を選択します。お気に入り登録したアイテムの一覧が確認できます。
次回より「お気に入り」を選択すると早く見つけることができます。

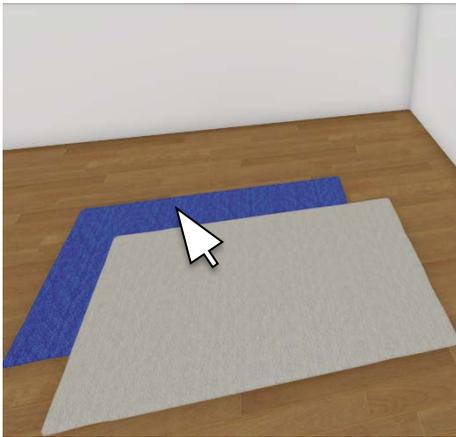


※お気に入り一覧は
全カテゴリのお気に入りアイテムが表示されます。

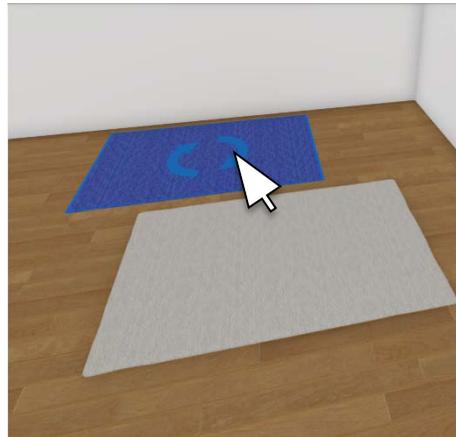
3-5) アイテムの配置 | 2枚敷きしているラグの上下を変えたい

3Dモードの画面において、下にあるラグを重ならない位置にまで移動させてから、もう1枚のラグの上に移動させると、上に重なるように配置できます。

① 下にあるラグを選択する



② 重ならない位置にまで移動させる



③ もう一度重なるように移動させる



※DRAWモードでの表示順には影響しません。

インテリア・シミュレーター 操作マニュアル

～ 第4章 機能を使いこなすには ～

4) 機能を使いこなすには

4-1) [ショートカットキー一覧](#)

4-2) [アイテムのタイプを知る](#)

基本操作のショートカットキー

操作内容	ナビゲーションバーのアイコン	ショートカットキー
操作を元に戻す	 元に戻す	「Ctrl」+「Z」
元に戻した操作をやり直す	 やり直す	「Ctrl」+「Y」
複数のアイテムを選択する		「Shift」押しながら選択
アイテムのグループ化	 グループ化	「Ctrl」+「G」
アイテムのグループ化の解除	 グループ解除	「Ctrl」+「Shift」+「G」
選択したオブジェクトの解除		「Esc」
オブジェクトの複製	 複製	「Ctrl」+「C」
オブジェクトの削除	 削除	「Delete」

4-2) アイテムのタイプを知る: ①

アイテムには3つのタイプがあり、それぞれ配置設定が異なります。



- ①天井付タイプ
- ②壁付タイプ
- ③床置きタイプ

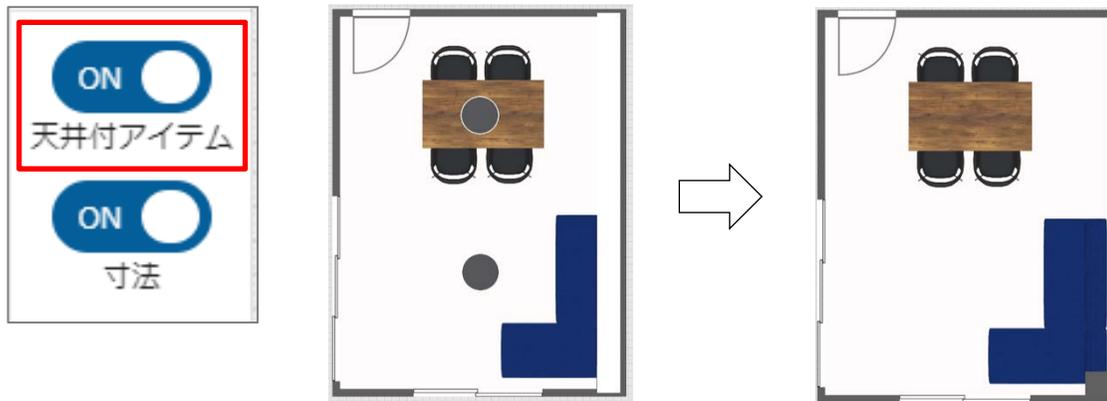
①天井付けタイプ

天井付タイプは天井に配置する梁や下がり天井（天井付け角柱）、および一部の照明アイテムです。

アイテムを選択すると自動で天井面に配置できるようになっています。

梁や下がり天井は天井以外に配置できません。このタイプの照明アイテムは、天井、梁、下がり天井に配置できます。

DRAWモードでは配置をしやすいするため天井付アイテムを非表示にできます。

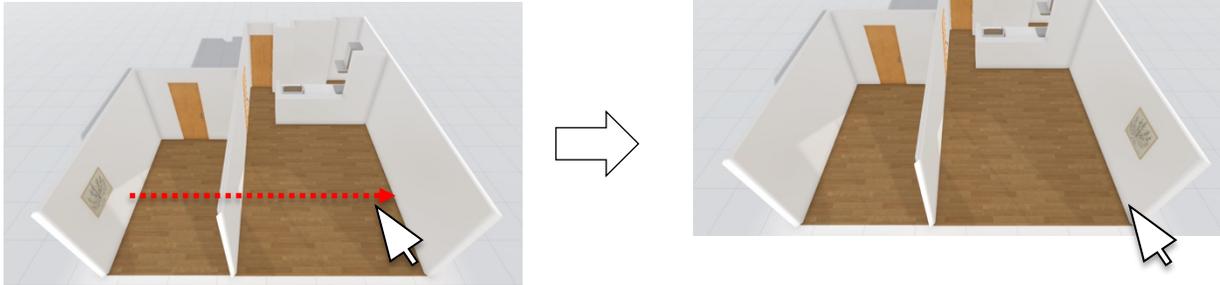


4-2) アイテムのタイプを知る: ②～③

②壁付けタイプ

壁付タイプはインテリア・アートやカーテン、壁掛け時計など壁に付けるアイテムです。アイテムを選択すると自動で壁に配置できるようになっています。壁と柱以外には配置できません。複数の部屋がある場合もドラッグ移動だけで他の壁に移動、配置できます。

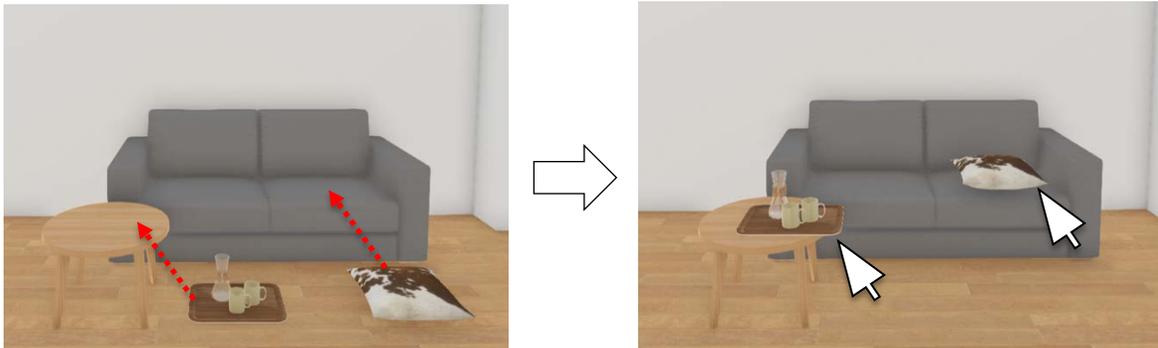
[複数の部屋]



③床置きタイプ

床置きタイプは家具やインテリア雑貨など床に配置するアイテムです。床置きタイプ中には「フリー置きタイプ」のアイテムがあり、床だけでなくアイテムの上に重ねて配置できます。

[フリー置きタイプ]



フリー置きタイプで重ね置きする場合は3Dモードで操作します。フリー置きタイプのアイテムを別のアイテムに重ねるようにドラッグすると、自動でその別のアイテムの上に配置されます。